
愛媛県 少子化に関する意識調査
報告書

令和7（2025）年2月
愛媛県

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 調査結果	3
【1】回答者、配偶者・パートナーについて	3
1 性別	3
2 年齢	3
3 同居人数	4
4 同居家族	4
5 最終学歴	6
6 年収	7
7 初めて就いた仕事（雇用形態）	8
8 現在の仕事（雇用形態）	9
9 初めて就いた仕事の内容	10
10 現在の仕事の内容	11
11 平均労働時間	12
12 職場までの片道所要時間	13
13 1日あたりの育児をする時間	14
14 1日あたりの家事をする時間	16
15 1日あたりの介護をする時間	19
16 配偶者・パートナーの最終学歴	20
17 配偶者・パートナーの年収	21
18 配偶者・パートナーの仕事（雇用形態）	22
19 配偶者・パートナーの仕事の内容	23
20 配偶者・パートナーの平均労働時間	24
21 配偶者・パートナーの1日あたりの育児をする時間	25
22 配偶者・パートナーの1日あたりの家事をする時間	27
23 配偶者・パートナーの1日あたりの介護をする時間	29
【2】交際・恋愛について	30
1 恋愛について	30
2 交際相手との出会いについて	32
【3】結婚について	34
1 結婚や同棲の必要性について	34
2 未既婚	35
3 最初に結婚をした時の年齢	36
4 同棲の経験	37

5	同棲を始めた時の年齢	38
6	恋人又は婚約者の有無	39
7	結婚していない理由	40
8	結婚生活で不安に感じる事	42
9	結婚や家族の在り方について自分の子供に伝えたい事	44
10	自治体がマッチングシステムを活用した支援を行うことについて	46
11	マッチングシステムに対して抵抗感がある理由	47
【4】	出産について	49
1	希望する子供の人数	49
2	実際の子供の人数	50
3	子供の年齢（子供が1人）	50
4	子供の年齢（子供が2人以上）	51
5	今よりも子供を増やすことについて	52
6	子供を増やさない理由	53
7	自分の子供を持つことについて	54
8	愛媛県での不妊治療の受けやすさ	56
9	不妊治療を受けやすい環境だと思わない理由	57
10	子供の有無という観点からの人生設計について	58
【5】	育児について	59
1	子育ての楽しさやつらさについて	59
2	子育てをされていて良かったこと	60
3	子育てをされていて負担に思うこと	62
4	就学前の子供の育児に対する夫・妻の役割について	64
5	就学前の育児に対して行いたい（行いたかった）こと	65
6	育児に対して配偶者・パートナーに行ってほしいこと	66
7	就学前の子供を世話する人	67
8	就学前の子供の世話ができない時に援助を頼む人	68
9	出産・育児に関する男性の休暇の取得意向	69
10	出産・育児に関して希望する男性の休暇期間	70
11	出産・育児に関する男性の休暇取得状況	71
12	出産・育児に関する男性の休暇取得期間	72
13	出産・育児に関する休暇を男性が取らなかった理由	73
14	出産・育児に関する休暇を男性が取る条件	74
15	民間サービスの利用について	75

16	育児に関する悩みの相談先-----	76
17	子育てにかかる経済的な負担として大きいもの-----	77
18	子育てに当たって利用したい（利用したかった）と思う制度-----	79
19	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について--	81
【6】	ワーク・ライフ・バランスについて-----	82
1	育児と仕事に関して理想とする生き方について-----	82
2	育児と仕事に関しての状況-----	84
3	就労状況-----	85
4	仕事と家庭生活のバランスについて-----	86
5	失業する心配について-----	90
6	仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度について-----	91
【7】	社会支援について-----	94
1	子供の産み育てやすさ-----	94
2	子供を生み育てやすいと思う理由-----	95
3	子供を生み育てづらいと思う理由-----	97
4	結婚を希望する人を支援する施策として重要なこと-----	99
5	妊娠・出産時の負担を軽減する施策として重要なこと-----	101
6	育児を支援する施策として重要なこと-----	103
7	子供・子育て支援の財源確保のための負担について-----	106
【8】	生活意識について-----	107
1	現在の生活の満足度-----	107
2	今後の生活について-----	108
	資料 調査票-----	109

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「愛媛県子ども計画（仮称）」の策定にあたり、県民の少子化対策に対するニーズを的確に把握し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査設計】

調査地域：愛媛県全域（20市町）

調査対象：県内に居住する20歳から39歳までの県民（Webモニター登録者）

調査方法：インターネットによる調査

調査期間：令和6（2024）年11月

【回答結果】

有効回答数 ----- 150件

【居住地別回答状況】

	構成比(%)	件数(件)
松山市	52.0	78
今治市	8.7	13
宇和島市	3.3	5
八幡浜市	2.0	3
新居浜市	6.0	9
西条市	6.7	10
大洲市	2.7	4
伊予市	1.3	2
四国中央市	5.3	8
西予市	2.0	3
東温市	2.0	3
上島町	0.0	0
久万高原町	0.0	0
松前町	4.0	6
砥部町	1.3	2
内子町	0.7	1
伊方町	0.7	1
松野町	0.0	0
鬼北町	0.7	1
愛南町	0.7	1
合計	100.0	150

【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中におけるクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者を除いて表記しているため、属性ごとの基数(n)の合計と全体の基数(N)は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

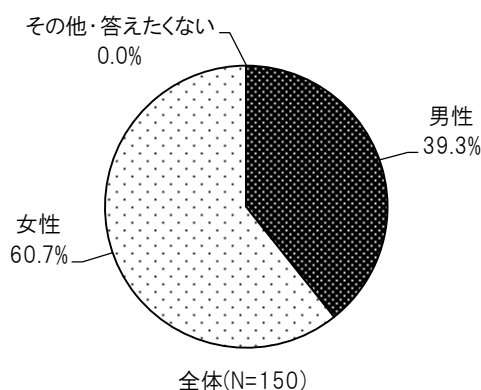
Ⅱ 調査結果

【1】回答者、配偶者・パートナーについて

1 性別

問1 あなたの思う、あなたの性別を教えてください。（回答は1つ）

回答者の性別構成比は、「男性」が39.3%、「女性」が60.7%と、女性の割合が高い。

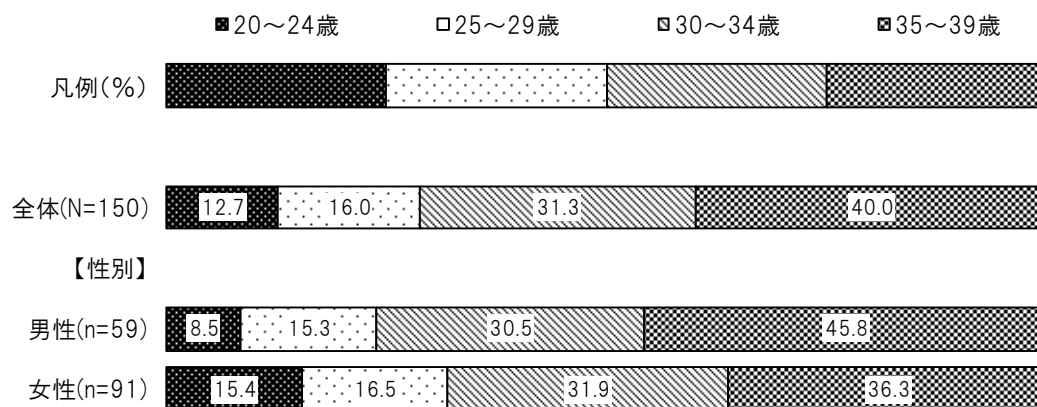


2 年齢

問2 あなたの年齢を教えてください。

年齢別構成は、「35～39歳」の割合が40.0%と最も高く、次いで「30～34歳」(31.3%)、「25～29歳」(16.0%)、「20～24歳」(12.7%)の順となっている。20代は合計で28.7%、30代は合計で71.3%となっている。

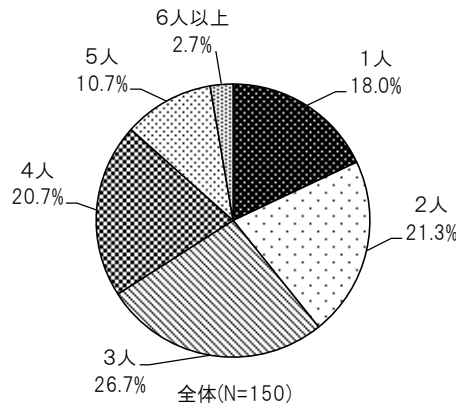
性別では、男性は女性に比べて「35～39歳」の割合が高く、女性は「20～24歳」の割合が男性を上回っている。



3 同居人数

問3 あなたと一緒に暮らしている人は、あなたを含めて何人ですか。

同居人数については、「3人」の割合が26.7%と最も高く、次いで「2人」(21.3%)、「4人」(20.7%)、「1人」(18.0%)の順となっており、平均は2.9人となっている。

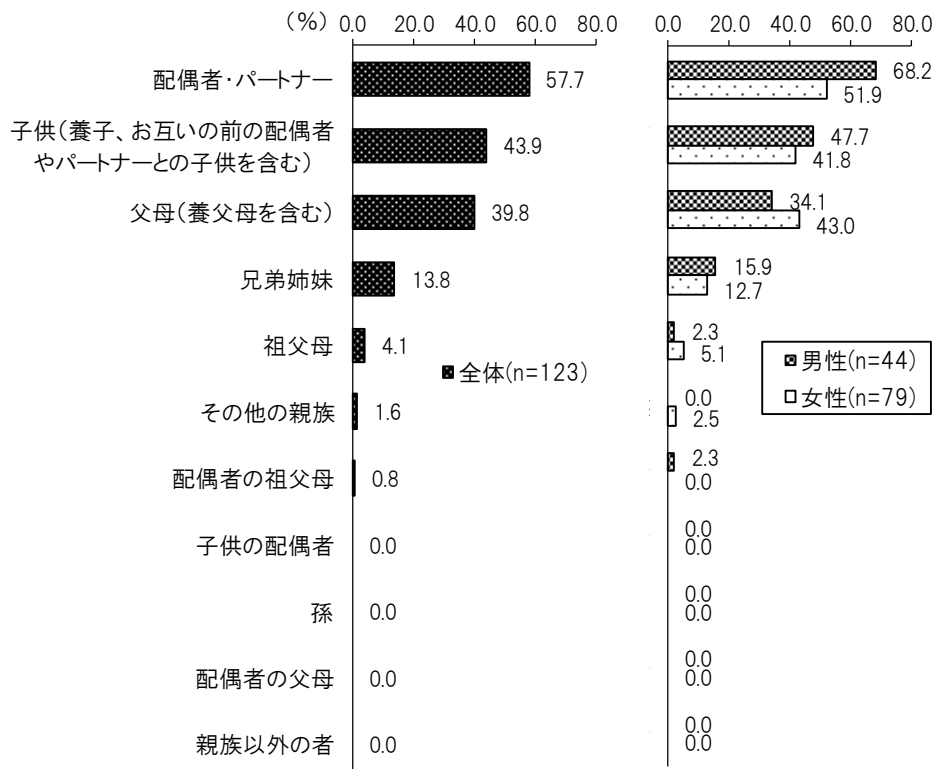


4 同居家族

【問3で「2人以上」と答えた方にお尋ねします。】
問4 あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか。(回答はあてはまるもの全て)

同居家族については、「配偶者・パートナー」の割合が57.7%と最も高く、次いで「子供(養子、お互いの前の配偶者やパートナーとの子供を含む)」(43.9%)、「父母(養父母を含む)」(39.8%)、「兄弟姉妹」(13.8%)の順となっている。

性別では、男性は「配偶者・パートナー」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「父母(養父母を含む)」の割合が高くなっている。



年齢別では、20～24歳で「父母（養父母を含む）」「兄弟姉妹」、30～39歳で「配偶者・パートナー」「子供（養子、お互いの前の配偶者やパートナーとの子供を含む）」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	配偶者・パートナー	子供（養子、お互いの前の配偶者やパートナーとの子供を含む）	父母（養父母を含む）	兄弟姉妹	祖父母	その他の親族	配偶者の祖父母	子供の配偶者	孫	配偶者の父母	親族以外の者
全体(n=123)	57.7	43.9	39.8	13.8	4.1	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
【年齢別】											
20～24歳(n=16)	25.0	12.5	68.8	31.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳(n=15)	46.7	33.3	46.7	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～34歳(n=39)	71.8	53.8	23.1	12.8	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
35～39歳(n=53)	60.4	49.1	41.5	9.4	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

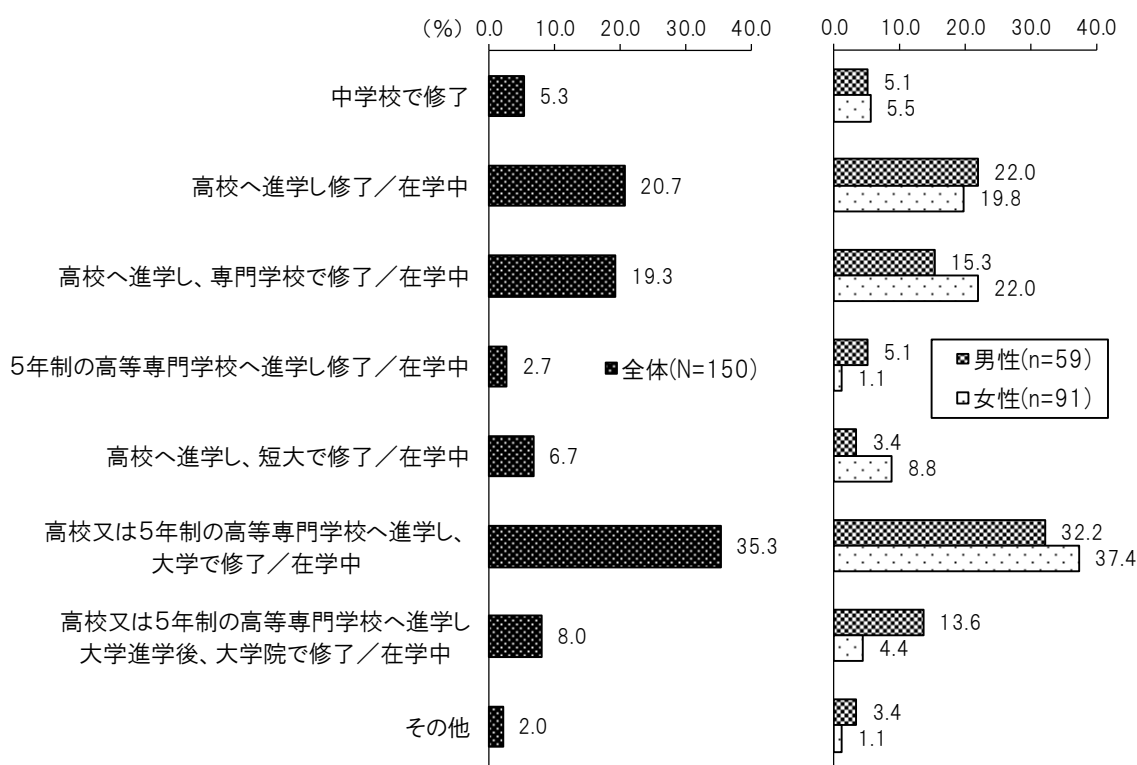
注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（年齢別など）において最も高い割合を示している。
 但し、回答割合が10%未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。
 また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

5 最終学歴

問5 あなたの進路状況を教えてください。（回答は1つ）

最終学歴については、「高校又は5年制の高等専門学校へ進学し、大学で修了／在学中」の割合が35.3%と最も高く、次いで「高校へ進学し修了／在学中」（20.7%）、「高校へ進学し、専門学校で修了／在学中」（19.3%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「高校又は5年制の高等専門学校へ進学し大学進学後、大学院で修了／在学中」の割合が高く、女性は「高校へ進学し、専門学校で修了／在学中」「高校へ進学し、短大で修了／在学中」「高校又は5年制の高等専門学校へ進学し、大学で修了／在学中」の割合が男性を上回っている。



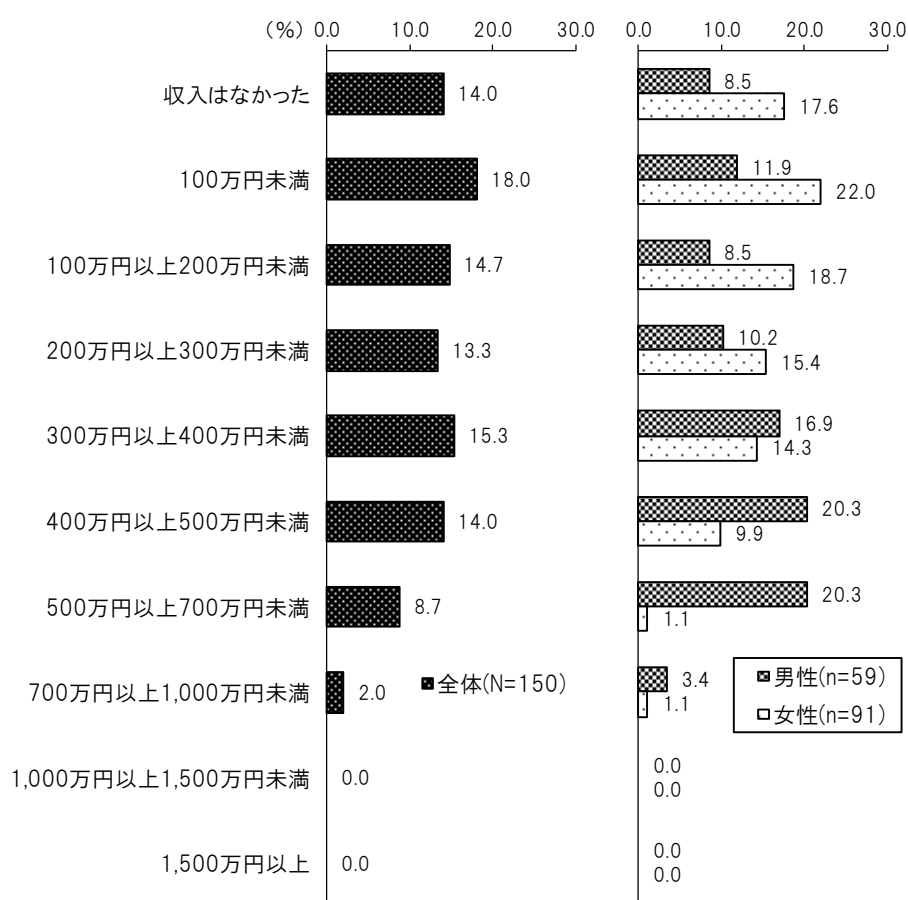
6 年収

問6 あなたご自身の税込みの収入は、年収（前年）でどのくらいですか。（就業や利子配当のほか、社会保障給付や子供からの仕送りを含みます。）（回答は1つ）

年収については、「100万円未満」の割合が18.0%と最も高く、次いで「300万円以上400万円未満」（15.3%）、「100万円以上200万円未満」（14.7%）の順となっている。

性別では、男性は「400万円以上500万円未満」「500万円以上700万円未満」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「収入はなかった」「100万円未満」「100万円以上200万円未満」などの割合が高くなっている。

年齢別では、20～24歳で「100万円未満」、35～39歳で「収入はなかった」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



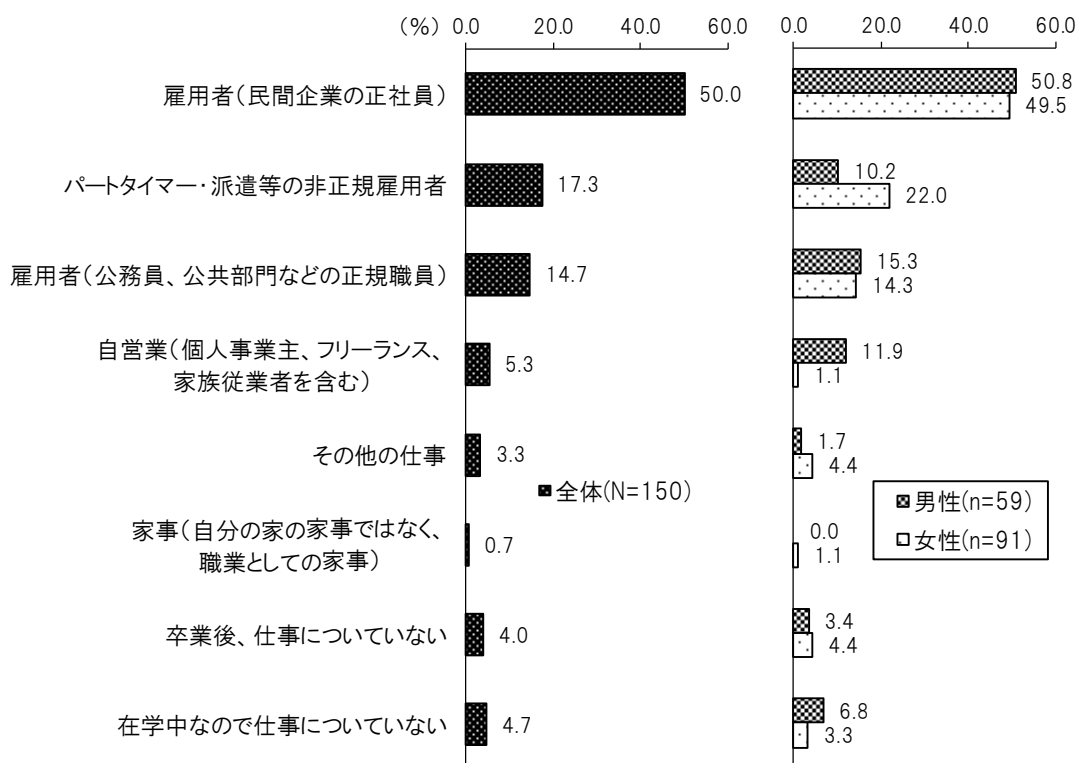
単位 (%)	収入はなかった	100万円未満	100万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上700万円未満	700万円以上1,000万円未満	1,000万円以上1,500万円未満	1,500万円以上
全体(N=150)	14.0	18.0	14.7	13.3	15.3	14.0	8.7	2.0	0.0	0.0
【年齢別】										
20～24歳(n=19)	5.3	31.6	15.8	15.8	15.8	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳(n=24)	12.5	20.8	16.7	8.3	16.7	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
30～34歳(n=47)	10.6	12.8	12.8	17.0	17.0	17.0	10.6	2.1	0.0	0.0
35～39歳(n=60)	20.0	16.7	15.0	11.7	13.3	11.7	8.3	3.3	0.0	0.0

7 初めて就いた仕事（雇用形態）

問7 あなたが学校を卒業して初めて就いたお仕事は次のどれですか。（回答は1つ）

初めて就いた仕事（雇用形態）については、「雇用者（民間企業の正社員）」の割合が50.0%と最も高く、次いで「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」（17.3%）、「雇用者（公務員、公共部門などの正規職員）」（14.7%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「自営業（個人事業主、フリーランス、家族従業者を含む）」の割合が高く、女性は「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」の割合が男性を上回っている。

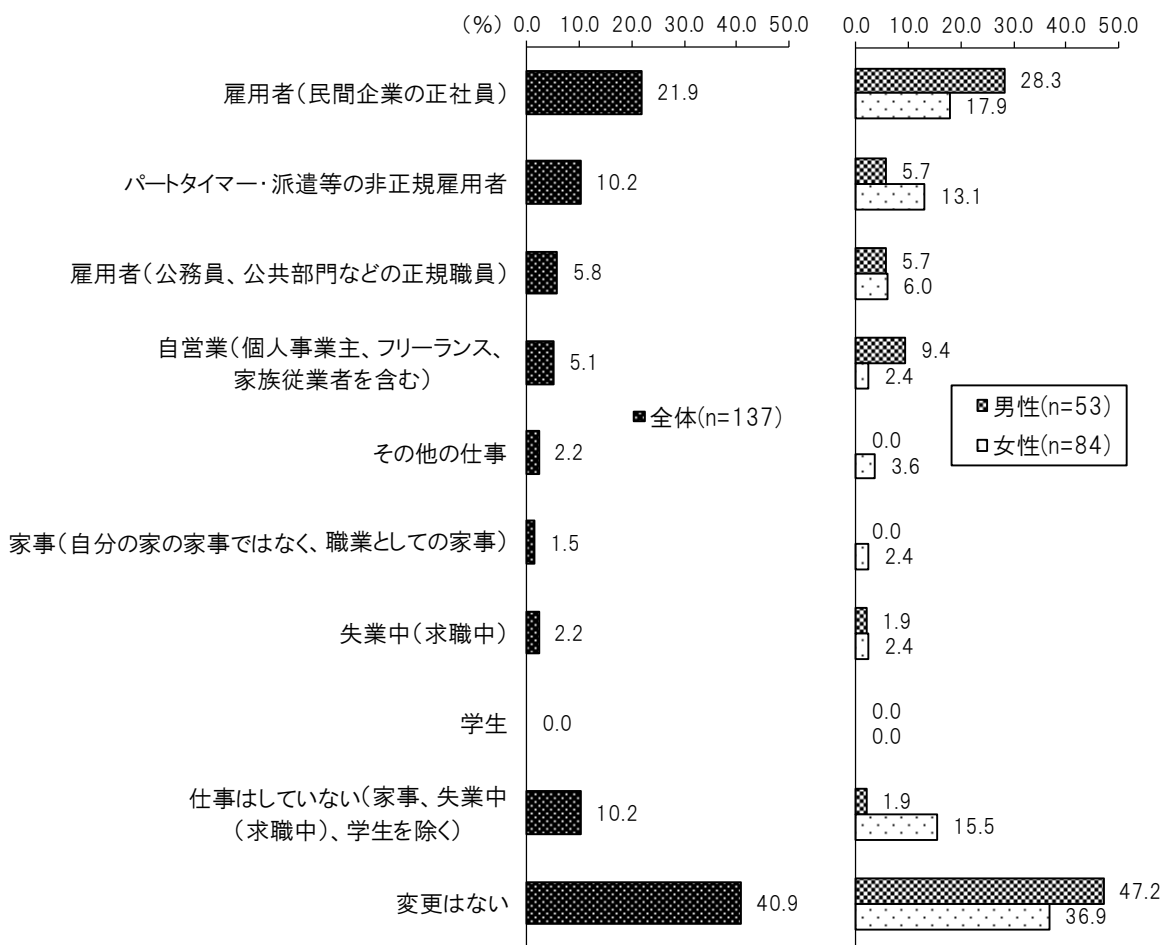


8 現在の仕事（雇用形態）

【問7で「1～6（「仕事についていない」以外）」と答えた方にお尋ねします。】
 問8 あなたの現在（普段）のお仕事は、問7から変更がありますか。（回答は1つ）

現在の仕事（雇用形態）については、4割（40.9%）が「変更はない」と回答しているが、変更した人では「雇用者（民間企業の正社員）」の割合が21.9%と最も高く、次いで「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」（10.2%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「雇用者（民間企業の正社員）」「変更はない」などの割合が高く、女性は「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」「仕事はしていない（家事、失業中（求職中）、学生を除く）」の割合が男性を上回っている。

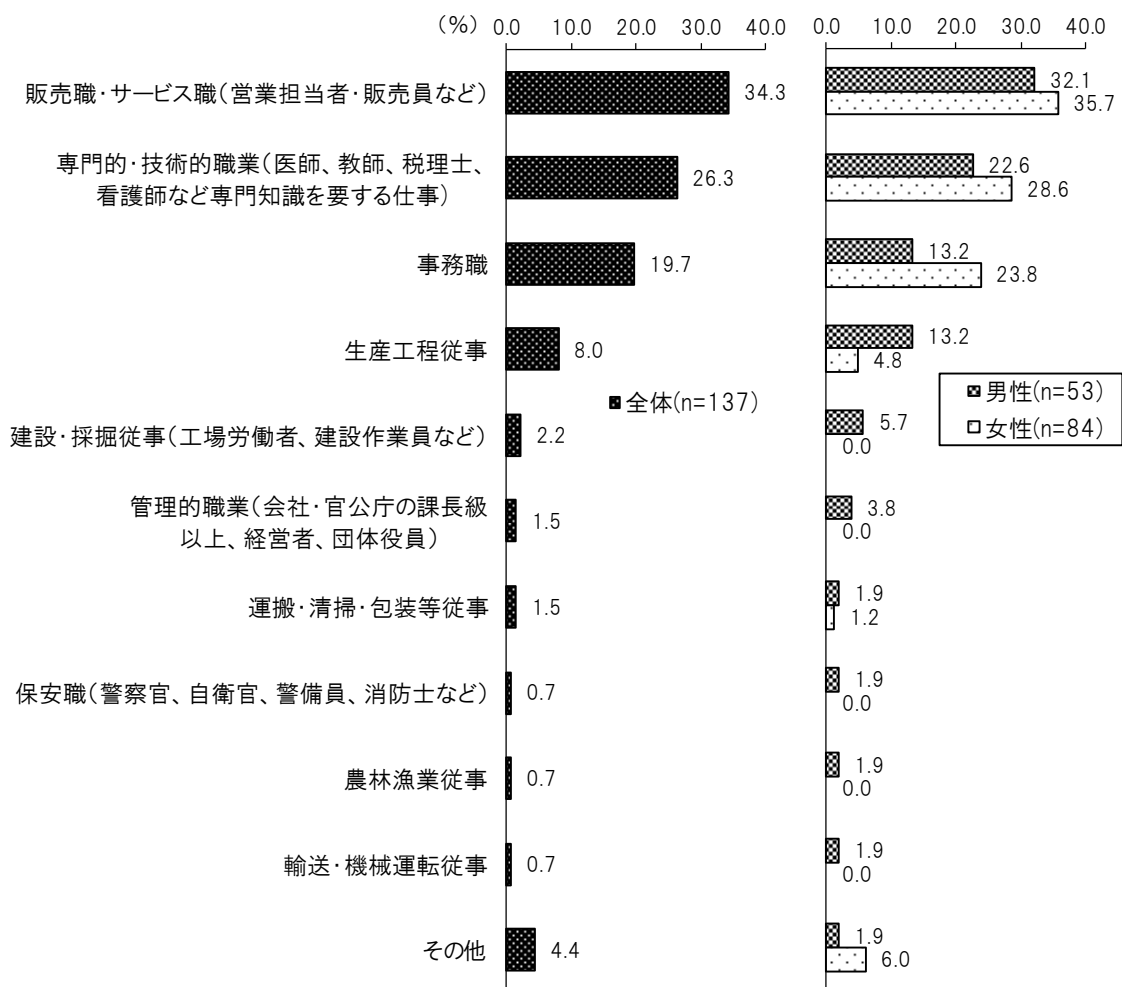


9 初めて就いた仕事の内容

【問7で「1～6（「仕事についていない」以外）」と答えた方にお尋ねします。】
 問9 あなたが学校を卒業して初めて就いたお仕事の内容は次のどれですか。
 （回答は1つ）

初めて就いた仕事の内容については、「販売職・サービス職（営業担当者・販売員など）」の割合が34.3%と最も高く、次いで「専門的・技術的職業（医師、教師、税理士、看護師など専門知識を要する仕事）」（26.3%）、「事務職」（19.7%）、「生産工程従事」（8.0%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「生産工程従事」「建設・採掘従事（工場労働者、建設作業員など）」の割合が高く、女性は「専門的・技術的職業（医師、教師、税理士、看護師など専門知識を要する仕事）」「事務職」などの割合が男性を上回っている。

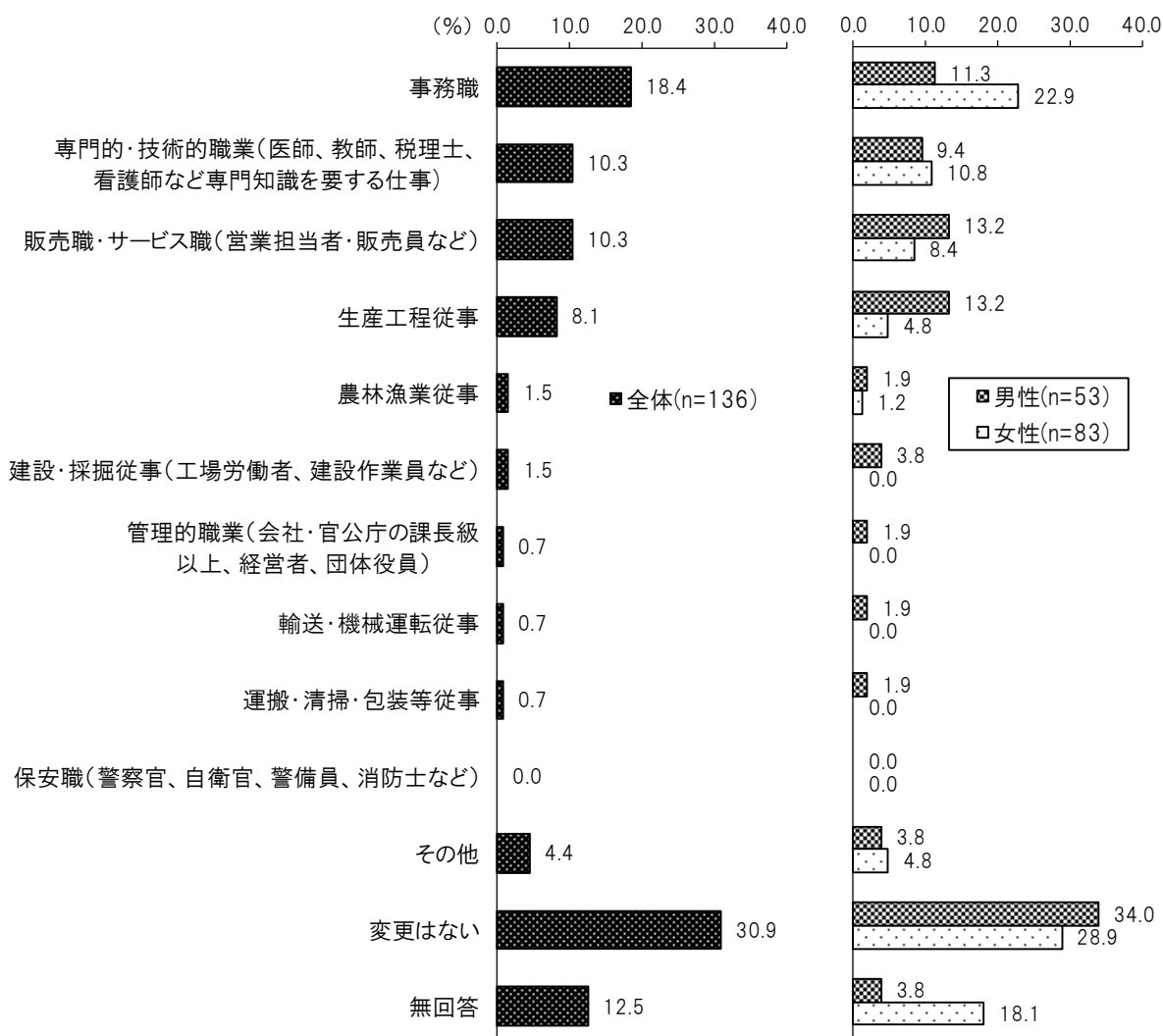


10 現在の仕事の内容

【問7で「1～5（「家事」「仕事についていない」以外）」と答えた方にお尋ねします。】
 問10 あなたの現在（普段）のお仕事の内容は問9から変更がありますか。
 （回答は1つ）

現在の仕事の内容については、3割（30.9%）が「変更はない」と回答しているが、変更した人では「事務職」の割合が18.4%と最も高く、次いで「専門的・技術的職業（医師、教師、税理士、看護師など専門知識を要する仕事）」「販売職・サービス職（営業担当者・販売員など）」（各10.3%）、「生産工程従事」（8.1%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「販売職・サービス職（営業担当者・販売員など）」「生産工程従事」「変更はない」などの割合が高く、女性は「事務職」の割合が男性を大きく上回っている。



11 平均労働時間

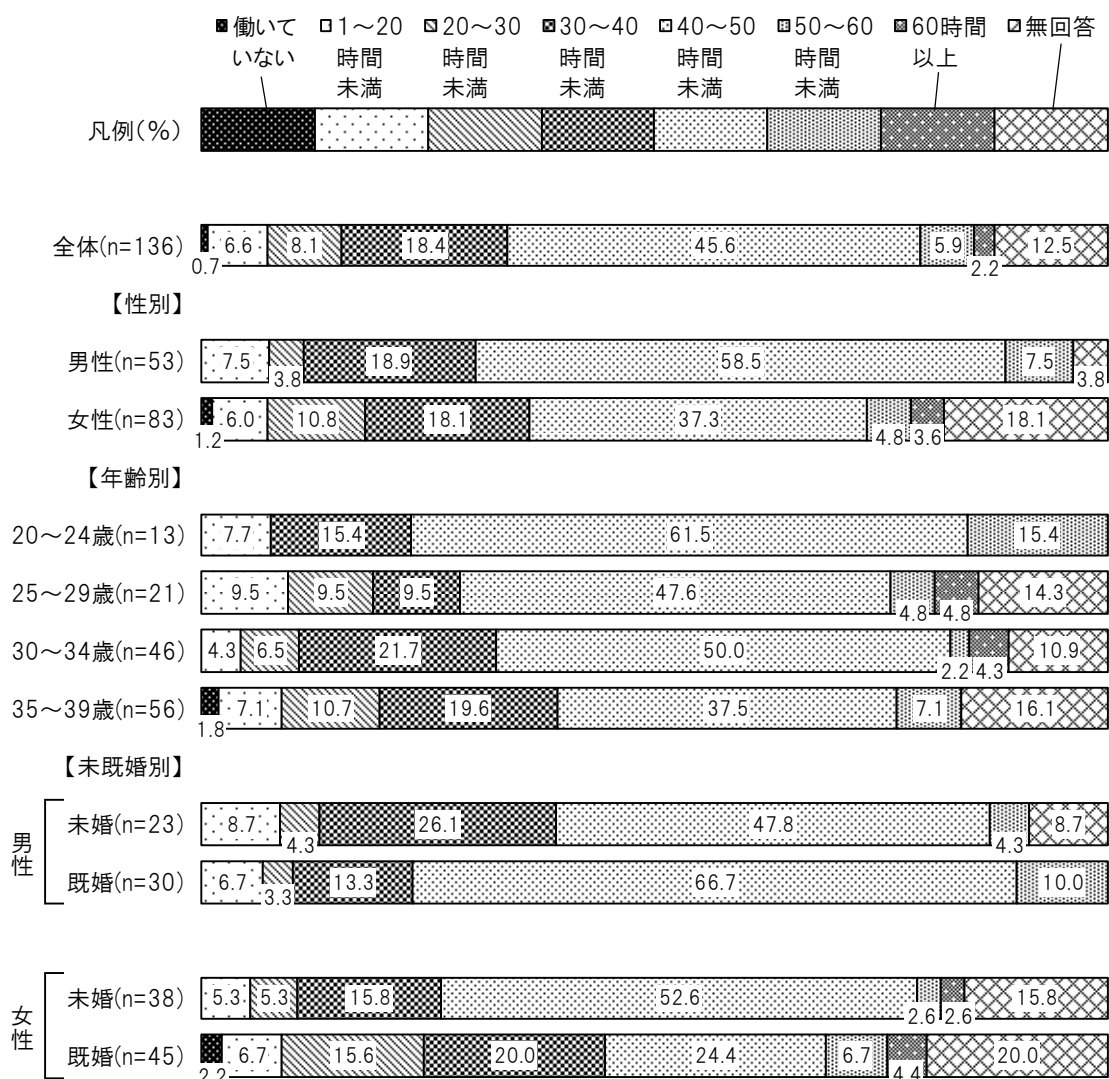
【問7で「1～5（「家事」「仕事についていない」以外）」と答えた方にお尋ねします。】
 問11 あなたの現在（普段）のお仕事では、1週間に平均何時間働いていますか。1週あたりの合計時間でお答えください。

平均労働時間については、「40～50 時間未満」の割合が45.6%と最も高く、次いで「30～40 時間未満」（18.4%）、「20～30 時間未満」（8.1%）の順となっている。

性別では、男性は「40～50 時間未満」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「20～30 時間未満」の割合が高くなっている。

年齢別では、20～24 歳で「40～50 時間未満」「50～60 時間未満」、30～39 歳で「30～40 時間未満」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

未既婚別（問33）でみると、男性の既婚や女性の未婚で「40～50 時間未満」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。



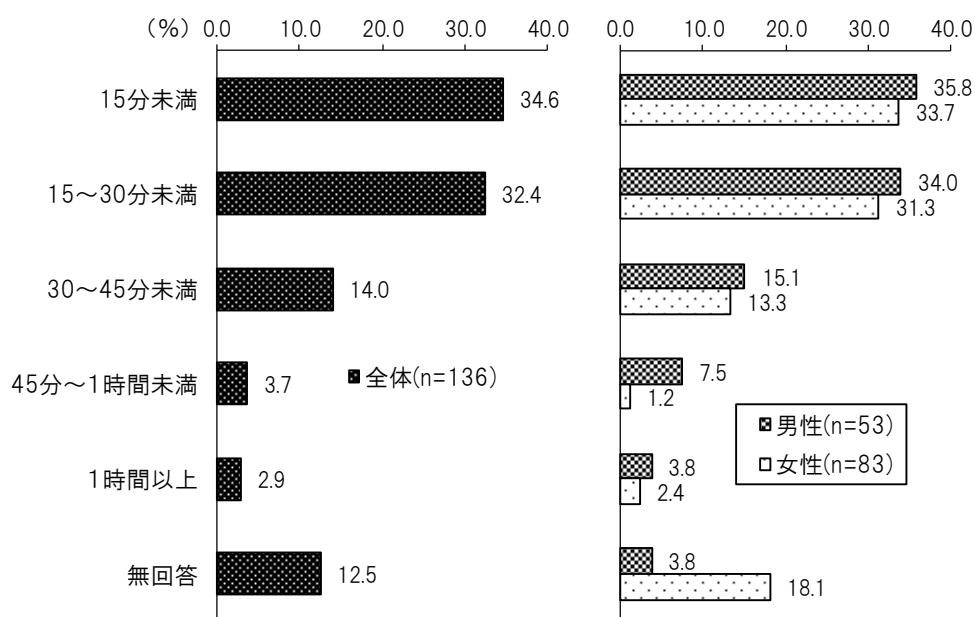
注：未既婚別（問33）については、下記のように振り分けて集計している。（以下同様）
 未婚は「結婚も同棲もしていない」
 既婚は「結婚している」「結婚していないが、同棲している」「結婚したことはあるが、今はそうではない」

12 職場までの片道所要時間

【問7で「1～5（「家事」「仕事についていない」以外）」と答えた方にお尋ねします。】
 問12 自宅から仕事場までの片道所要時間は何分くらいですか。仕事場がいくつかに分かれる方は、一番よく通われる場所についてお答えください。

職場までの片道所要時間については、「15分未満」の割合が34.6%と最も高く、次いで「15～30分未満」（32.4%）、「30～45分未満」（14.0%）の順となっており、平均は18.7分であった。

性別では、男性は女性に比べて「45分～1時間未満」の割合が高く、男性の平均は19.9分、女性の平均は17.7分であった。

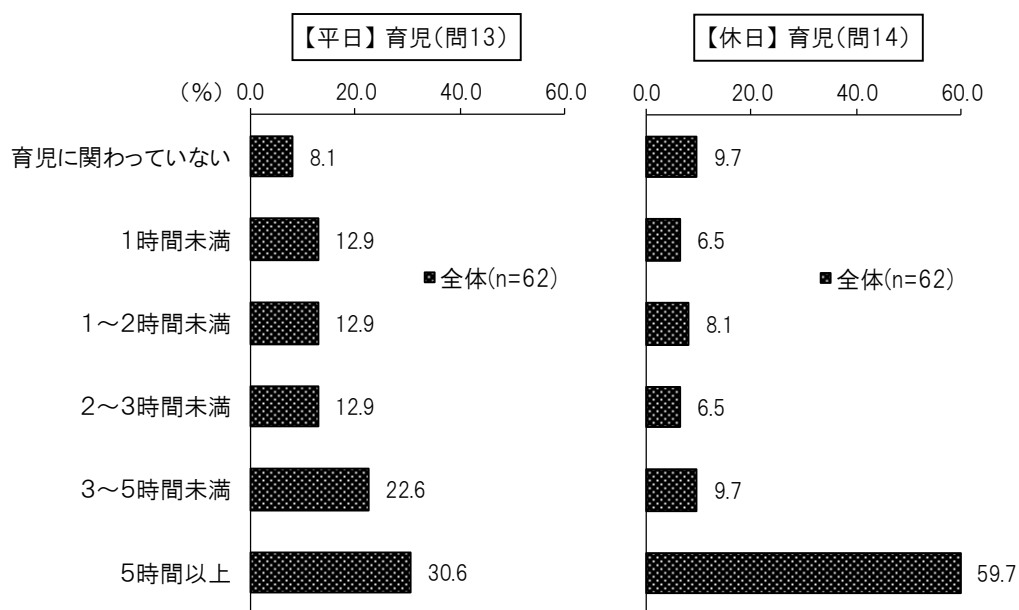


13 1日あたりの育児をする時間

問13 あなたは平日にどのくらいの時間、育児をしていますか。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

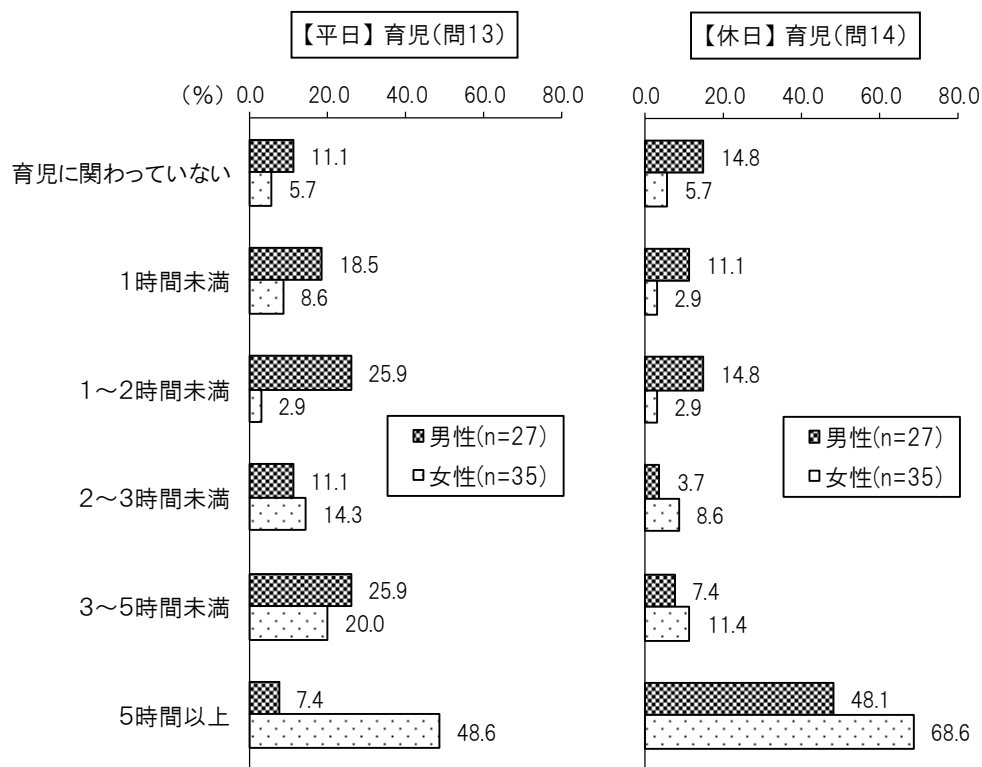
問14 あなたは休日にどのくらいの時間、育児をしていますか。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

1日あたりの育児をする時間について、平日では「5時間以上」の割合が30.6%と最も高く、次いで「3～5時間未満」(22.6%)が続いている。休日では「5時間以上」が59.7%と突出して高くなっている。



注：子供がいる人（問44で子供が1人以上）を母数としている。

性別で見ると、平日、休日共に、男性は女性に比べて「育児に関わっていない」「1時間未満」「1～2時間未満」の割合が高く、女性は「5時間以上」の割合が男性を大きく上回っている。



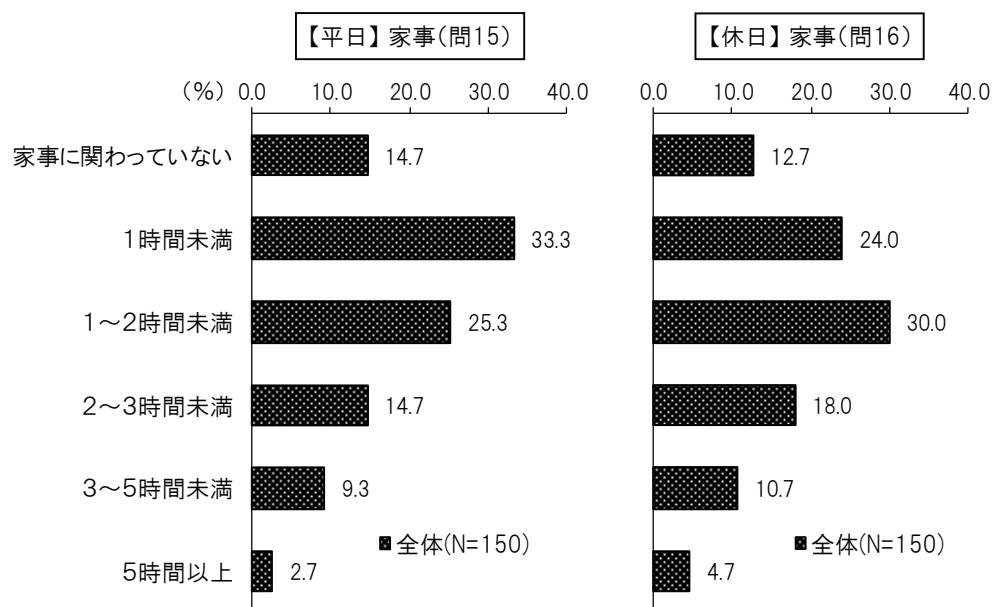
注：子供がいる人（問44で子供が1人以上）を母数としている。

14 1日あたりの家事をする時間

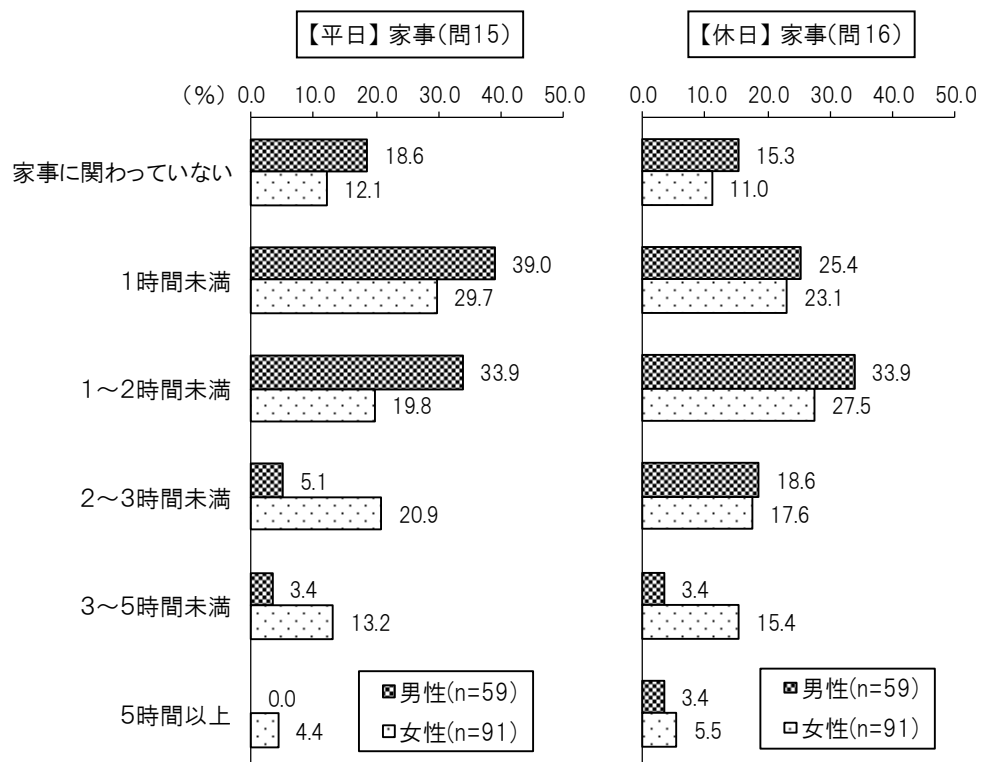
問15 あなたは平日にどのくらいの時間、家事をしていますか。家事には、家や車の修繕・庭の手入れ・芝刈りなどは含めず、炊事、洗濯、掃除のみでお答えください。
1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

問16 あなたは休日にどのくらいの時間、家事をしていますか。家事には、家や車の修繕・庭の手入れ・芝刈りなどは含めず、炊事、洗濯、掃除のみでお答えください。
1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

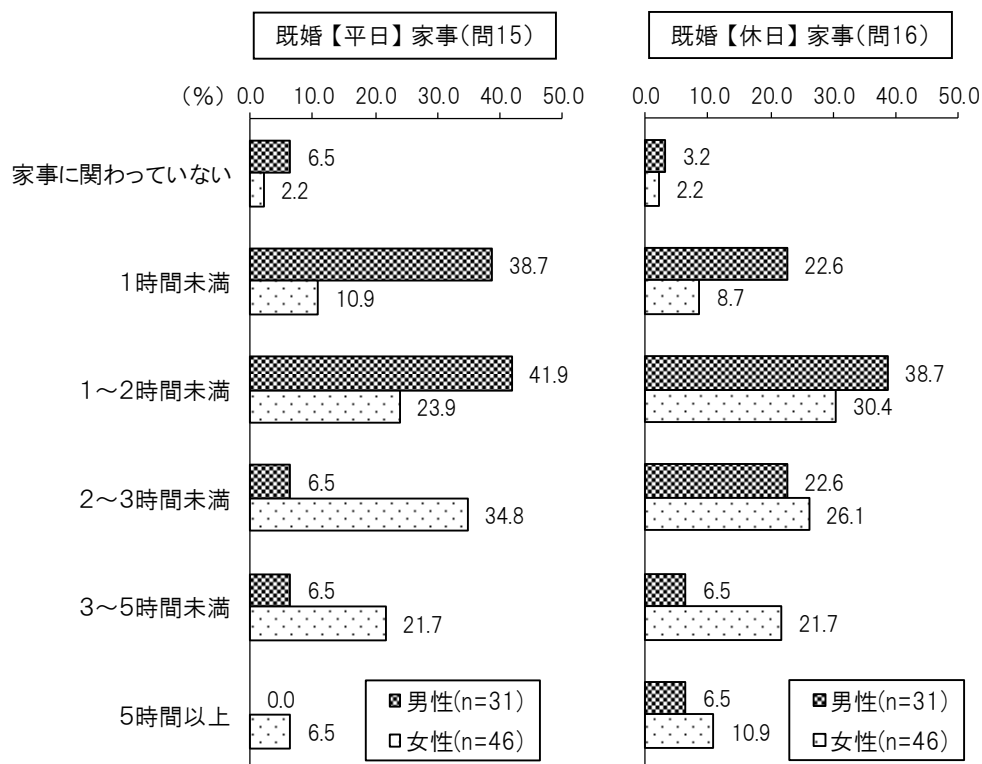
1日あたりの家事をする時間について、平日では「1時間未満」の割合が33.3%と最も高く、次いで「1～2時間未満」(25.3%)が続いている。休日では「1～2時間未満」の割合が30.0%と最も高く、次いで「1時間未満」(24.0%)が続いている。



性別でみると、平日では、男性は女性に比べて「家事に関わっていない」「1時間未満」「1～2時間未満」の割合が高く、女性は「2～3時間未満」「3～5時間未満」の割合が男性を大きく上回っている。また、休日においても女性は「3～5時間未満」の割合が男性を大きく上回っている。



既婚（同棲している人を含む）の場合でみると、平日では、男性は「1時間未満」「1～2時間未満」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「2～3時間未満」「3～5時間未満」の割合が高くなっている。休日では、男性は女性に比べて「1時間未満」の割合が高く、女性は「3～5時間未満」の割合が男性を上回っている。



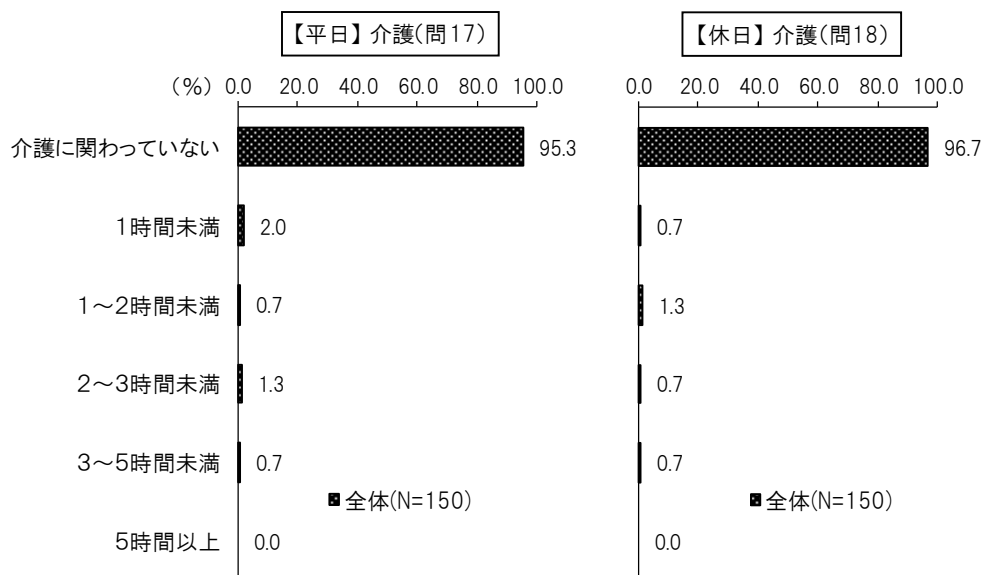
注：問33で「結婚している」「結婚していないが、同棲している」「結婚したことはあるが、今はそうではない」と回答した人を母数としている。

15 1日あたりの介護をする時間

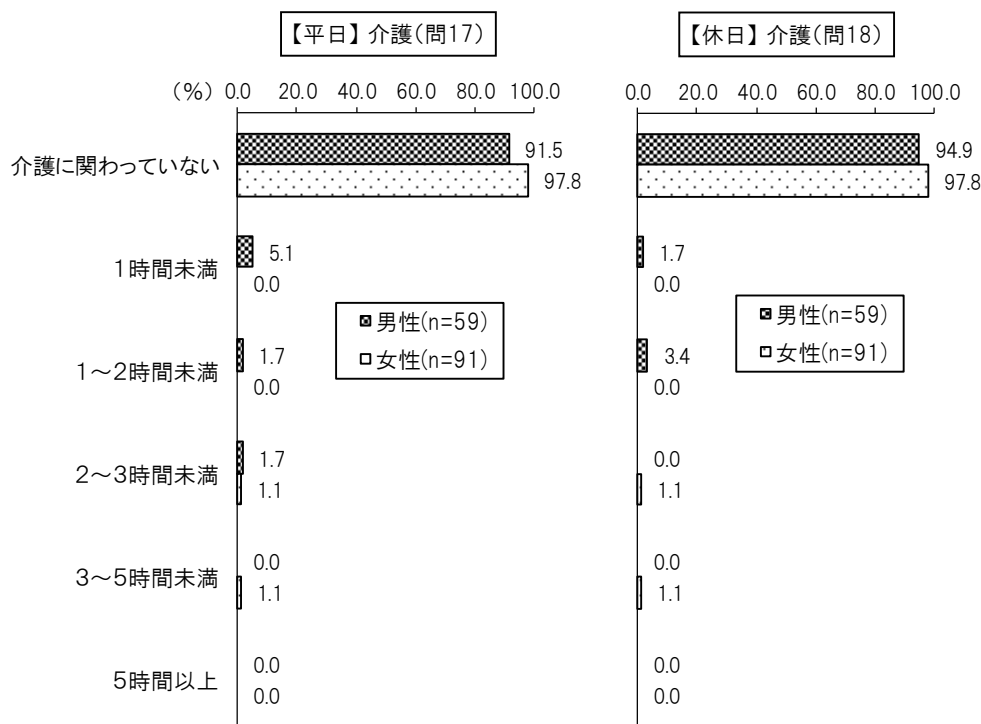
問 17 あなたは平日にどのくらいの時間、介護をしていますか。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

問 18 あなたは休日にどのくらいの時間、介護をしていますか。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

1日あたりの介護をする時間について、大半が「介護に関わっていない」と回答しており、平日と休日に大きな差はみられない。



性別でみると、平日、休日共に、女性は男性に比べて「介護に関わっていない」の割合がやや高くなっている。

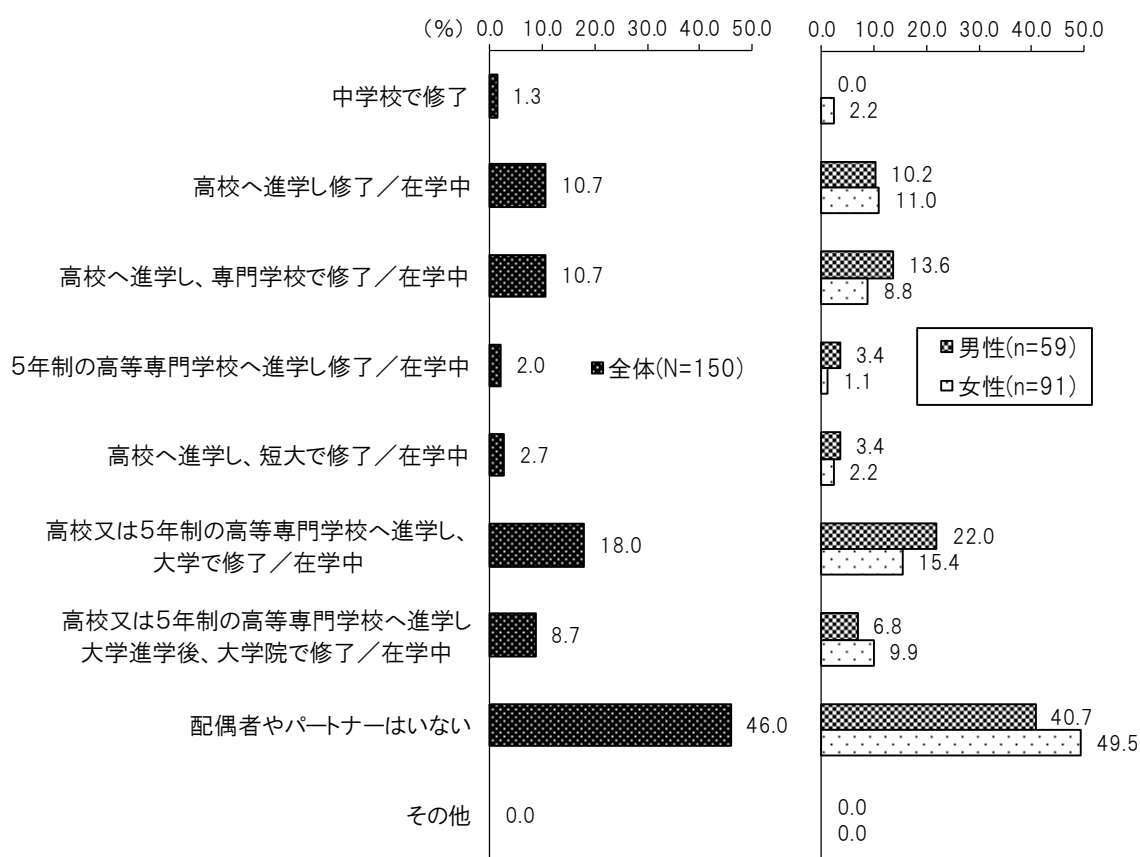


16 配偶者・パートナーの最終学歴

問 19 あなたの配偶者・パートナーが卒業・修了した学校を教えてください。
(回答は1つ)

配偶者・パートナーの最終学歴については、4割以上(46.0%)が「配偶者やパートナーはいない」と回答しているが、最終学歴としては「高校又は5年制の高等専門学校へ進学し、大学で修了／在学中」の割合が18.0%と最も高く、次いで「高校へ進学し修了／在学中」「高校へ進学し、専門学校で修了／在学中」(各10.7%)が続いている。

性別でみると、男性の配偶者・パートナーでは「高校又は5年制の高等専門学校へ進学し、大学で修了／在学中」の割合が最も高くなっている。

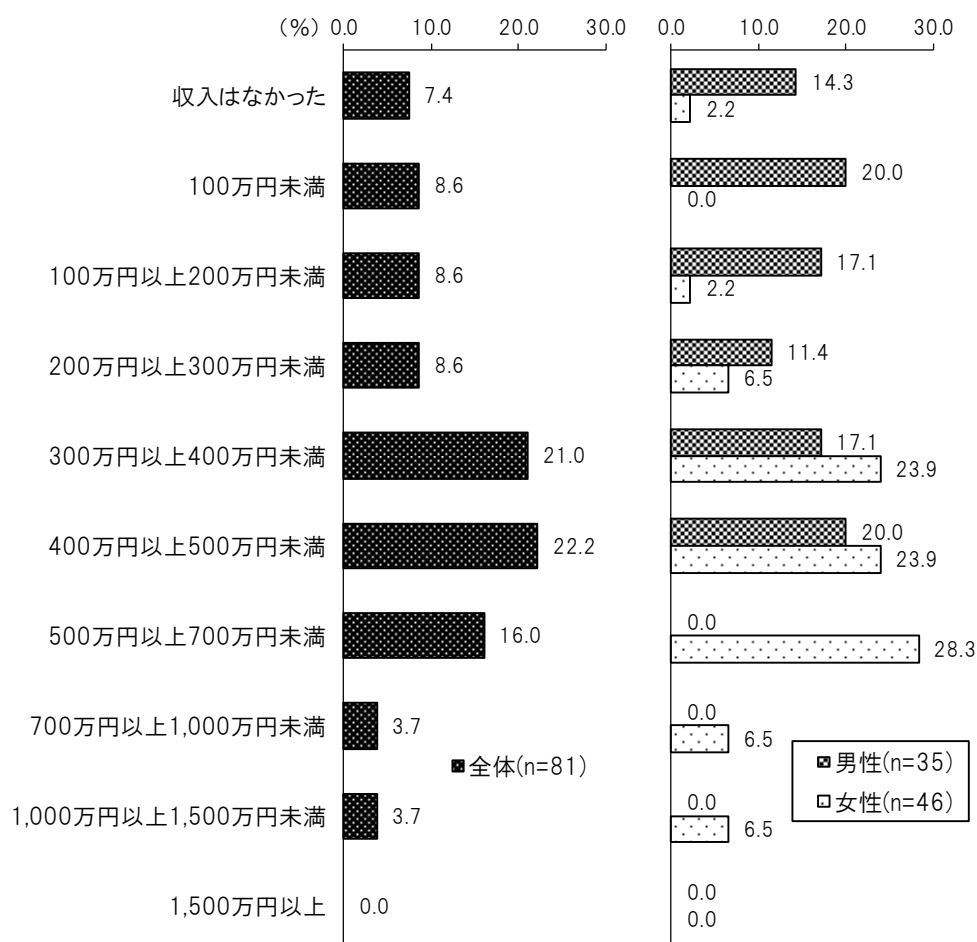


17 配偶者・パートナーの年収

【問19で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】
 問20 あなたの配偶者・パートナーの税込みの収入は、年収（前年）でどのくらいですか。（就業や利子配当のほか、社会保障給付や子供からの仕送りを含みます。）
 （回答は1つ）

配偶者・パートナーの年収については、「400万円以上500万円未満」の割合が22.2%と最も高く、次いで「300万円以上400万円未満」（21.0%）、「500万円以上700万円未満」（16.0%）の順となっている。

性別でみると、男性の配偶者・パートナーでは「100万円未満」「400万円以上500万円未満」の割合が最も高く、女性の配偶者・パートナーでは「500万円以上700万円未満」の割合が最も高くなっている。

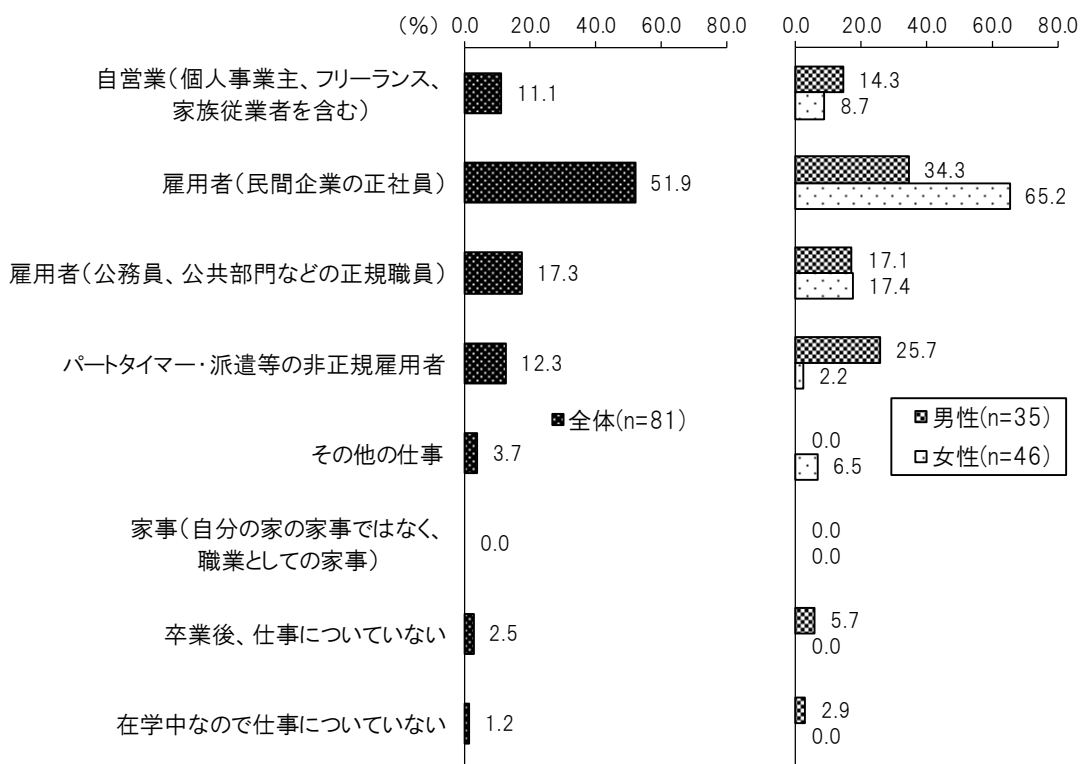


18 配偶者・パートナーの仕事（雇用形態）

【問19で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】
 問21 あなたの配偶者・パートナーのお仕事は次のどれにあてはまりますか。
 （回答は1つ）

配偶者・パートナーの仕事（雇用形態）については、「雇用者（民間企業の正社員）」の割合が51.9%と最も高く、次いで「雇用者（公務員、公共部門などの正規職員）」（17.3%）、「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」（12.3%）の順となっている。

性別でみると、男性の配偶者・パートナーでは「雇用者（民間企業の正社員）」「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」の順に割合が高く、女性の配偶者・パートナーでは「雇用者（民間企業の正社員）」の割合が最も高くなっている。

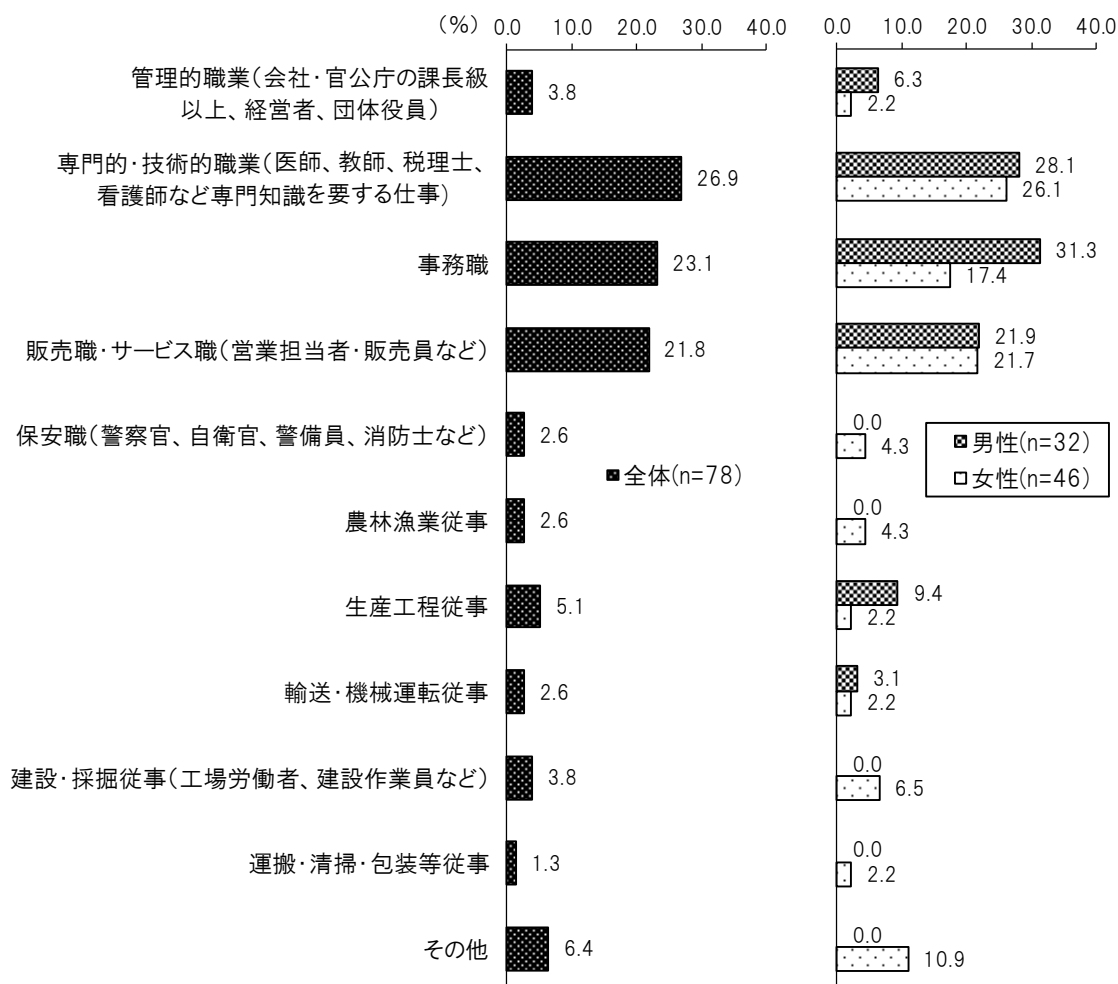


19 配偶者・パートナーの仕事の内容

【問21で「1～6（「仕事についていない」以外）」と答えた方にお尋ねします。】
 問22 あなたの配偶者・パートナーのお仕事の内容は次のどれにあてはまりますか。
 （回答は1つ）

配偶者・パートナーの仕事の内容については、「専門的・技術的職業（医師、教師、税理士、看護師など専門知識を要する仕事）」の割合が26.9%と最も高く、次いで「事務職」（23.1%）、「販売職・サービス職（営業担当者・販売員など）」（21.8%）の順となっている。

性別でみると、男性の配偶者・パートナーでは「事務職」「専門的・技術的職業（医師、教師、税理士、看護師など専門知識を要する仕事）」「販売職・サービス職（営業担当者・販売員など）」の順に割合が高く、女性の配偶者・パートナーでは「専門的・技術的職業（医師、教師、税理士、看護師など専門知識を要する仕事）」の割合が最も高くなっている。

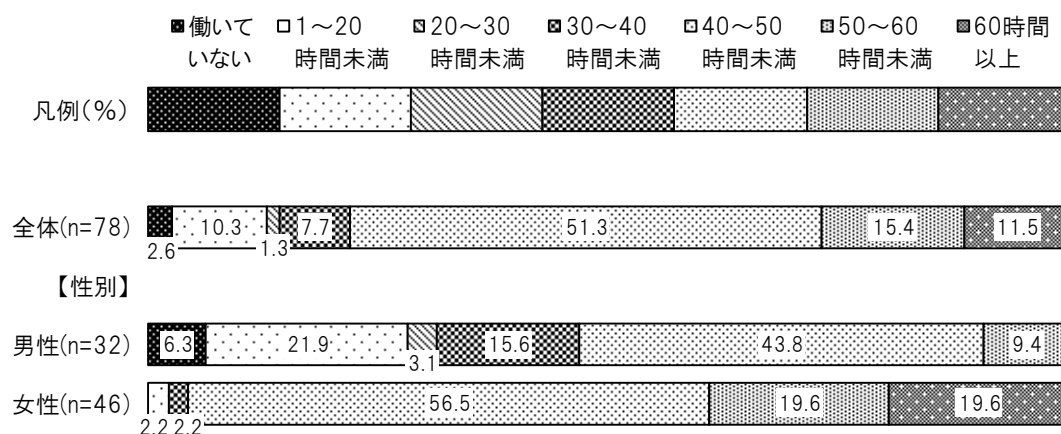


20 配偶者・パートナーの平均労働時間

【問 21 で「1～6（「仕事についていない」以外）」と答えた方にお尋ねします。】
 問 23 あなたの配偶者・パートナーの現在（普段）のお仕事では、1 週間に平均何時間働いていますか。1 週あたりの合計時間でお答えください。

配偶者・パートナーの平均労働時間については、「40～50 時間未満」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「50～60 時間未満」（15.4%）、「60 時間以上」（11.5%）の順となっている。

性別で見ると、男性の配偶者・パートナーでは「40～50 時間未満」「1～20 時間未満」「30～40 時間未満」の順に割合が高く、女性の配偶者・パートナーでは「40～50 時間未満」の割合が最も高くなっている。

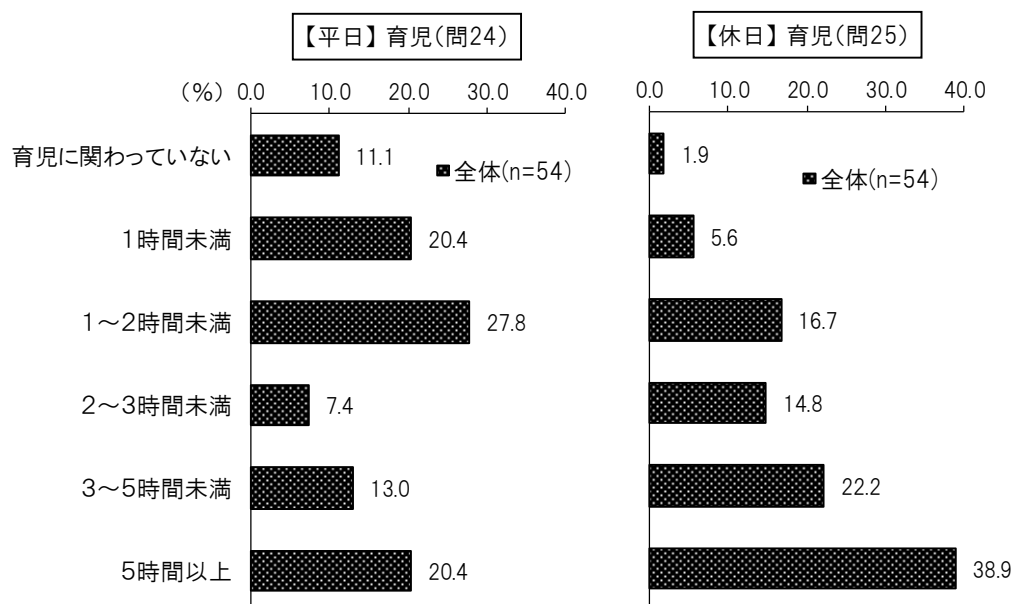


21 配偶者・パートナーの1日あたりの育児をする時間

【問19で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】
 問24 あなたの配偶者・パートナーは平日にどのくらいの時間、育児をしていますか。
 1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

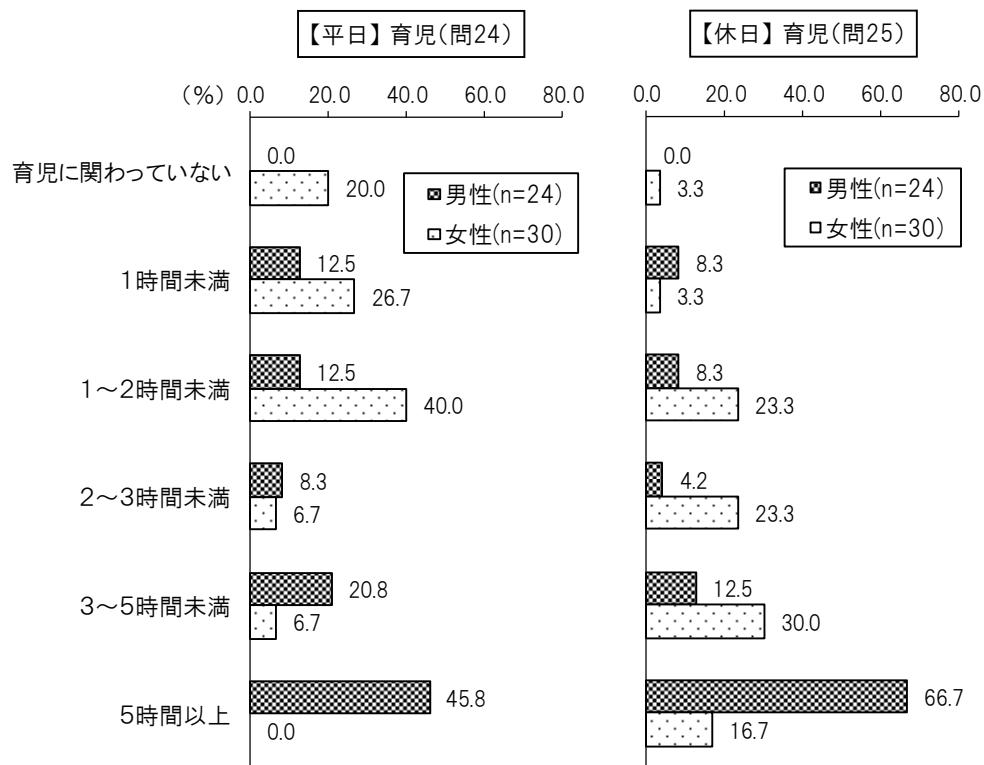
【問19で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】
 問25 あなたの配偶者・パートナーは休日にどのくらいの時間、育児をしていますか。
 1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

配偶者・パートナーの1日あたりの育児をする時間について、平日では「1～2時間未満」の割合が27.8%と最も高く、次いで「1時間未満」「5時間以上」（各20.4%）が続いている。休日では「5時間以上」の割合が38.9%と最も高く、次いで「3～5時間未満」（22.2%）が続いている。



注：子供がいる人（問44で子供が1人以上）を母数としている。

性別で見ると、男性の配偶者・パートナーでは平日、休日共に「5時間以上」の割合が最も高く、女性の配偶者・パートナーでは平日は「1～2時間未満」、休日は「3～5時間未満」の割合がそれぞれ最も高くなっている。



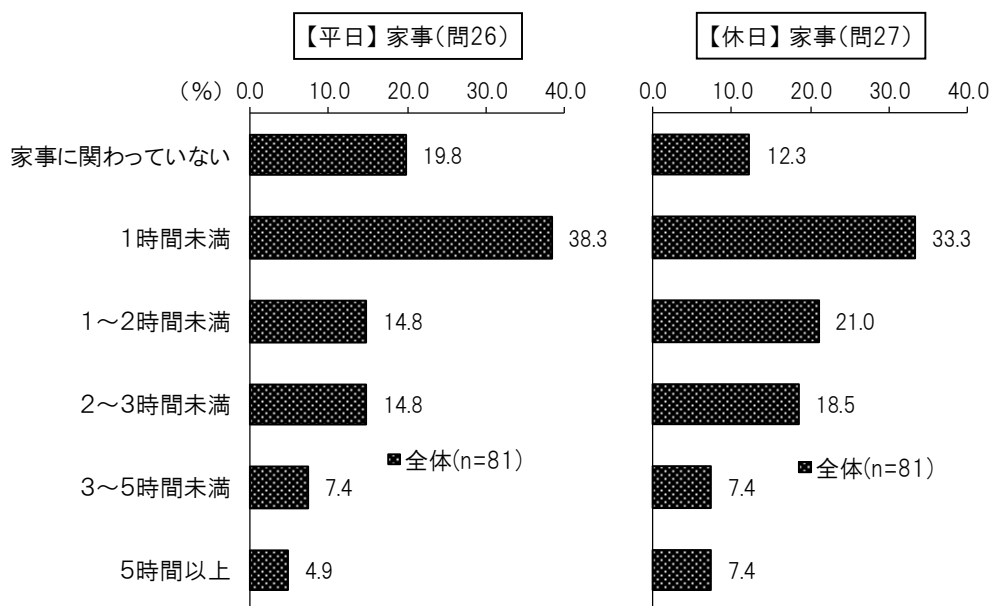
注：子供がいる人（問44で子供が1人以上）を母数としている。

22 配偶者・パートナーの1日あたりの家事をする時間

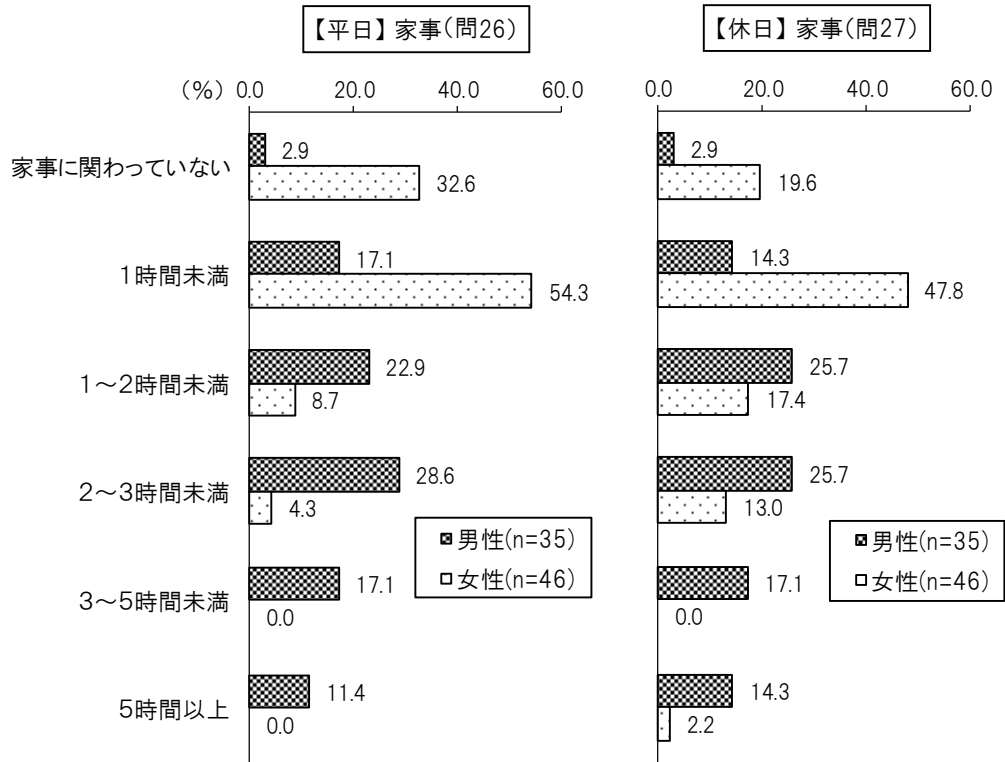
【問19で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】
 問26 あなたの配偶者・パートナーは平日にどのくらいの時間、家事をしていますか。
 家事には、家や車の修繕・庭の手入れ・芝刈りなどは含めず、炊事、洗濯、掃除のみでお答えください。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

【問19で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】
 問27 あなたの配偶者・パートナーは休日にどのくらいの時間、家事をしていますか。
 家事には、家や車の修繕・庭の手入れ・芝刈りなどは含めず、炊事、洗濯、掃除のみでお答えください。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

配偶者・パートナーの1日あたりの家事をする時間について、平日では「1時間未満」の割合が38.3%と最も高く、次いで「家事に関わっていない」（19.8%）が続いている。休日においても「1時間未満」の割合が33.3%と最も高く、次いで「1～2時間未満」（21.0%）が続いている。



性別でみると、男性の配偶者・パートナーでは平日、休日共に「1～2時間未満」「2～3時間未満」の割合が高く、女性の配偶者・パートナーでは平日、休日共に「1時間未満」「家事に関わっていない」の割合が高くなっている。

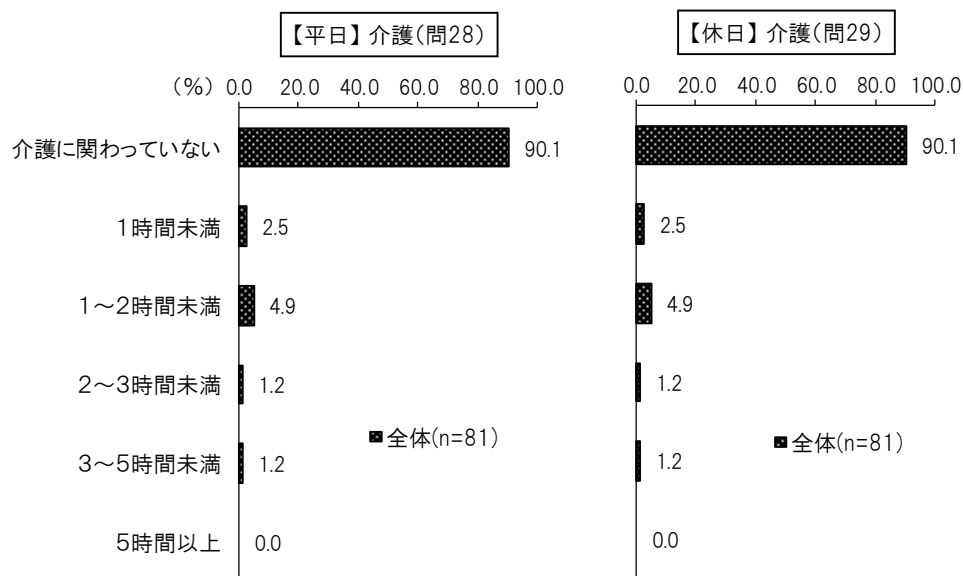


23 配偶者・パートナーの1日あたりの介護をする時間

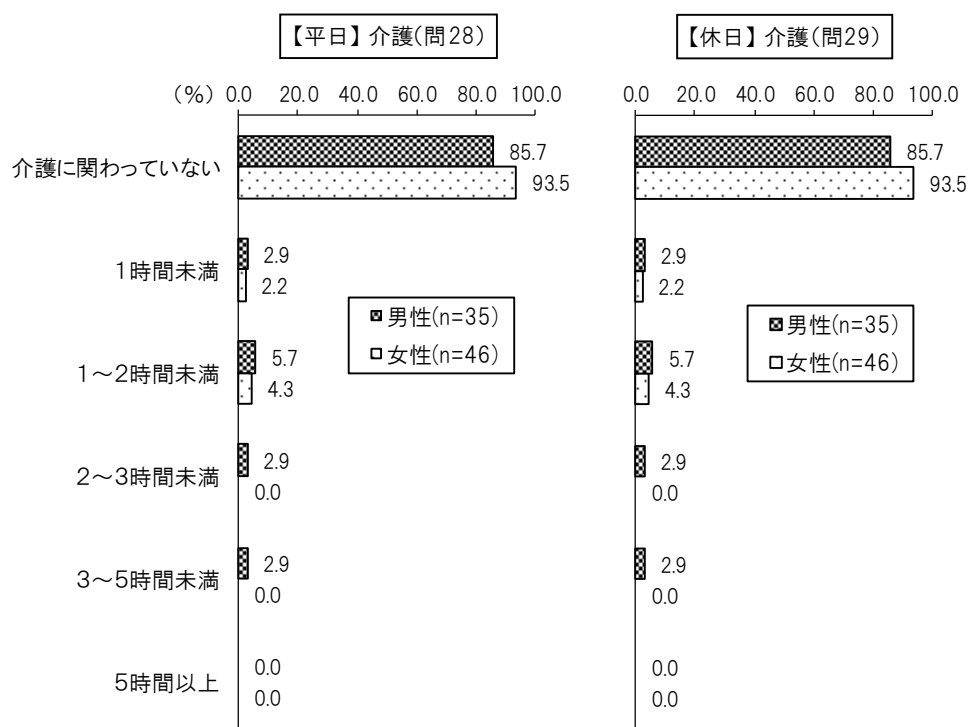
【問19で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】
 問28 あなたの配偶者・パートナーは平日にどのくらいの時間、介護をしていますか。
 1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

【問19で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】
 問29 あなたの配偶者・パートナーは休日にどのくらいの時間、介護をしていますか。
 1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

配偶者・パートナーの1日あたりの介護をする時間について、平日、休日共に大半が「介護に関わっていない」と回答している。



性別でみると、女性の配偶者・パートナーにおいて「介護に関わっていない」の割合が高くなっている。



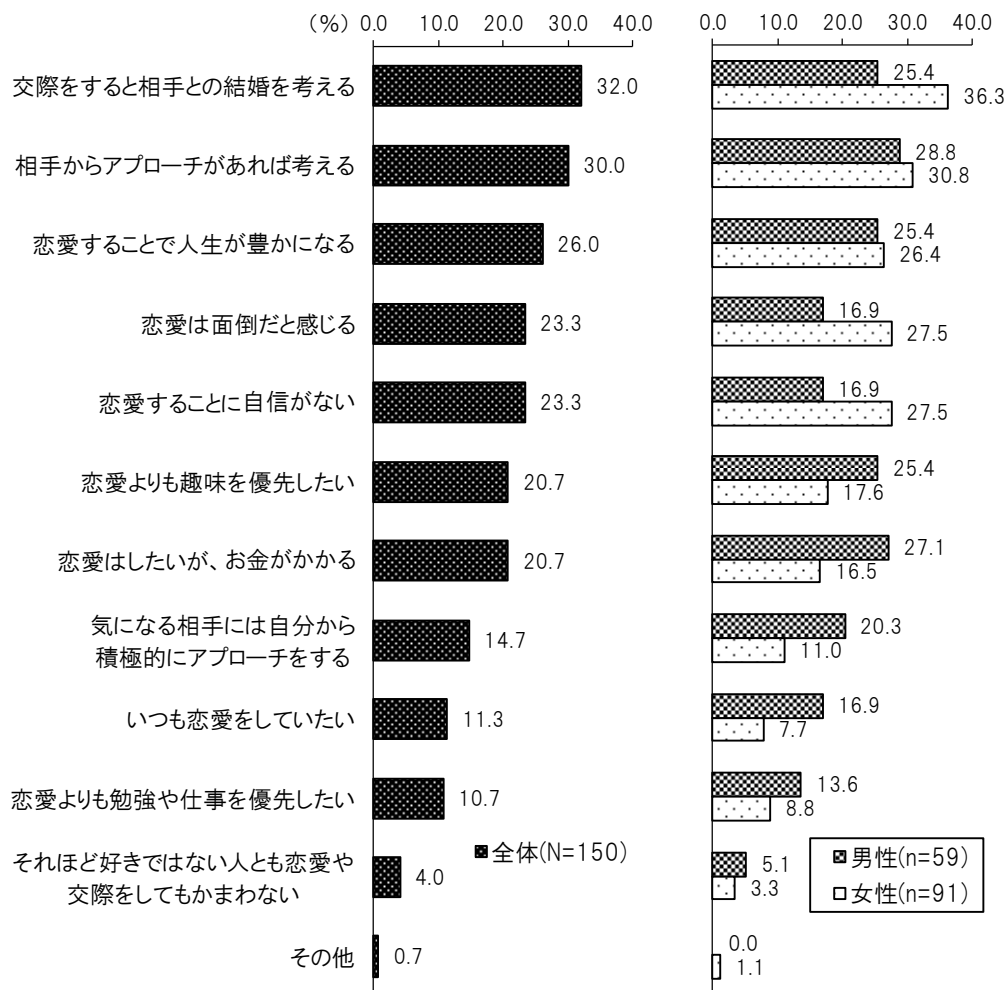
【2】交際・恋愛について

1 恋愛について

問 30 恋愛に関するあなたの考えについて、あてはまるものを全てお選びください。
 (回答はあてはまるもの全て)

恋愛については、「交際をすると相手との結婚を考える」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「相手からアプローチがあれば考える」(30.0%)、「恋愛することで人生が豊かになる」(26.0%)、「恋愛は面倒だと感じる」「恋愛することに自信がない」(各 23.3%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「恋愛よりも趣味を優先したい」「恋愛はしたいが、お金がかかる」「気になる相手には自分から積極的にアプローチをする」などの割合が高く、女性は「交際をすると相手との結婚を考える」「恋愛は面倒だと感じる」「恋愛することに自信がない」の割合が男性を大きく上回っている。



未既婚別では、未婚の場合は「恋愛は面倒だと感じる」「恋愛することに自信がない」「恋愛よりも趣味を優先したい」「恋愛はしたいが、お金がかかる」の割合が既婚を大きく上回っている。

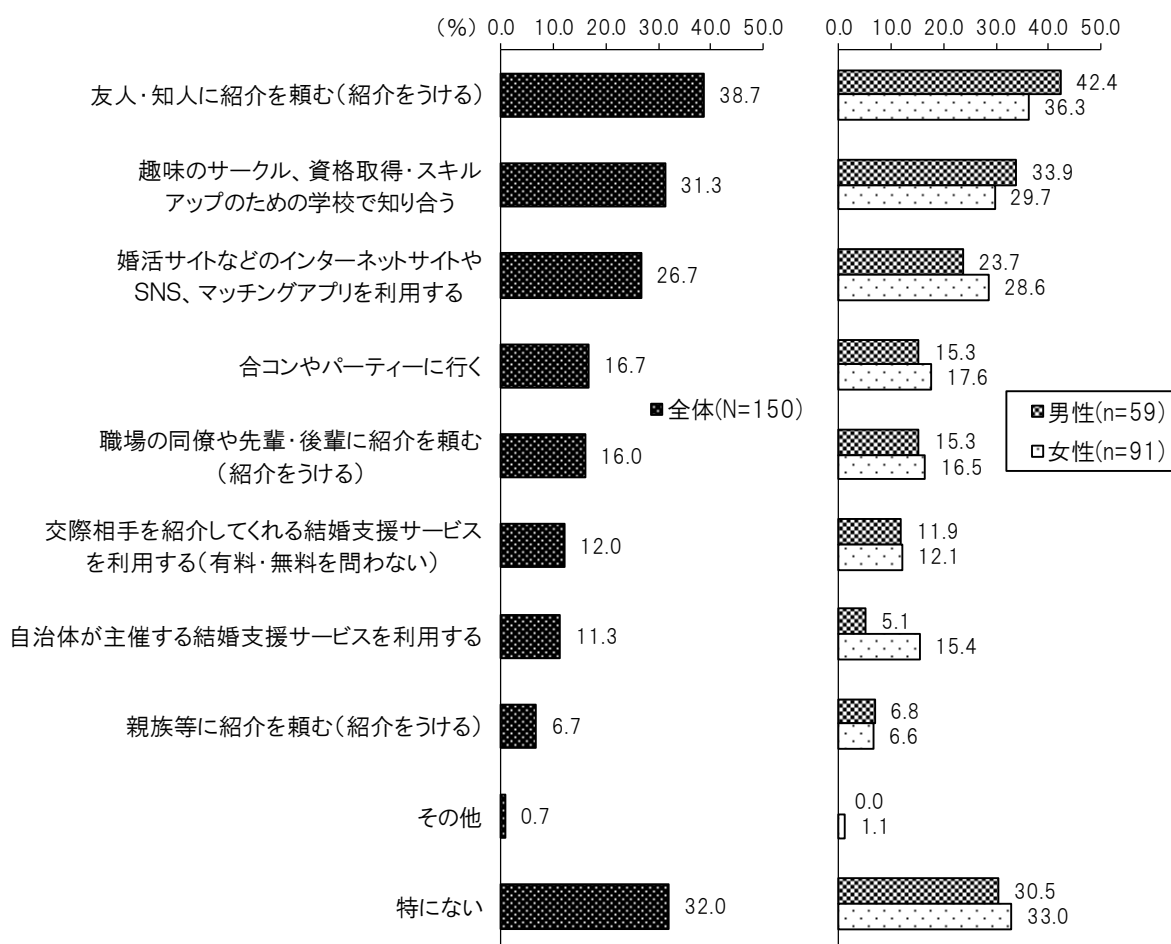
単位 (%)	交際をすると相手との結婚を考える	相手からアプローチがあれば考える	恋愛することで人生が豊かになる	恋愛は面倒だと感じる	恋愛することに自信がない	恋愛よりも趣味を優先したい	恋愛はしたいが、お金がかかる	気になる相手には自分から積極的にアプローチをする	いつも恋愛をしていたい	恋愛よりも勉強や仕事を優先したい	それほど好きではない人とも恋愛や交際をしてもかまわない	その他
全体(N=150)	32.0	30.0	26.0	23.3	23.3	20.7	20.7	14.7	11.3	10.7	4.0	0.7
【未既婚別】												
未婚(n=73)	27.4	27.4	24.7	28.8	32.9	28.8	26.0	13.7	6.8	11.0	1.4	0.0
既婚(n=77)	36.4	32.5	27.3	18.2	14.3	13.0	15.6	15.6	15.6	10.4	6.5	1.3

2 交際相手との出会いについて

問 31 交際相手との出会いを求めるとしたら、どんな機会があるとよいですか。
 (回答はあてはまるもの全て)

交際相手との出会いについては、「友人・知人に紹介を頼む(紹介をうける)」の割合が38.7%と最も高く、次いで「趣味のサークル、資格取得・スキルアップのための学校で知り合う」(31.3%)、「婚活サイトなどのインターネットサイトやSNS、マッチングアプリを利用する」(26.7%)、「合コンやパーティーに行く」(16.7%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「友人・知人に紹介を頼む(紹介をうける)」の割合が高く、女性は「婚活サイトなどのインターネットサイトやSNS、マッチングアプリを利用する」「自治体が主催する結婚支援サービスを利用する」の割合が男性を上回っている。



未既婚別では、未婚の場合は「特にない」の割合が既婚を大きく上回っており、既婚の場合は未婚に比べて「友人・知人に紹介を頼む（紹介をうける）」「趣味のサークル、資格取得・スキルアップのための学校で知り合う」などの割合が高くなっている。

単位 (%)	友人・知人に紹介を頼む（紹介をうける）	趣味のサークル、資格取得・スキルアップのための学校で知り合う	利用する	婚活サイトなどのインターネットサイトをサ	合コンやパーティーに行く	職場の同僚や先輩・後輩に紹介を頼む（紹介をうける）	問わない）	交際相手を紹介してくれる結婚支援サービスを利用する（有料・無料を	自治体が主催する結婚支援サービスを利用する	親族等に紹介を頼む（紹介をうける）	その他	特にない
全体(N=150)	38.7	31.3	26.7	16.7	16.0	12.0	11.3	6.7	0.7	32.0		
【未既婚別】												
未婚(n=73)	34.2	24.7	23.3	12.3	15.1	15.1	9.6	5.5	0.0	43.8		
既婚(n=77)	42.9	37.7	29.9	20.8	16.9	9.1	13.0	7.8	1.3	20.8		

【3】結婚について

1 結婚や同棲の必要性について

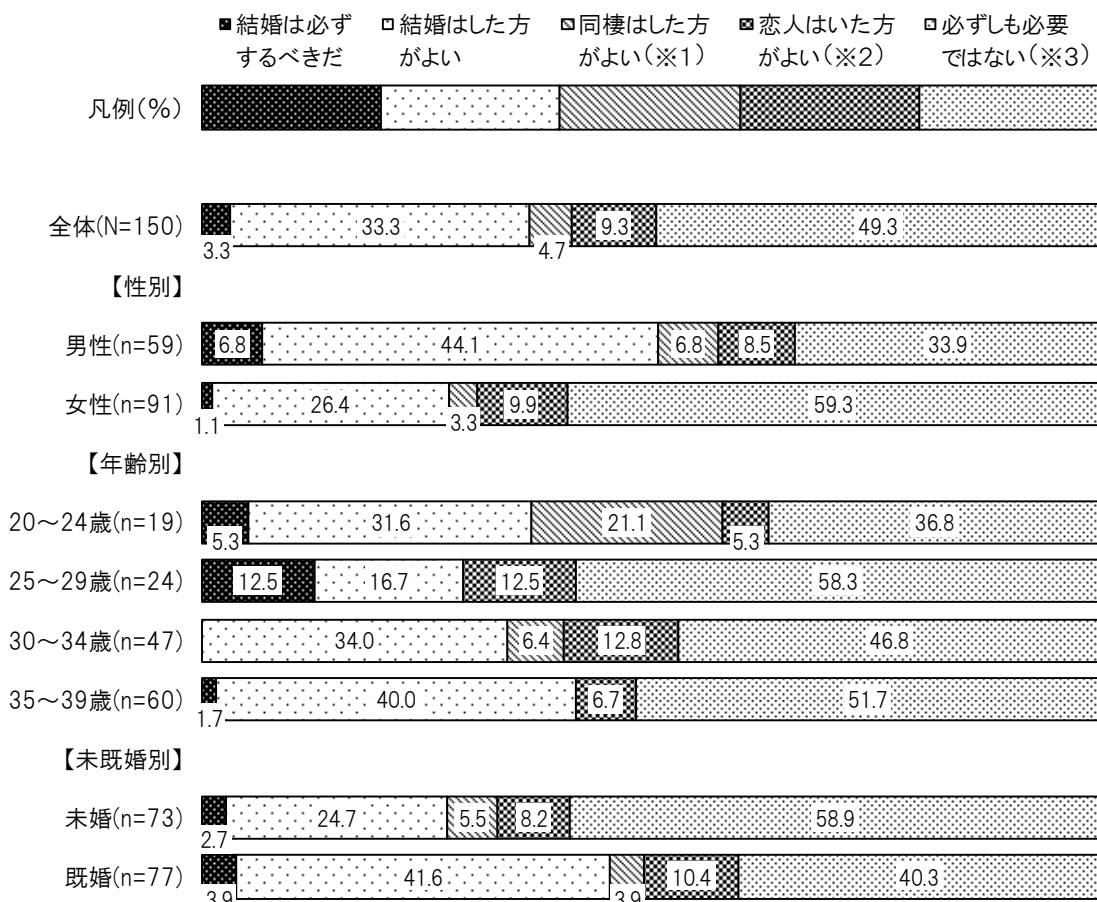
問 32 人生における結婚や同棲の必要性に対する以下のような考え方のうち、あなたの意見にもっとも近いものを1つだけ選んでください。（回答は1つ）

結婚や同棲の必要性については、「結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない」の割合が49.3%と最も高く、次いで「結婚はした方がよい」（33.3%）、「結婚・同棲はしなくてもよいが、恋人はいた方がよい」（9.3%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「結婚はした方がよい」の割合が高く、女性は「結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、20～24歳で「結婚はしなくてもよいが、同棲はした方がよい」、25～29歳で「結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない」、35～39歳で「結婚はした方がよい」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

未婚別では、未婚の約6割が「結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない」と回答している。



※1：結婚はしなくてもよいが、同棲はした方がよい
 ※2：結婚・同棲はしなくてもよいが、恋人はいた方がよい
 ※3：結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない

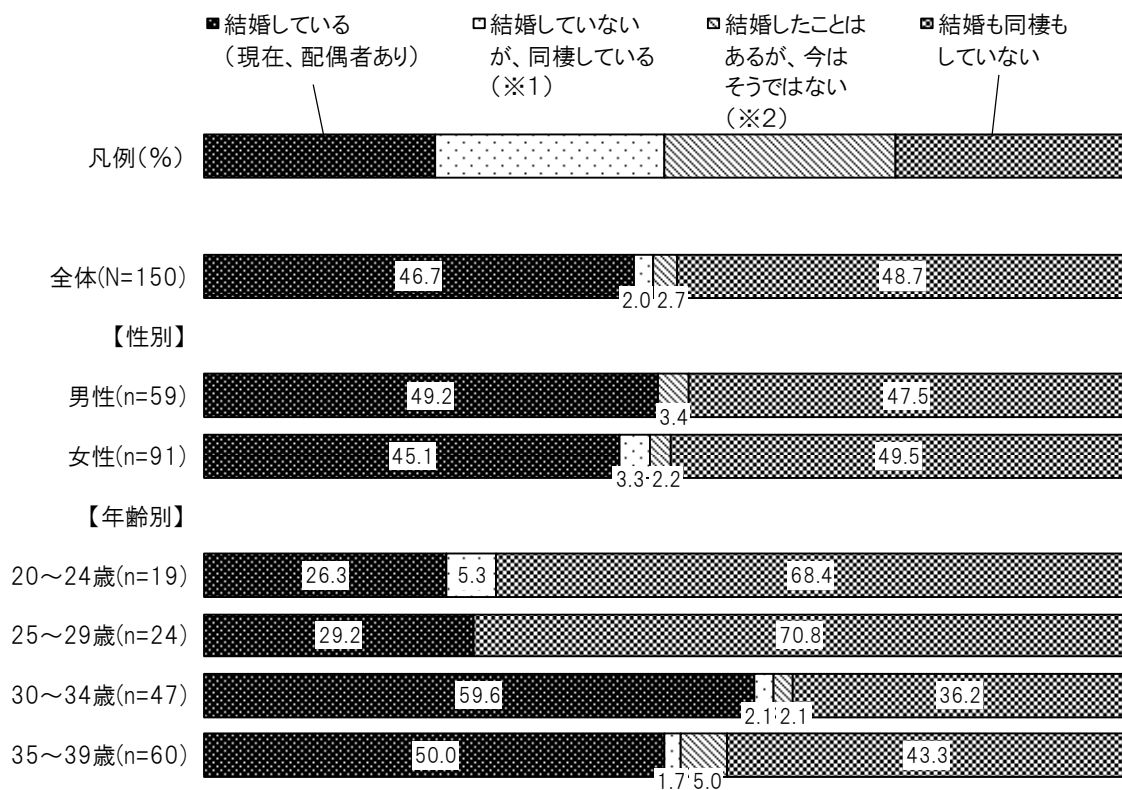
2 未既婚

問 33 あなたは結婚していますか。なお、この調査の中で、「結婚」とは法律に基づく結婚のことを指します。（回答は1つ）

未既婚については、「結婚も同棲もしていない」が48.7%、「結婚している（現在、配偶者あり）」が46.7%となっている。

性別では、男性は女性に比べて「結婚している（現在、配偶者あり）」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、20～29歳で「結婚も同棲もしていない」、30～39歳で「結婚している（現在、配偶者あり）」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



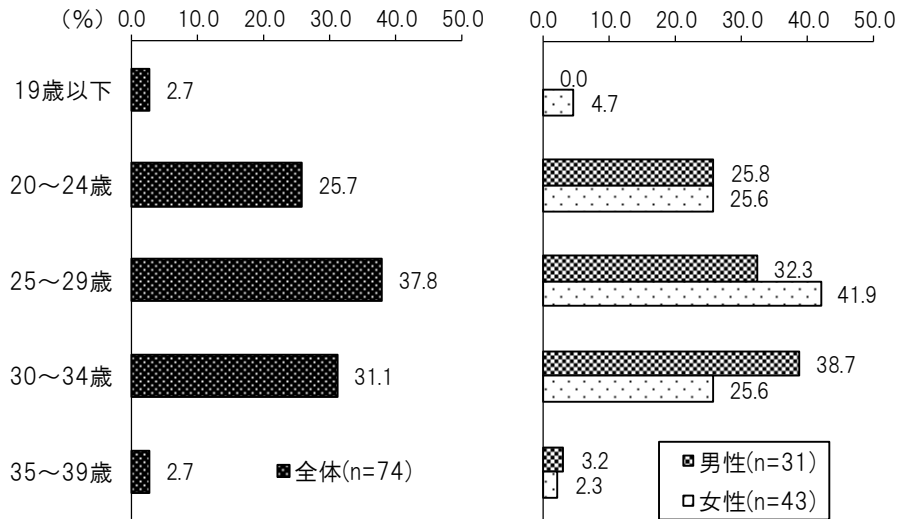
※1：結婚していないが、同棲（特定の相手・パートナーと結婚の届け出なしで一緒に生活すること）している
 ※2：結婚したことはあるが、今はそうではない（離婚又は死別した）

3 最初に結婚をした時の年齢

【問33で「1（結婚している）」「3（結婚したことはあるが、今はそうではない）」と答えた方にお尋ねします。】
 問34 あなたが最初に結婚をしたのは何歳の時ですか。

最初に結婚をした時の年齢については、「25～29歳」の割合が37.8%と最も高く、次いで「30～34歳」（31.1%）、「20～24歳」（25.7%）の順となっており、平均は27.6歳であった。

性別では、男性は「30～34歳」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「25～29歳」の割合が高くなっている。男性の平均は28.5歳、女性の平均は26.9歳であった。



4 同棲の経験

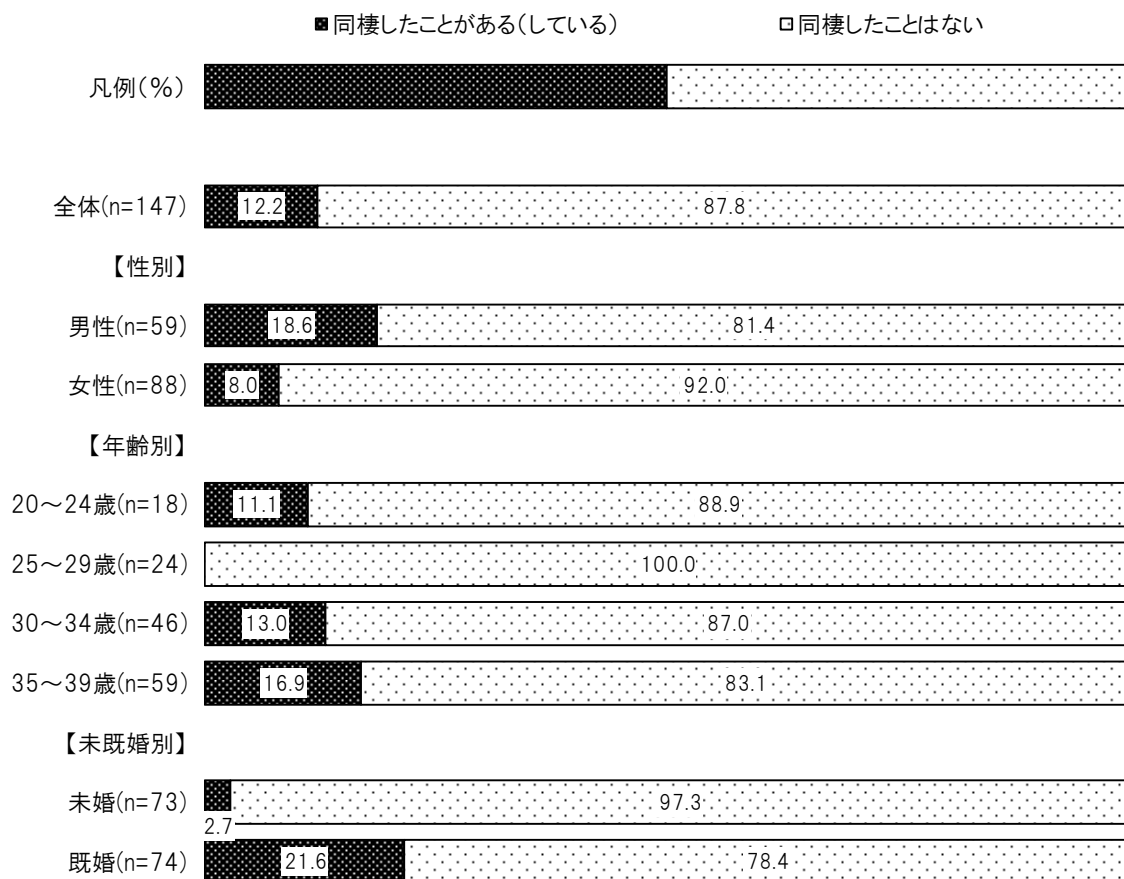
【問33で「1」「3」「4」（「同棲している」以外）と答えた方にお尋ねします。】
 問35 あなたは結婚していない相手と、同棲をしたことがありますか。（回答は1つ）

同棲の経験については、「同棲したことがある（している）」が12.2%、「同棲したことはない」が87.8%となっている。

性別では、男性は「同棲したことがある（している）」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、35～39歳で「同棲したことがある（している）」の割合が他の年齢層に比べてやや高くなっている。

未既婚別でみると、既婚の約2割が「同棲したことがある（している）」と回答している。



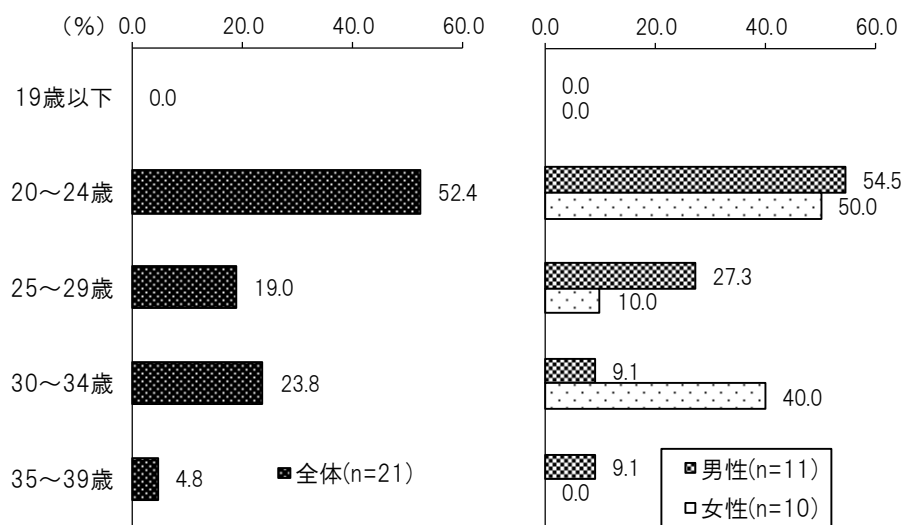
5 同棲を始めた時の年齢

【問 33 で「2（同棲している）」又は問 35 で「1（同棲したことがある）」と答えた方にお尋ねします。】

問 36 あなたが最初に同棲を始めたのは何歳の時ですか。

同棲を始めた時の年齢については、「20～24 歳」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「30～34 歳」（23.8%）、「25～29 歳」（19.0%）の順となっており、平均は 25.6 歳であった。

性別では、男性は女性に比べて「25～29 歳」の割合が高く、女性は「30～34 歳」の割合が男性を大きく上回っている。男性の平均は 25.2 歳、女性の平均は 26.1 歳であった。



6 恋人又は婚約者の有無

【問33で「4（結婚も同棲もしていない）」と答えた方にお尋ねします。】

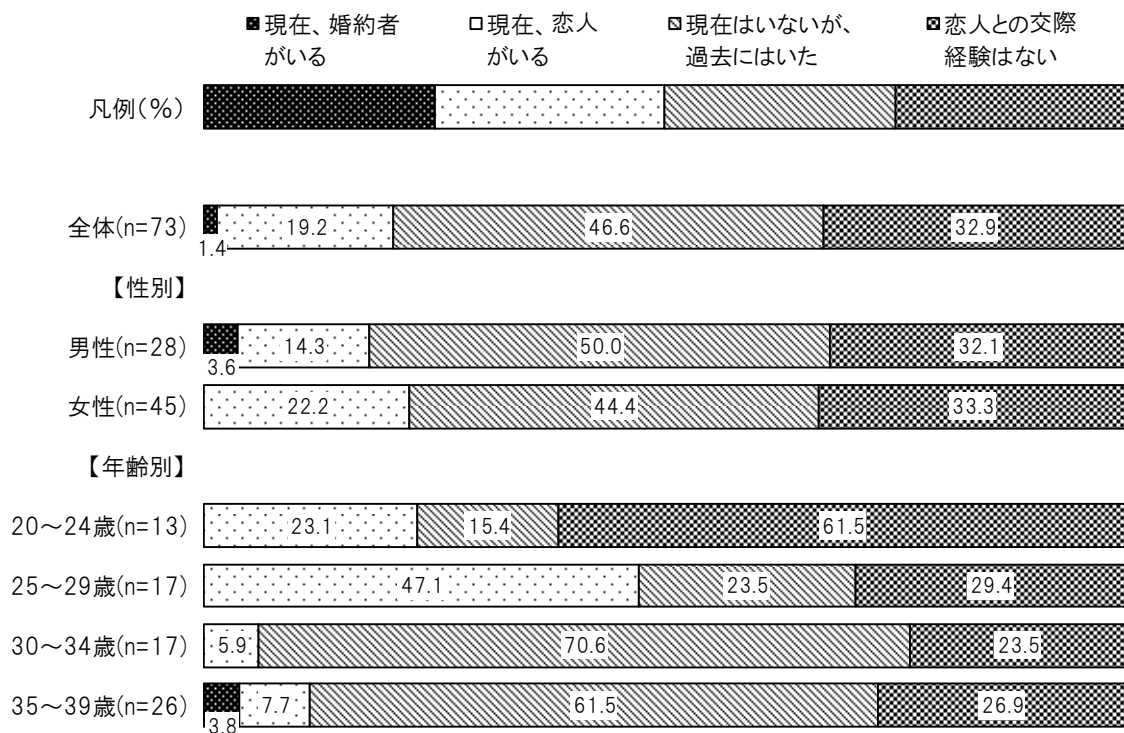
問37 あなたには現在、親しい間柄の恋人又は結婚を約束した婚約者がいますか。

（回答は1つ）

恋人又は婚約者の有無については、「現在はいないが、過去にはいた」の割合が46.6%と最も高く、次いで「恋人との交際経験はない」(32.9%)、「現在、恋人がいる」(19.2%)、「現在、婚約者がいる」(1.4%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「現在はいないが、過去にはいた」の割合が高く、女性は「現在、恋人がいる」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、20～24歳で「恋人との交際経験はない」、25～29歳で「現在、恋人がいる」、30～39歳で「現在はいないが、過去にはいた」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。

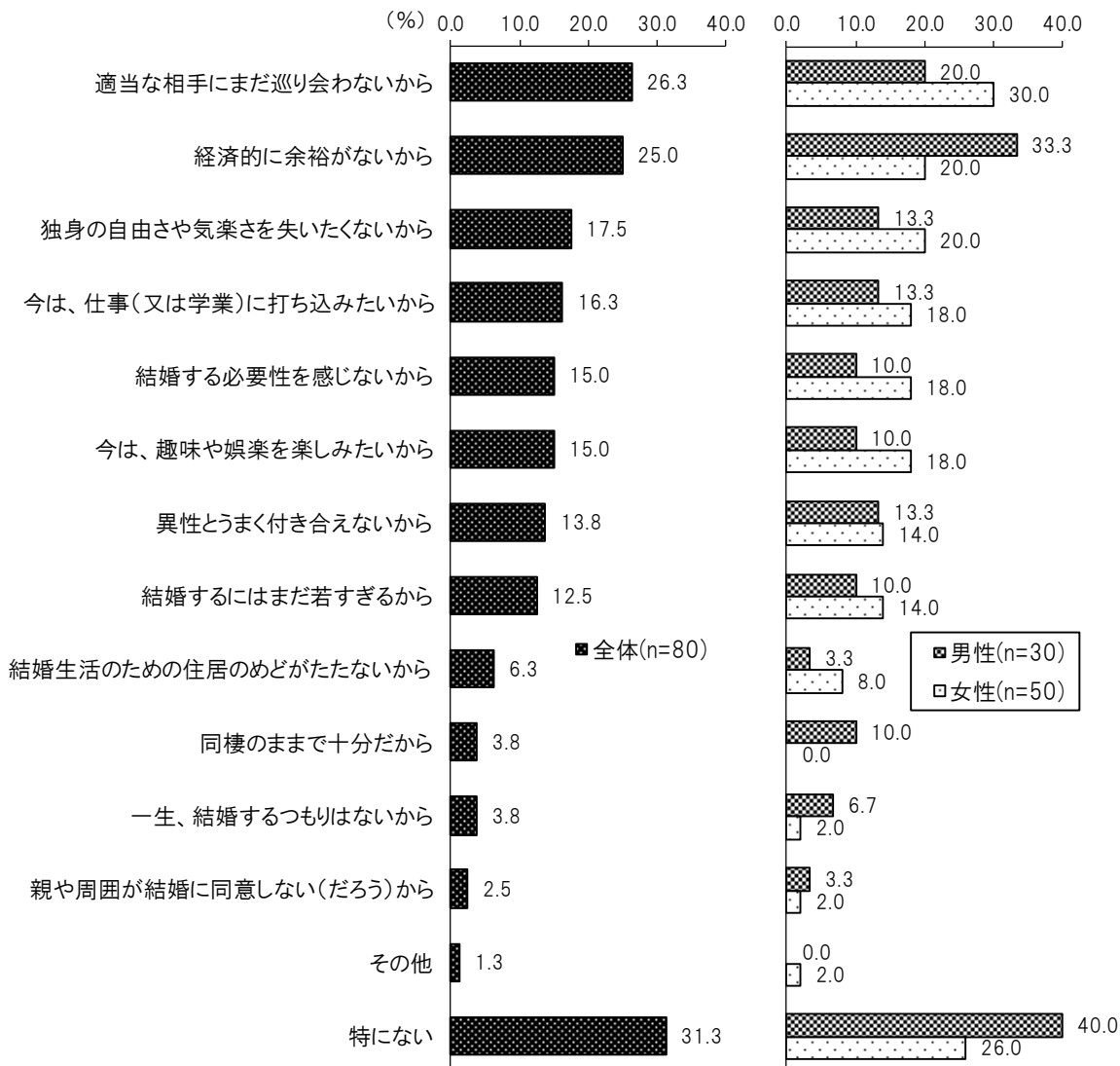


7 結婚していない理由

【問33で「1（結婚している）」と答えた方以外にお尋ねします。】
 問38 現在結婚していない理由を、次の中から選ぶとすればどれですか。
 （回答はあてはまるもの全て）

結婚していない理由については、「適当な相手にまだ巡り会わないから」の割合が26.3%と最も高く、次いで「経済的に余裕がないから」（25.0%）、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」（17.5%）、「今は、仕事（又は学業）に打ち込みたいから」（16.3%）の順となっている。

性別では、男性は「経済的に余裕がないから」「特にない」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「適当な相手にまだ巡り会わないから」「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」「結婚する必要性を感じないから」「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」などの割合が高くなっている。



年齢別では、20～24歳で「結婚するにはまだ若すぎるから」、20～29歳で「今は、仕事（又は学業）に打ち込みたいから」、25～29歳で「経済的に余裕がないから」、30～34歳で「適当な相手にまだ巡り会わないから」「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」、35～39歳で「異性とうまく付き合えないから」「特にない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

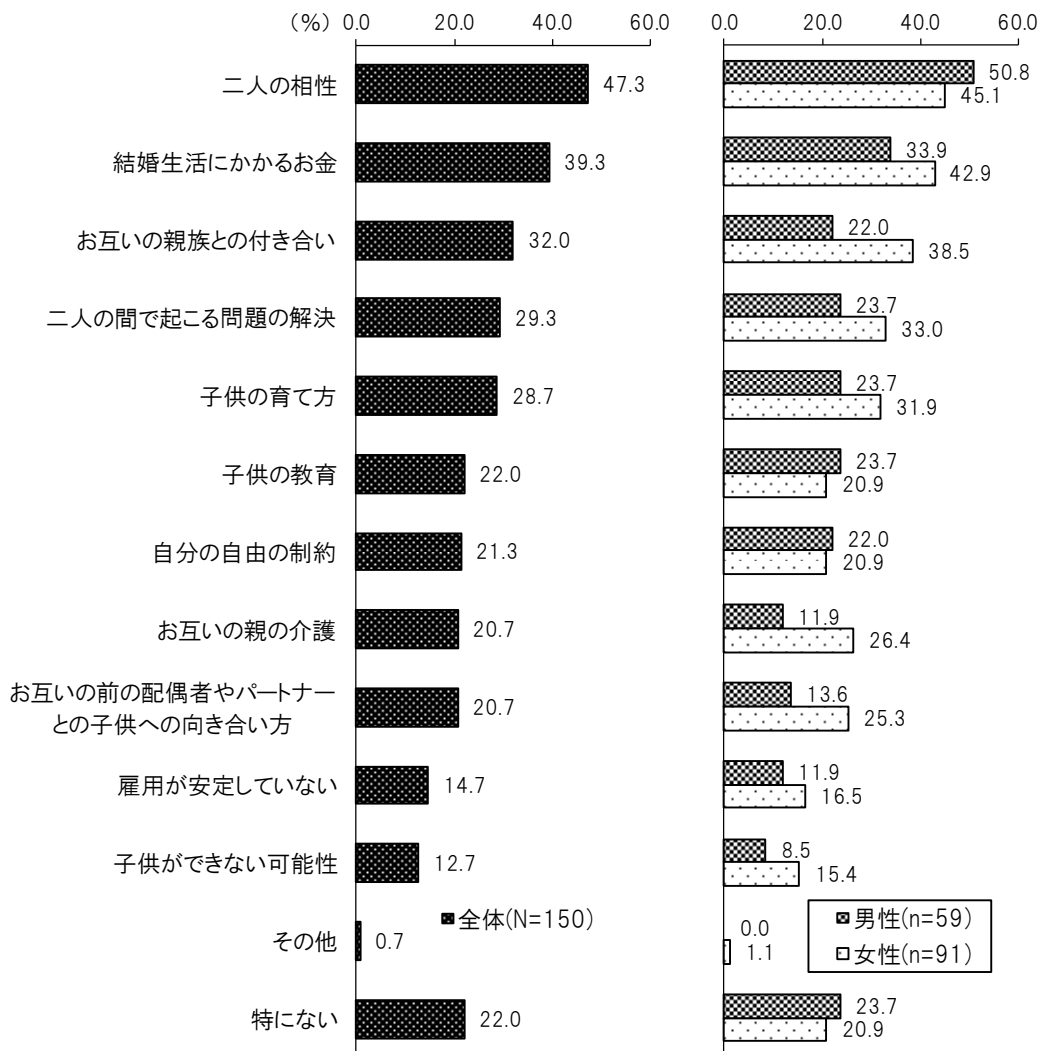
単位 (%)	適当な相手にまだ巡り会わないから	経済的に余裕がないから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	今は、仕事（又は学業）に打ち込みたいから	結婚する必要性を感じないから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	異性とうまく付き合えないから	結婚するにはまだ若すぎるから	結婚生活のための住居のめどがたっていないから	同棲のままで十分だから	一生、結婚するつもりはないから	親や周囲が結婚に同意しない（だろ）から	その他	特にない
全体(n=80)	26.3	25.0	17.5	16.3	15.0	15.0	13.8	12.5	6.3	3.8	3.8	2.5	1.3	31.3
【年齢別】														
20～24歳(n=14)	28.6	21.4	21.4	28.6	21.4	21.4	7.1	50.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3
25～29歳(n=17)	17.6	35.3	5.9	29.4	11.8	5.9	5.9	11.8	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	29.4
30～34歳(n=19)	36.8	26.3	36.8	15.8	26.3	36.8	15.8	5.3	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3	26.3
35～39歳(n=30)	23.3	20.0	10.0	3.3	6.7	3.3	20.0	0.0	0.0	3.3	6.7	3.3	0.0	43.3

8 結婚生活で不安に感じること

問 39 あなたが、結婚生活において不安に感じることは何ですか。同棲している方は、パートナーとの生活についてお答えください。（回答はあてはまるもの全て）

結婚生活で不安に感じることについては、「二人の相性」の割合が47.3%と最も高く、次いで「結婚生活にかかるお金」（39.3%）、「お互いの親族との付き合い」（32.0%）、「二人の間に起こる問題の解決」（29.3%）、「子供の育て方」（28.7%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「二人の相性」の割合が高く、女性は「お互いの親族との付き合い」「お互いの親の介護」「お互いの前の配偶者やパートナーとの子供への向き合い方」などの割合が男性を大きく上回っている。



年齢別では、20～24歳で「二人の間で起こる問題の解決」「お互いの前の配偶者やパートナーとの子供への向き合い方」、30～34歳で「結婚生活にかかるお金」「お互いの親族との付き合い」「子供の教育」「自分の自由の制約」「お互いの親の介護」、35～39歳で「特にない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

未既婚別では、未婚の場合は既婚に比べて「お互いの親の介護」「雇用が安定していない」「特にない」などの割合が高く、既婚の場合は「二人の相性」「二人の間で起こる問題の解決」「子供の育て方」「子供ができない可能性」などの割合が未婚を上回っている。

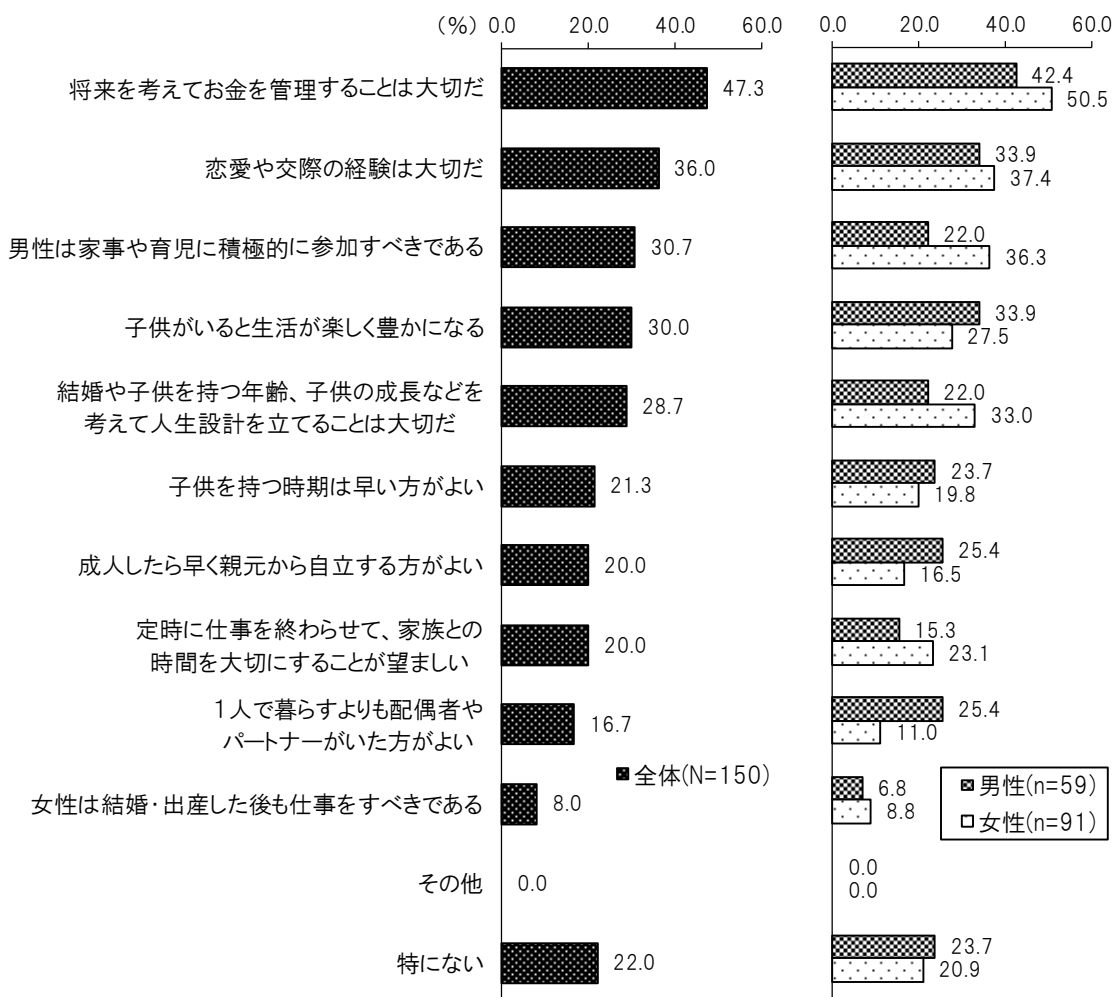
単位 (%)	二人の相性	結婚生活にかかるお金	お互いの親族との付き合い	二人の間で起こる問題の解決	子供の育て方	子供の教育	自分の自由の制約	お互いの親の介護	お互いの前の配偶者やパートナーとの子供への向き合い方	雇用が安定していない	子供ができない可能性	その他	特にない
全体(N=150)	47.3	39.3	32.0	29.3	28.7	22.0	21.3	20.7	20.7	14.7	12.7	0.7	22.0
【年齢別】													
20～24歳(n=19)	57.9	36.8	42.1	47.4	42.1	26.3	15.8	21.1	36.8	21.1	10.5	0.0	10.5
25～29歳(n=24)	37.5	29.2	20.8	20.8	25.0	8.3	8.3	20.8	4.2	8.3	8.3	4.2	16.7
30～34歳(n=47)	55.3	44.7	48.9	38.3	40.4	36.2	38.3	29.8	27.7	14.9	19.1	0.0	19.1
35～39歳(n=60)	41.7	40.0	20.0	20.0	16.7	15.0	15.0	13.3	16.7	15.0	10.0	0.0	30.0
【未既婚別】													
未婚(n=73)	43.8	41.1	32.9	27.4	26.0	20.5	21.9	23.3	19.2	17.8	9.6	1.4	28.8
既婚(n=77)	50.6	37.7	31.2	31.2	31.2	23.4	20.8	18.2	22.1	11.7	15.6	0.0	15.6

9 結婚や家族の在り方について自分の子供に伝えたいこと

問 40 結婚や家族の在り方について、あなたが親として、自分の子供に成人までに伝えたいと思うことはありますか。自分の子供がいない場合は、いると仮定してお答えください。（回答はあてはまるもの全て）

結婚や家族の在り方について自分の子供に伝えたいことについては、「将来を考えてお金を管理することは大切だ」の割合が47.3%と最も高く、次いで「恋愛や交際の経験は大切だ」（36.0%）、「男性は家事や育児に積極的に参加すべきである」（30.7%）、「子供がいると生活が楽しく豊かになる」（30.0%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「成人したら早く親元から自立する方がよい」「1人で暮らすよりも配偶者やパートナーがいた方がよい」などの割合が高く、女性は「将来を考えてお金を管理することは大切だ」「男性は家事や育児に積極的に参加すべきである」「結婚や子供を持つ年齢、子供の成長などを考えて人生設計を立てることは大切だ」などの割合が男性を上回っている。



年齢別では、30～34歳で「子供を持つ時期は早い方がよい」「成人したら早く親元から自立する方がよい」「1人で暮らすよりも配偶者やパートナーがいた方がよい」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

子供の有無別（問44）では、子供がいる人はいない人に比べて「男性は家事や育児に積極的に参加すべきである」「子供がいると生活が楽しく豊かになる」「1人で暮らすよりも配偶者やパートナーがいた方がよい」などの割合が高くなっている。

単位 (%)	将来を 考えてお 金を管理 することは 大切だ	恋愛や交 際の経験 は大切だ	男性は家 事や育児 に積極的 に参加す べきであ る	子供が いると生 活が楽し く豊かに なる	切だ 結婚や子 供を持つ 年齢、子 供の成長 などを考 えて人生 設計を立 てること は大	子供を 持つ時期 は早い方 がよい	成人し たら早く 親元から 自立する 方がよい	定時に 仕事を終 わらせて 、家族と の時間 を大切に することが 望ましい	1人で暮 らすより も配偶者 やパート ナーが いた方が よい	女性 は結婚・ 出産した 後も仕事 をすべき である	その他	特 に ない
全体(N=150)	47.3	36.0	30.7	30.0	28.7	21.3	20.0	20.0	16.7	8.0	0.0	22.0
【年齢別】												
20～24歳(n=19)	36.8	36.8	31.6	31.6	26.3	15.8	10.5	21.1	5.3	10.5	0.0	10.5
25～29歳(n=24)	45.8	37.5	29.2	33.3	33.3	20.8	25.0	20.8	12.5	4.2	0.0	25.0
30～34歳(n=47)	51.1	36.2	27.7	25.5	34.0	25.5	29.8	23.4	25.5	8.5	0.0	17.0
35～39歳(n=60)	48.3	35.0	33.3	31.7	23.3	20.0	13.3	16.7	15.0	8.3	0.0	28.3
【子供の有無別】												
子供がいる(n=62)	50.0	38.7	38.7	45.2	30.6	21.0	21.0	24.2	24.2	11.3	0.0	16.1
子供はいない(n=88)	45.5	34.1	25.0	19.3	27.3	21.6	19.3	17.0	11.4	5.7	0.0	26.1

10 自治体がマッチングシステムを活用した支援を行うことについて

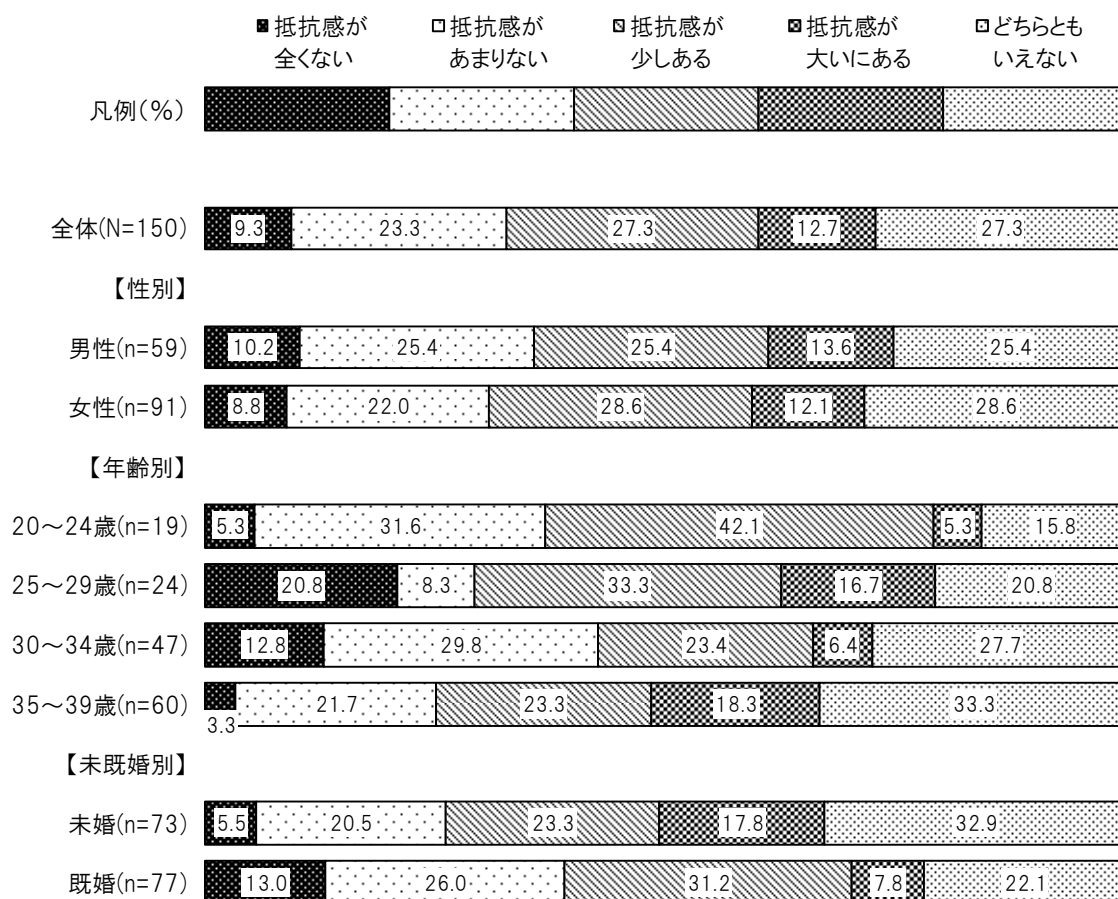
問 41 結婚相手・パートナーを見つけるために、自治体がマッチングシステムを活用した支援を行うことについて、どのように感じますか。（回答は1つ）

自治体がマッチングシステムを活用した支援を行うことについては、「抵抗感が全くない」が9.3%、「抵抗感があまりない」が23.3%、合計で32.6%が『抵抗感がない』と回答している。一方、「抵抗感が少しある」(27.3%)、「抵抗感が大いにある」(12.7%)の合計は40.0%となっている。

性別では、男性は女性に比べて『抵抗感がない（合計）』の割合が高くなっている。

年齢別では、20～29歳で『抵抗感がある（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高くなっており、年齢が上がるほど「どちらともいえない」の割合が高くなっている。

未既婚別でみると、既婚の場合は『抵抗感がない（合計）』の割合が未婚を大きく上回っている。



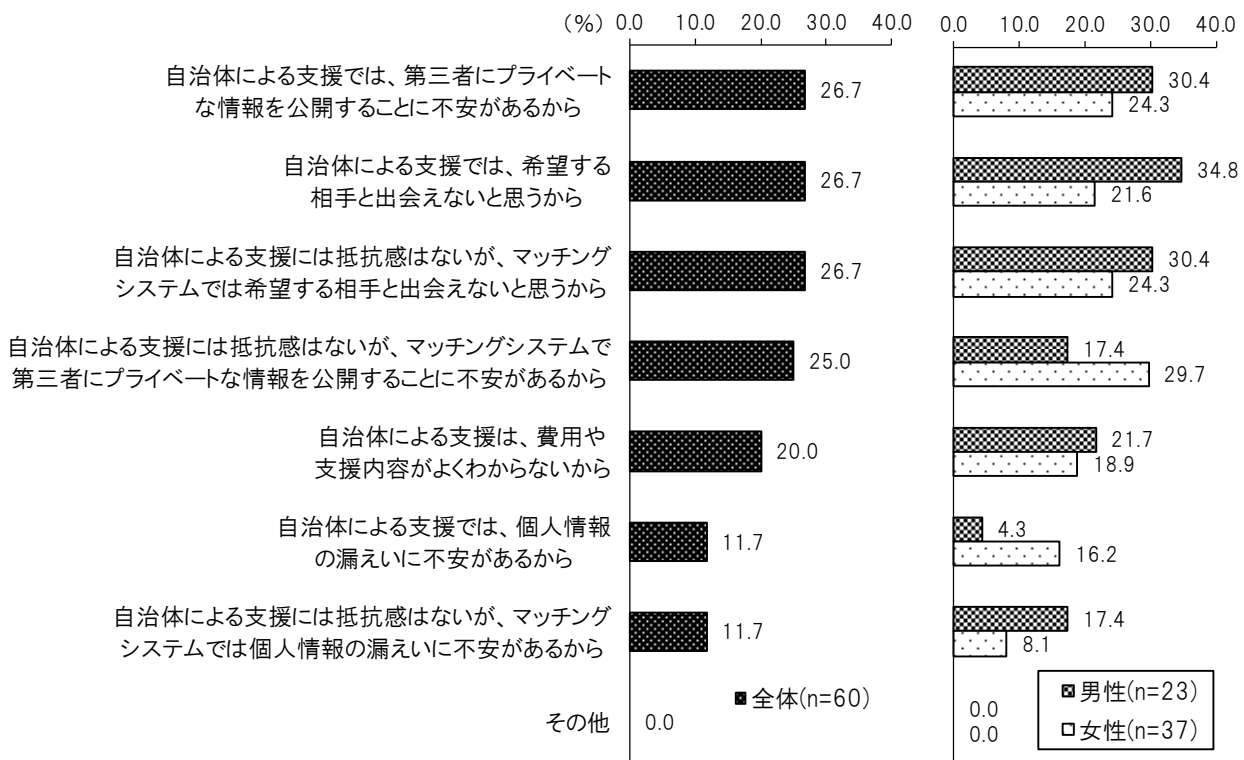
11 マッチングシステムに対して抵抗感がある理由

【問41で「3～4（抵抗感がある）」と答えた方にお尋ねします。】

問42 結婚相手・パートナーを見つけるために、自治体がマッチングシステムを活用した支援を行うことに抵抗感がある理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

マッチングシステムに対して抵抗感がある理由については、「自治体による支援では、第三者にプライベートな情報を公開することに不安があるから」「自治体による支援では、希望する相手と出会えないと思うから」「自治体による支援には抵抗感はないが、マッチングシステムでは希望する相手と出会えないと思うから」の割合が26.7%と最も高くなっている。

性別では、男性は女性に比べて「自治体による支援では、希望する相手と出会えないと思うから」「自治体による支援には抵抗感はないが、マッチングシステムでは個人情報の漏えいに不安があるから」などの割合が高く、女性は「自治体による支援には抵抗感はないが、マッチングシステムで第三者にプライベートな情報を公開することに不安があるから」「自治体による支援では、個人情報の漏えいに不安があるから」の割合が男性を上回っている。



年齢別では、20～24歳で「自治体による支援では、希望する相手と出会えないと思うから」「自治体による支援には抵抗感はないが、マッチングシステムで第三者にプライベートな情報を公開することに不安があるから」、30～34歳で「自治体による支援は、費用や支援内容がよくわからないから」、35～39歳で「自治体による支援には抵抗感はないが、マッチングシステムでは希望する相手と出会えないと思うから」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

未既婚別でみると、未婚の場合は既婚に比べて「自治体による支援では、個人情報の漏えいに不安があるから」の割合が高く、既婚の場合は「自治体による支援では、希望する相手と出会えないと思うから」の割合が未婚を上回っている。

単位 (%)	るべ から 自治 体 に よ る 情 報 を 公 開 す る こ と に 不 安 が あ る か ら	出 会 え な い と 思 う か ら	マ ッ チ ン グ シ ス テ ム に は 抵 抗 感 は な い が 、	マ ッ チ ン グ シ ス テ ム に は 抵 抗 感 は な い が 、	よ く わ か ら な い か ら	い に 不 安 が あ る か ら	い に 不 安 が あ る か ら	マ ッ チ ン グ シ ス テ ム に は 抵 抗 感 は な い が 、	そ の 他
全体(n=60)	26.7	26.7	26.7	25.0	20.0	11.7	11.7	0.0	
【年齢別】									
20～24歳(n=9)	22.2	44.4	22.2	44.4	11.1	0.0	0.0	0.0	
25～29歳(n=12)	25.0	33.3	16.7	16.7	16.7	25.0	8.3	0.0	
30～34歳(n=14)	28.6	21.4	21.4	14.3	35.7	7.1	21.4	0.0	
35～39歳(n=25)	28.0	20.0	36.0	28.0	16.0	12.0	12.0	0.0	
【未既婚別】									
未婚(n=30)	26.7	20.0	23.3	23.3	23.3	20.0	6.7	0.0	
既婚(n=30)	26.7	33.3	30.0	26.7	16.7	3.3	16.7	0.0	

【4】 出産について

1 希望する子供の人数

問 43 あなたは、全部で何人の子供が欲しいですか。既にお子さんがいる場合には、そのお子さんも含めてお答えください。（回答は1つ）

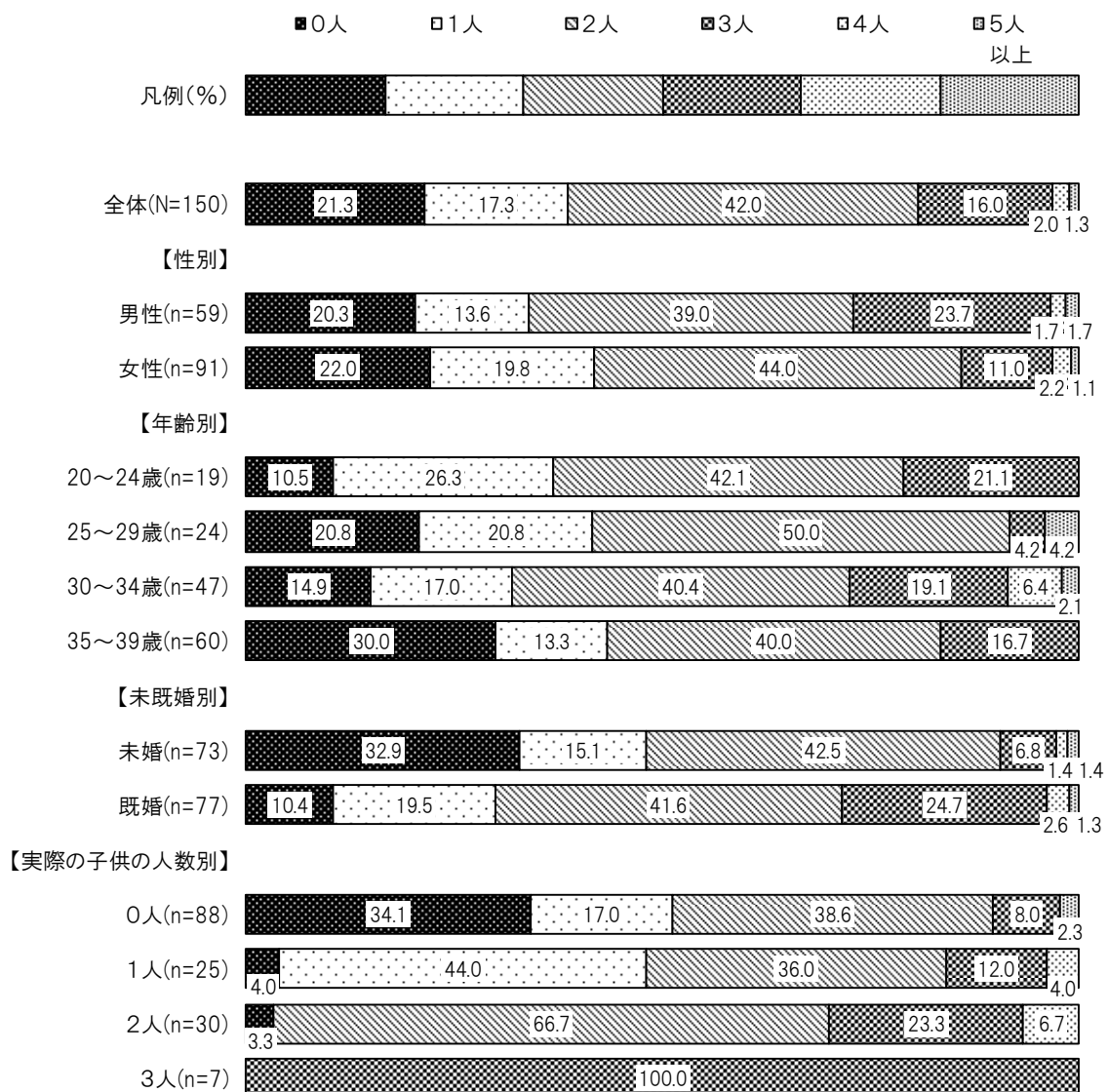
希望する子供の人数については、「2人」の割合が42.0%と最も高く、次いで「0人」(21.3%)、「1人」(17.3%)、「3人」(16.0%)の順となっている。

性別では、男性は「3人」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「1人」「2人」の割合が高くなっている。

年齢別では、20～24歳で「1人」、25～29歳で「2人」、35～39歳で「0人」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

未既婚別でみると、未婚の場合は既婚に比べて「0人」の割合が高く、既婚の場合は「3人」の割合が未婚を大きく上回っている。

実際の子供の人数別(問44)では、実際の子供が1人の人の約半数が2人以上の子供を望んでいる。



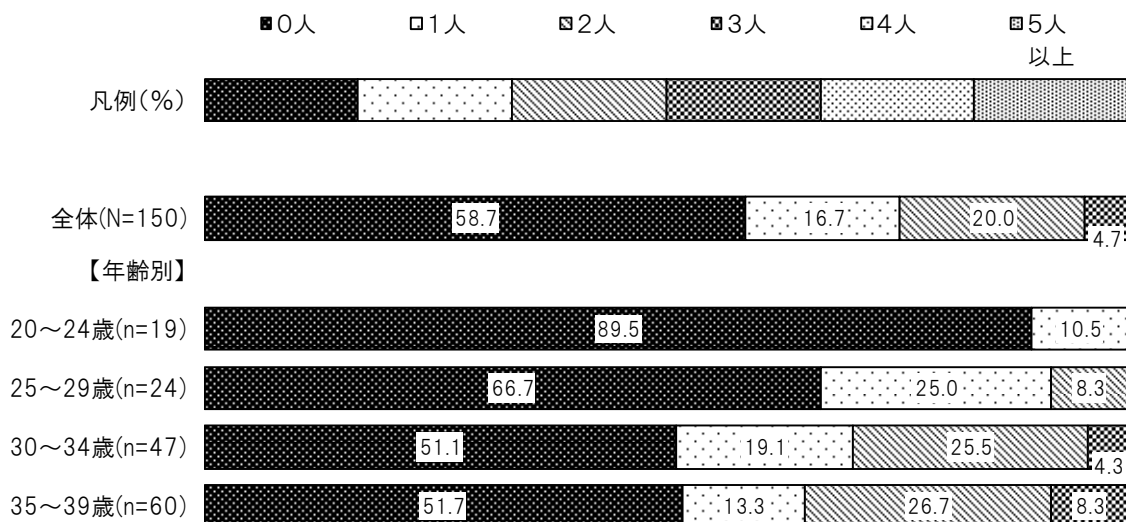
注：実際の子供の人数別の「3人」については、件数(n)が少ないため参考値として参照

2 実際の子供の人数

問 44 実際のアナタのお子さん（養子を含む）の数は何人ですか。（回答は1つ）

実際の子供の人数については、「0人」の割合が58.7%と最も高く、次いで「2人」（20.0%）、「1人」（16.7%）、「3人」（4.7%）の順となっている。

年齢別では、20～24歳で「0人」、25～29歳で「1人」、30～39歳で「2人」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

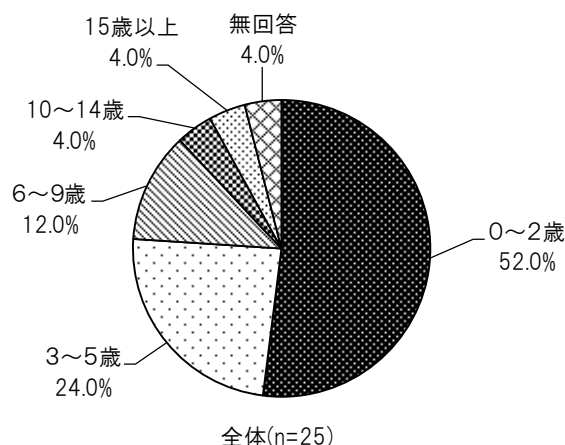


3 子供の年齢（子供が1人）

【問44で「2（1人）」と答えた方にお尋ねします。】

問 45 お子さんの年齢はおいくつですか。

子供が1人の場合の子供の年齢については、「0～2歳」の割合が52.0%と最も高く、次いで「3～5歳」（24.0%）、「6～9歳」（12.0%）の順となっており、平均は3.7歳となっている。



4 子供の年齢（子供が2人以上）

【問44で「3～6（2人以上）」と答えた方にお尋ねします。】

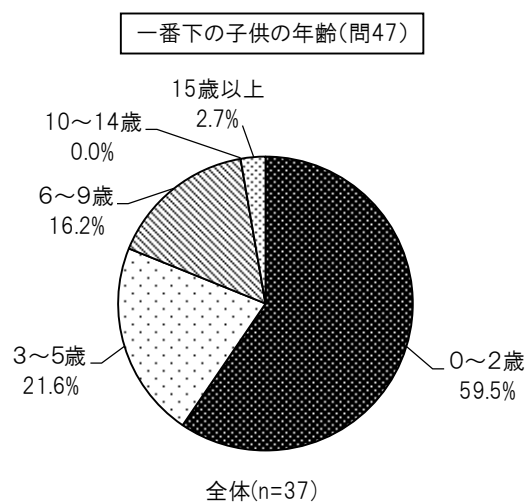
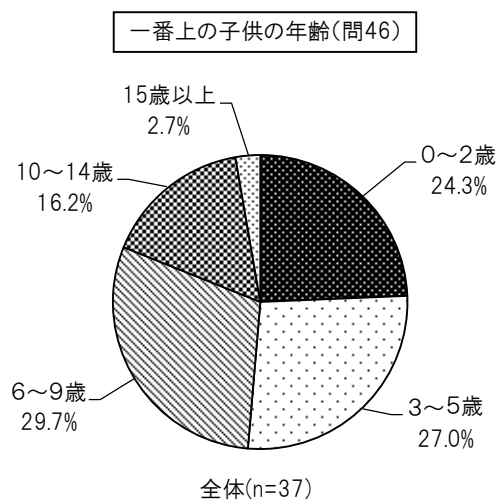
問46 一番上のお子さんの年齢はおいくつですか。

【問44で「3～6（2人以上）」と答えた方にお尋ねします。】

問47 一番下のお子さんの年齢はおいくつですか。

子供が2人以上の場合の子供の年齢について、一番上の子供では「6～9歳」の割合が29.7%と最も高く、次いで「3～5歳」（27.0%）、「0～2歳」（24.3%）の順となっており、平均は6.2歳となっている。

また、一番下の子供では「0～2歳」の割合が59.5%と最も高く、次いで「3～5歳」（21.6%）、「6～9歳」（16.2%）の順となっており、平均は3.0歳となっている。



5 今よりも子供を増やすことについて

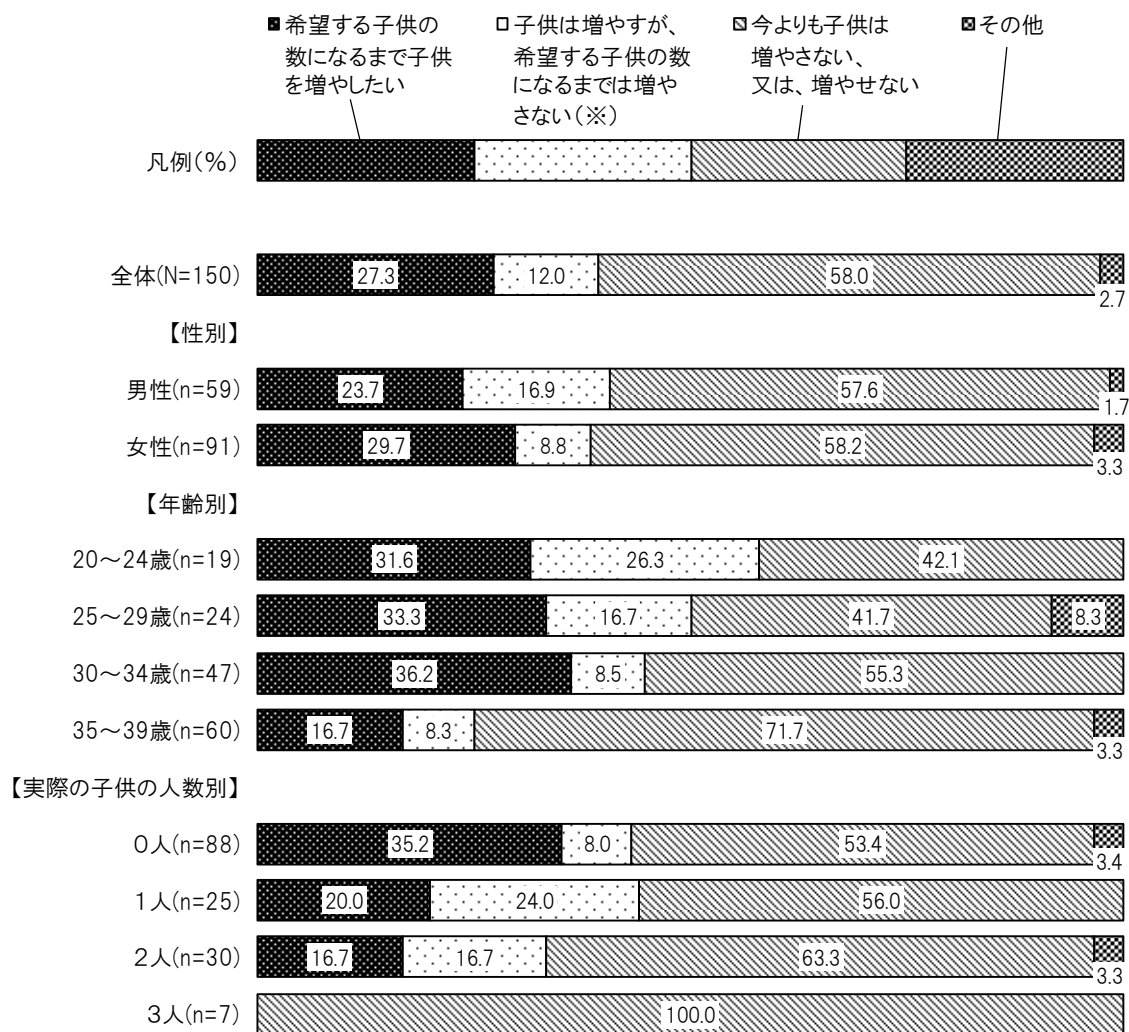
問 48 あなたは、今よりも、子供を増やしたいと思いますか。（回答は1つ）

今よりも子供を増やすことについては、「今よりも子供は増やさない、又は、増やせない」の割合が58.0%と最も高く、次いで「希望する子供の数になるまで子供を増やしたい」（27.3%）、「今よりも子供は増やすが、希望する子供の数になるまでは増やさない、又は、増やせない」（12.0%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「今よりも子供は増やすが、希望する子供の数になるまでは増やさない、又は、増やせない」の割合が高く、女性は「希望する子供の数になるまで子供を増やしたい」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、20～24歳で「今よりも子供は増やすが、希望する子供の数になるまでは増やさない、又は、増やせない」、35～39歳で「今よりも子供は増やさない、又は、増やせない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

実際の子供の人数別では、0人で「希望する子供の数になるまで子供を増やしたい」、1人で「今よりも子供は増やすが、希望する子供の数になるまでは増やさない、又は、増やせない」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。



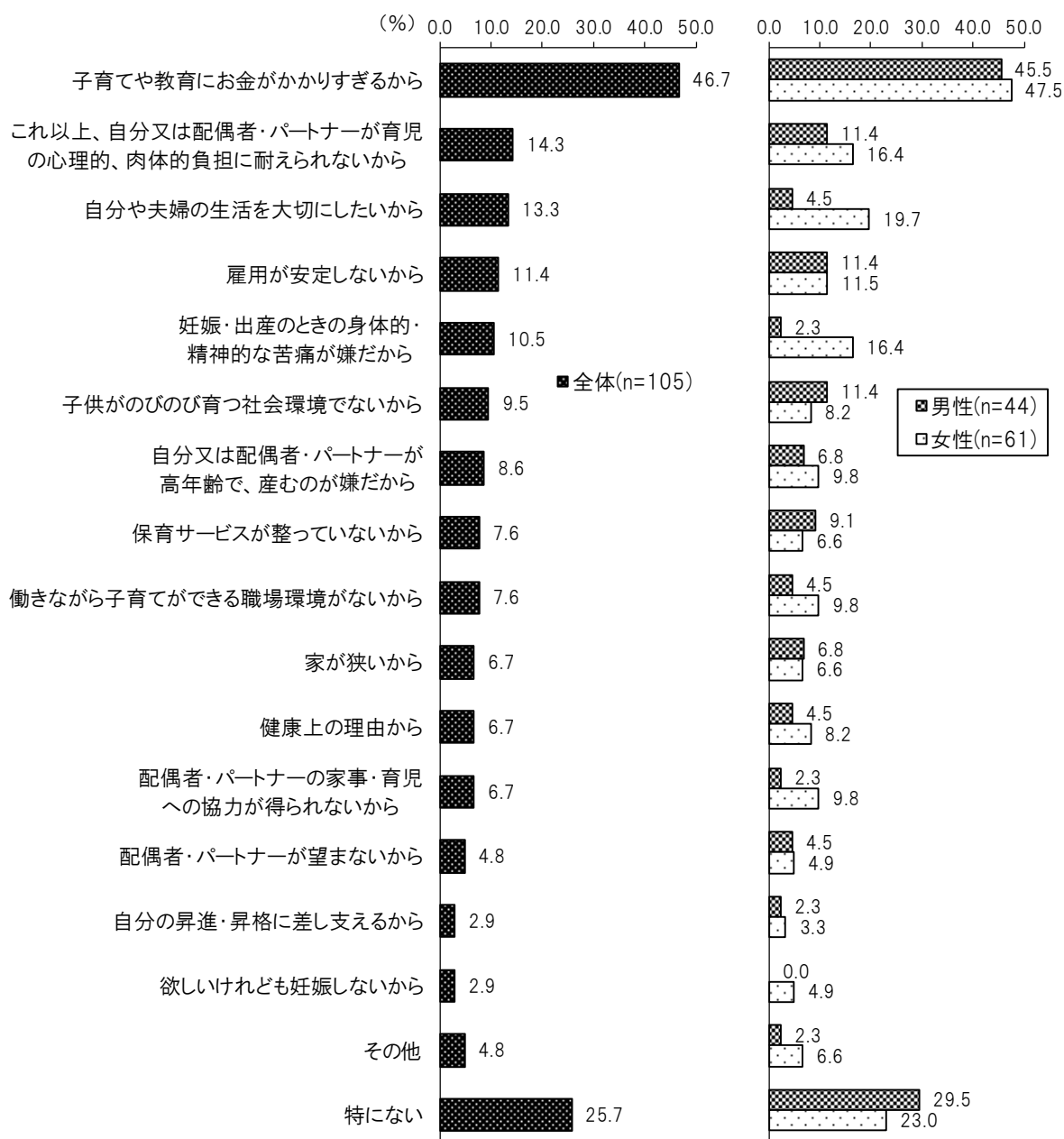
※ 今よりも子供は増やすが、希望する子供の数になるまでは増やさない、又は、増やせない
注：実際の子供の人数別の「3人」については、件数（n）が少ないため参考値として参照

6 子供を増やさない理由

【問48で「2～3（子供を増やさない）」と答えた方にお尋ねします。】
 問49 希望する数まで子供を増やさない、又は、増やせない理由は何ですか。
 （回答はあてはまるもの全て）

子供を増やさない理由については、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の割合が46.7%と突出して最も高く、次いで「これ以上、自分又は配偶者・パートナーが育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」（14.3%）、「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」（13.3%）、「雇用が安定しないから」（11.4%）の順となっている。

性別では、女性は「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」「妊娠・出産のときの身体的・精神的な苦痛が嫌だから」の割合が男性を大きく上回っている。

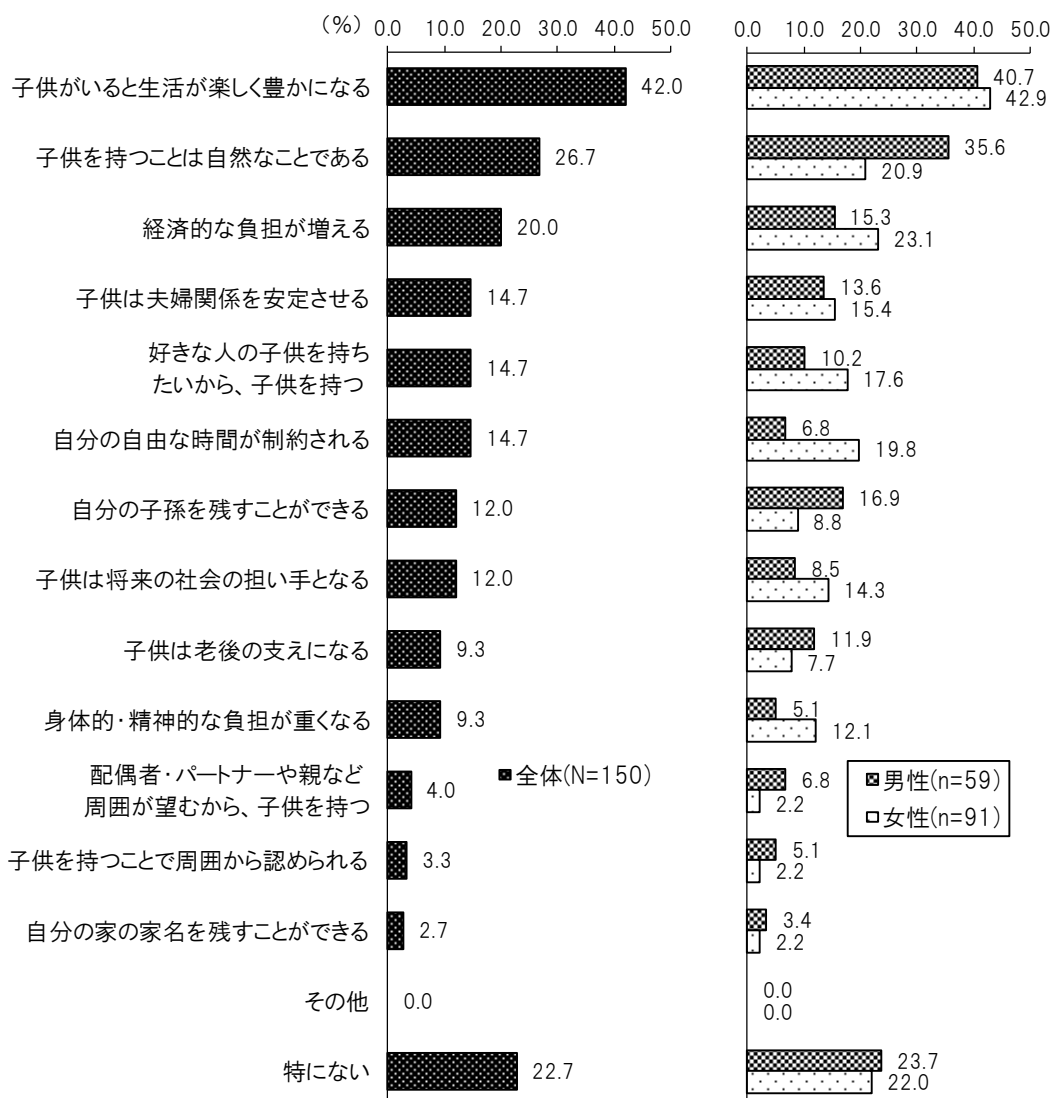


7 自分の子供を持つことについて

問 50 あなたは、自分の子供を持つことに対して、どのように考えていますか。既にお子さんがいらっしゃる方は、子供を持つ前にどのように考えていたかということについてお答えください。（回答は3つまで）

自分の子供を持つことについては、「子供がいると生活が楽しく豊かになる」の割合が42.0%と最も高く、次いで「子供を持つことは自然なことである」（26.7%）、「経済的な負担が増える」（20.0%）の順となっている。

性別では、男性は「子供を持つことは自然なことである」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「経済的な負担が増える」「好きな人の子供を持ちたいから、子供を持つ」「自分の自由な時間が制約される」などの割合が高くなっている。



子供の有無別でみると、子供がいる人は「子供がいると生活が楽しく豊かになる」「子供を持つことは自然なことである」の割合が子供がいない人を大きく上回っており、子供がいない人はいる人に比べて「経済的な負担が増える」「自分の自由な時間が制約される」「身体的・精神的な負担が重くなる」などの割合が高くなっている。

単位(%)	子供がいると生活が楽しく豊かになる	子供を持つことは自然なことである	経済的な負担が増える	子供は夫婦関係を安定させる	好きな人の子供を持ちたいから、子供を持つ	自分の自由な時間が制約される	自分の子孫を残すことができる	子供は将来の社会の担い手となる	子供は老後の支えになる	身体的・精神的な負担が重くなる	配偶者・パートナーや親など周囲が望むから、子供を持つ	子供を持つことで周囲から認められる	自分の家の家名を残すことができる	特にない
全体(N=150)	42.0	26.7	20.0	14.7	14.7	14.7	12.0	12.0	9.3	9.3	4.0	3.3	2.7	22.7
【子供の有無別】														
子供がいる(n=62)	53.2	35.5	14.5	19.4	19.4	11.3	14.5	9.7	9.7	6.5	6.5	4.8	1.6	14.5
子供はいない(n=88)	34.1	20.5	23.9	11.4	11.4	17.0	10.2	13.6	9.1	11.4	2.3	2.3	3.4	28.4

8 愛媛県での不妊治療の受けやすさ

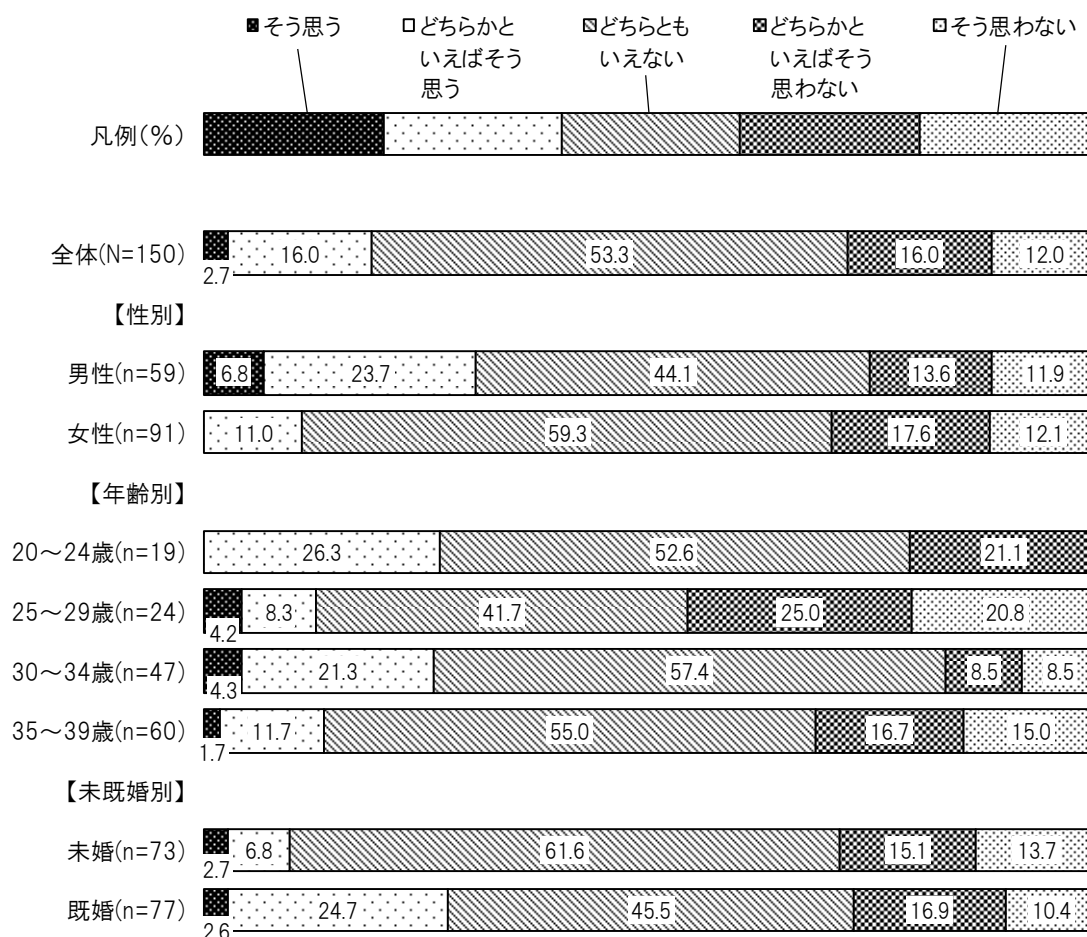
問 51 愛媛県は、子供を持つことを希望しながら、希望する時期に妊娠できない時、不妊治療を受けやすい環境だと思いますか。（回答は1つ）

愛媛県は不妊治療を受けやすい環境だと思うかについては、「そう思う」が2.7%、「どちらかといえばそう思う」が16.0%、合計で18.7%が『そう思う』と回答している。一方、「どちらかといえばそう思わない」(16.0%)、「そう思わない」(12.0%)の合計は28.0%、「どちらともいえない」は53.3%となっている。

性別では、男性は『そう思う（合計）』の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「どちらともいえない」の割合が高くなっている。

年齢別では、25～29歳で『そう思わない（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

未婚別でみると、既婚の場合は『そう思う（合計）』の割合が未婚を大きく上回っている。



9 不妊治療を受けやすい環境だと思わない理由

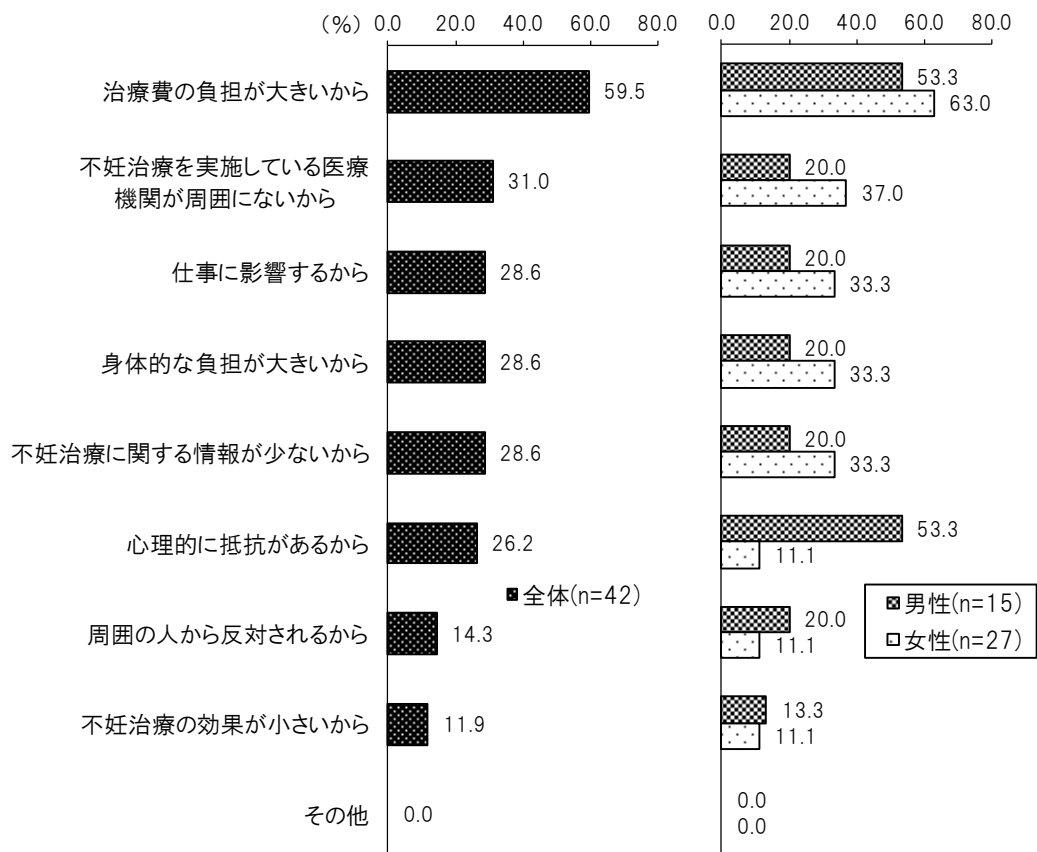
【問 51 で「4～5（そう思わない）」と答えた方にお尋ねします。】

問 52 不妊治療を受けやすい環境だと思わないのはなぜですか。

（回答はあてはまるもの全て）

不妊治療を受けやすい環境だと思わない理由については、「治療費の負担が大きいから」の割合が 59.5% と最も高く、次いで「不妊治療を実施している医療機関が周囲にないから」（31.0%）、「仕事に影響するから」「身体的な負担が大きいから」「不妊治療に関する情報が少ないから」（各 28.6%）の順となっている。

性別では、男性は「心理的に抵抗があるから」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「不妊治療を実施している医療機関が周囲にないから」「仕事に影響するから」「身体的な負担が大きいから」「不妊治療に関する情報が少ないから」などの割合が高くなっている。



10 子供の有無という観点からの人生設計について

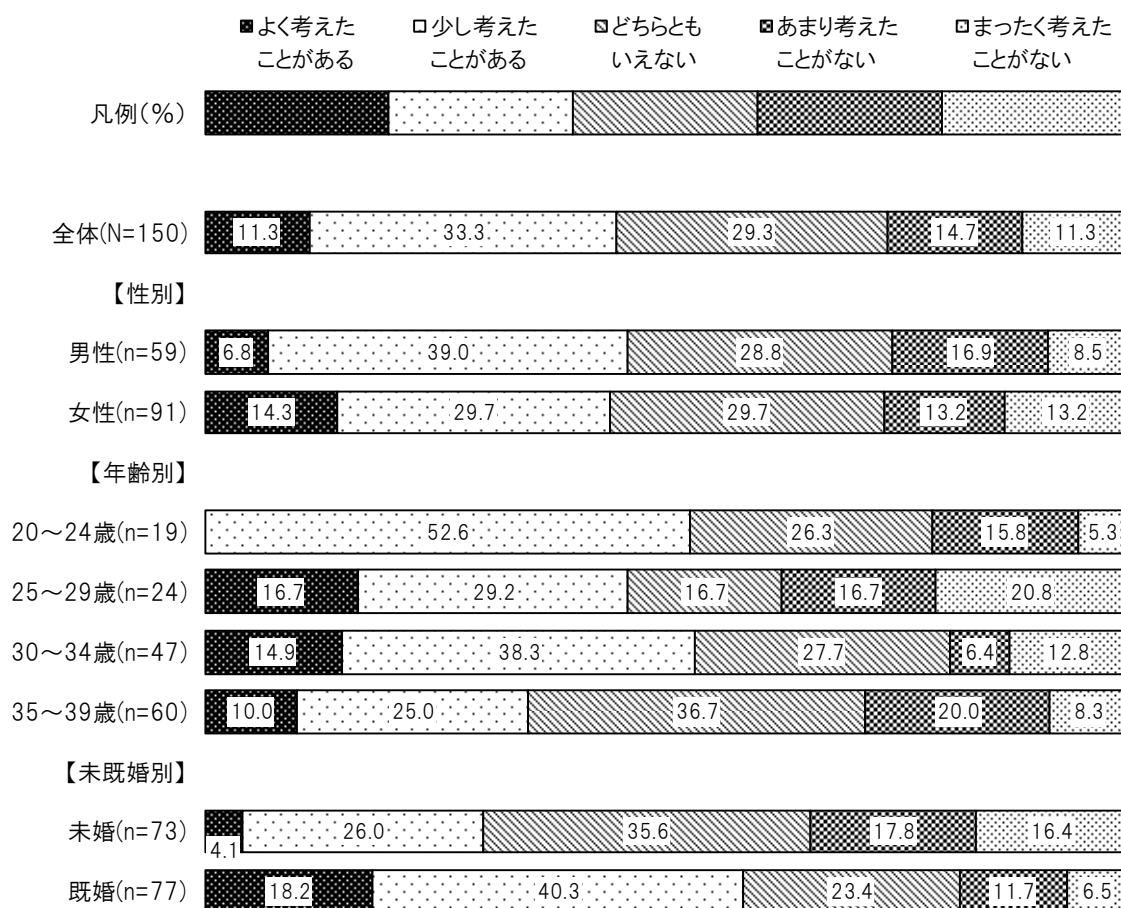
問 53 「将来、自分が子供を持つのか持たないのか」といった観点からの人生設計（ライフプラン）について、あなたはどの程度考えたことがありますか。（回答は1つ）

子供の有無という観点からの人生設計については、「よく考えたことがある」が11.3%、「少し考えたことがある」が33.3%、合計で44.6%が『考えたことがある』と回答している。一方、「あまり考えたことがない」（14.7%）、「まったく考えたことがない」（11.3%）の合計は26.0%となっている。

性別では、女性は男性に比べて「よく考えたことがある」の割合が高くなっている。

年齢別では、25～29歳で『考えたことがない（合計）』の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

未既婚別でみると、『考えたことがある（合計）』の割合は、未婚で3割、既婚で約6割となっている。



【5】育児について

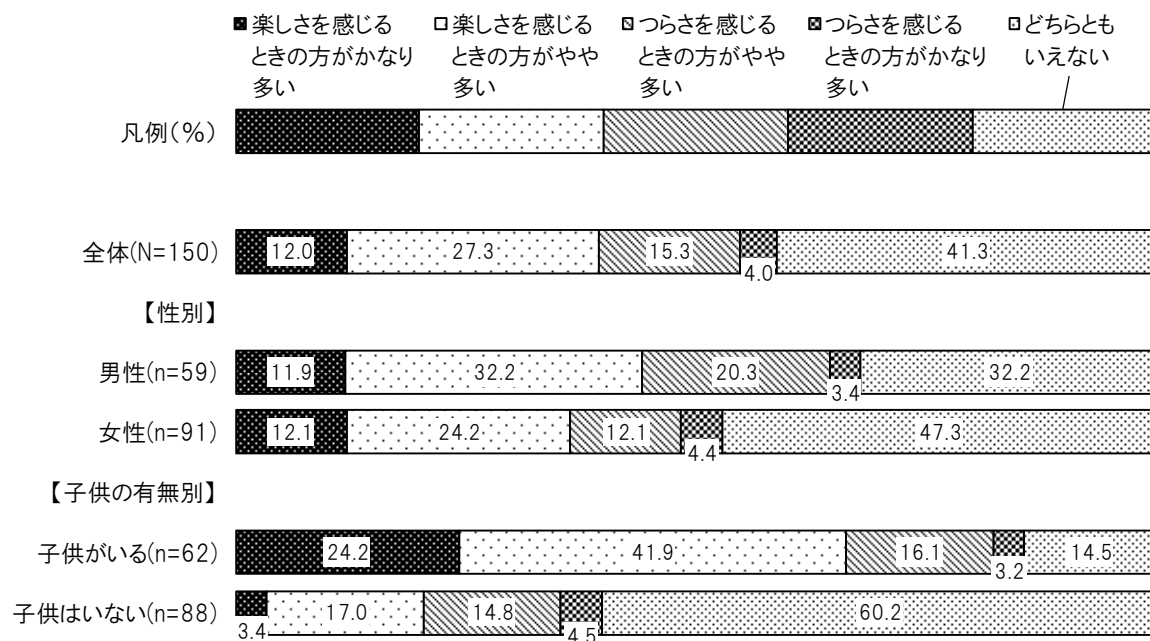
1 子育ての楽しさやつらさについて

問 54 あなたは、子育てに楽しさを感じるときが多いですか、それともつらさを感じるときが多いですか。（お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。）（回答は1つ）

子育ての楽しさやつらさについては、「楽しさを感じるときの方がかなり多い」が12.0%、「楽しさを感じるときの方がやや多い」が27.3%、合計で39.3%が『楽しさを感じるときの方が多い』と回答している。一方、「つらさを感じるときの方がやや多い」(15.3%)、「つらさを感じるときの方がかなり多い」(4.0%)の合計は19.3%となっている。

性別では、男性は女性に比べて「楽しさを感じるときの方がやや多い」「つらさを感じるときの方がやや多い」の割合が高く、女性は「どちらともいえない」の割合が男性を大きく上回っている。

子供の有無別でみると、子供がいる人の6割以上が『楽しさを感じるときの方が多い(合計)』、約2割が『つらさを感じるときの方が多い(合計)』と回答している。

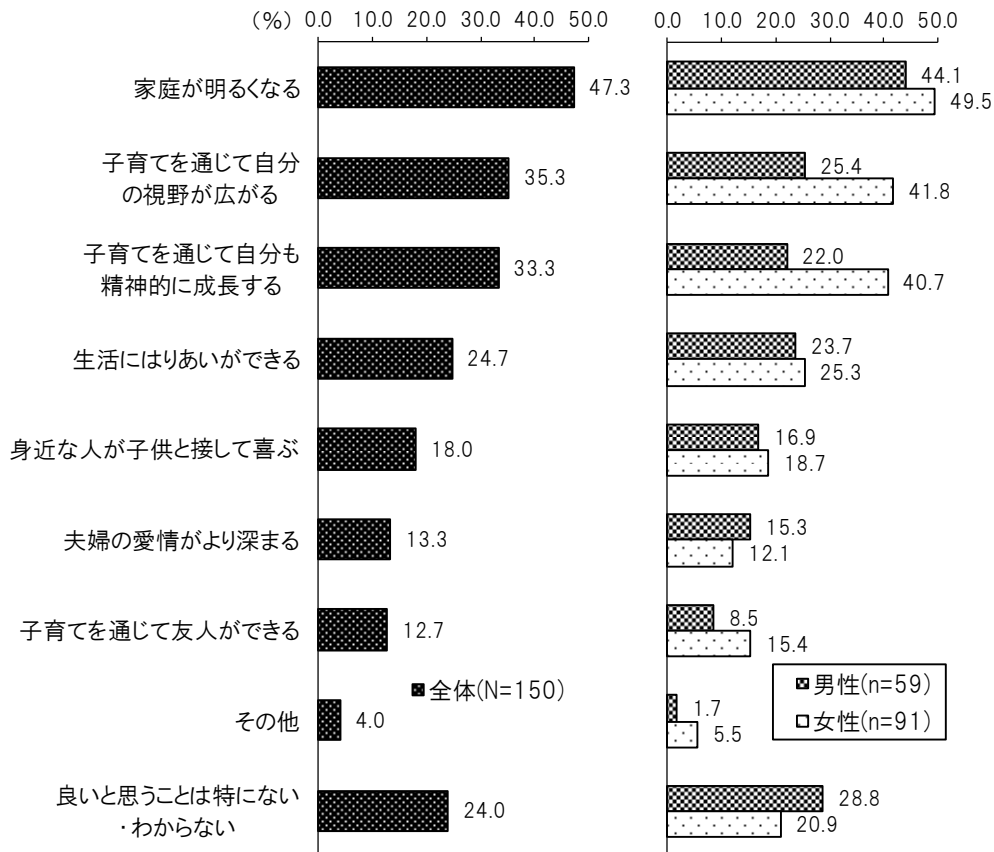


2 子育てをされていて良かったこと

問 55 あなたが、子育てをされていて、良かったと思うことは何ですか。（お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。）
 （回答はあてはまるもの全て）

子育てをされていて良かったことについては、「家庭が明るくなる」の割合が47.3%と最も高く、次いで「子育てを通じて自分の視野が広がる」（35.3%）、「子育てを通じて自分も精神的に成長する」（33.3%）、「生活にはりあいができる」（24.7%）、「身近な人が子供と接して喜ぶ」（18.0%）の順となっている。

性別では、女性は「子育てを通じて自分の視野が広がる」「子育てを通じて自分も精神的に成長する」の割合が男性を大きく上回っている。



子供の有無別では、子供がいる人はいない人に比べて「家庭が明るくなる」「子育てを通じて自分の視野が広がる」「子育てを通じて自分も精神的に成長する」などの割合が特に高くなっている。

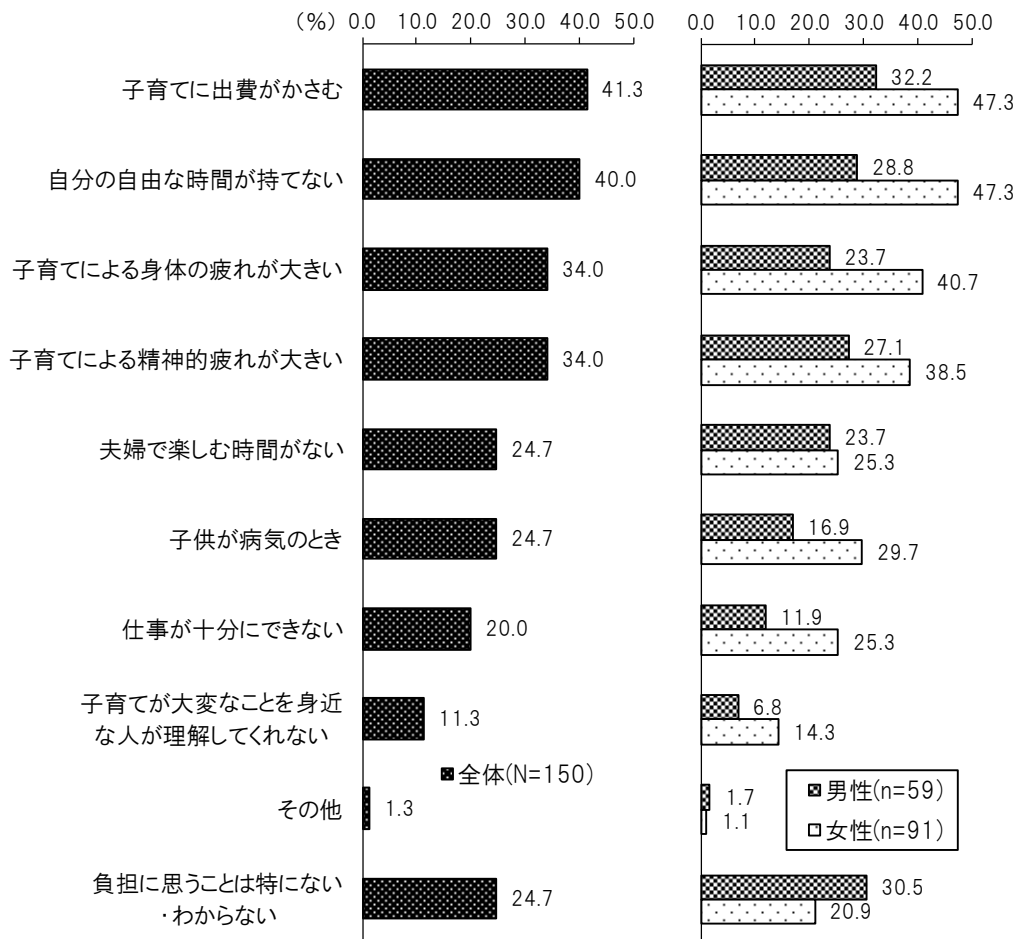
単位 (%)	家庭が明るくなる	子育てを通じて自分の視野が広がる	子育てを通じて自分も精神的に成長する	生活にはりあいができる	身近な人が子供と接して喜ぶ	夫婦の愛情がより深まる	子育てを通じて友人ができる	その他	良いと思うことは特にない・わからない
全体(N=150)	47.3	35.3	33.3	24.7	18.0	13.3	12.7	4.0	24.0
【子供の有無別】									
子供がいる(n=62)	61.3	53.2	45.2	32.3	25.8	11.3	16.1	3.2	8.1
子供はいない(n=88)	37.5	22.7	25.0	19.3	12.5	14.8	10.2	4.5	35.2

3 子育てをしていて負担に思うこと

問 56 あなたが、子育てをしていて、自分にとって負担に思うことはどんなことですか。
 (お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。) (回答はあてはまるもの全て)

子育てをしていて負担に思うことについては、「子育てに出費がかさむ」の割合が41.3%と最も高く、ほぼ並んで「自分の自由な時間が持てない」(40.0%)が続き、以下「子育てによる身体の疲れが大きい」「子育てによる精神的疲れが大きい」(各34.0%)の順となっている。

性別では、女性は「子育てに出費がかさむ」「自分の自由な時間が持てない」「子育てによる身体の疲れが大きい」などの割合が男性を大きく上回っている。



子供の有無別で見ると、子供がいる人はいない人に比べて「自分の自由な時間が持てない」「子育てによる身体の疲れが大きい」「子供が病気の時」の割合が特に高くなっている。

単位 (%)	子育てに出費がかさむ	自分の自由な時間が持てない	子育てによる身体の疲れが大きい	子育てによる精神的疲れが大きい	夫婦で楽しむ時間がない	子供が病気の時	仕事が十分にできない	理解してくれない 子育てが大変なことを身近な人が	その他	負担に思うことは特にない・わからない
全体(N=150)	41.3	40.0	34.0	34.0	24.7	24.7	20.0	11.3	1.3	24.7
【子供の有無別】										
子供がいる(n=62)	43.5	46.8	40.3	30.6	25.8	35.5	21.0	14.5	1.6	11.3
子供はいない(n=88)	39.8	35.2	29.5	36.4	23.9	17.0	19.3	9.1	1.1	34.1

4 就学前の子供の育児に対する夫・妻の役割について

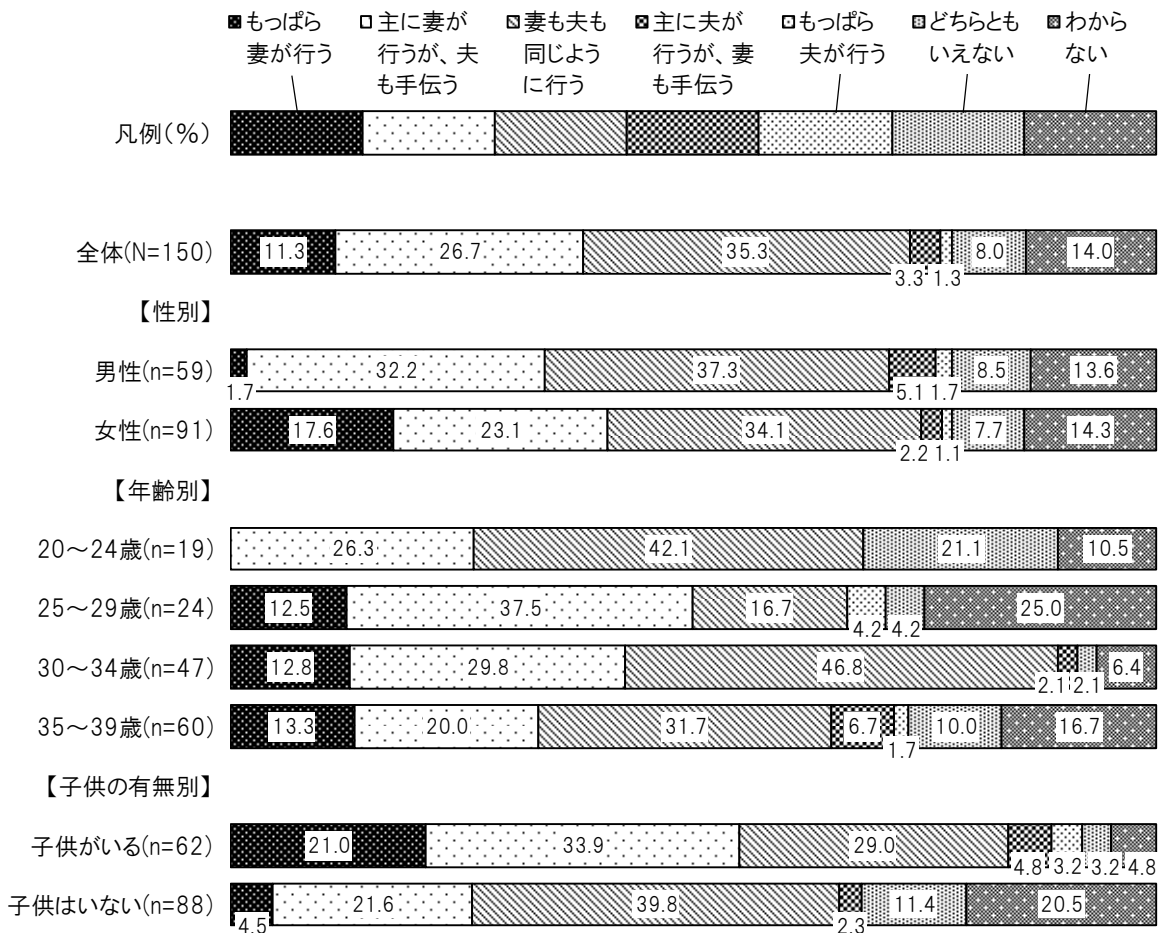
問 57 小学校入学前の子供の育児における夫・妻の役割について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。(回答は1つ)

就学前の子供の育児に対する夫・妻の役割については、「妻も夫も同じように行う」の割合が35.3%と最も高くなっているが、「もっぱら妻が行う」(11.3%)、「主に妻が行うが、夫も手伝う」(26.7%)の合計は38.0%となっている。

性別では、女性は「もっぱら妻が行う」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、25～29歳で「主に妻が行うが、夫も手伝う」、30～34歳で「妻も夫も同じように行う」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子供の有無別でみると、子供がいる人はいない人に比べて『妻が行う(合計)』の割合が高く、子供がいない人で「妻も夫も同じように行う」の割合が高くなっている。



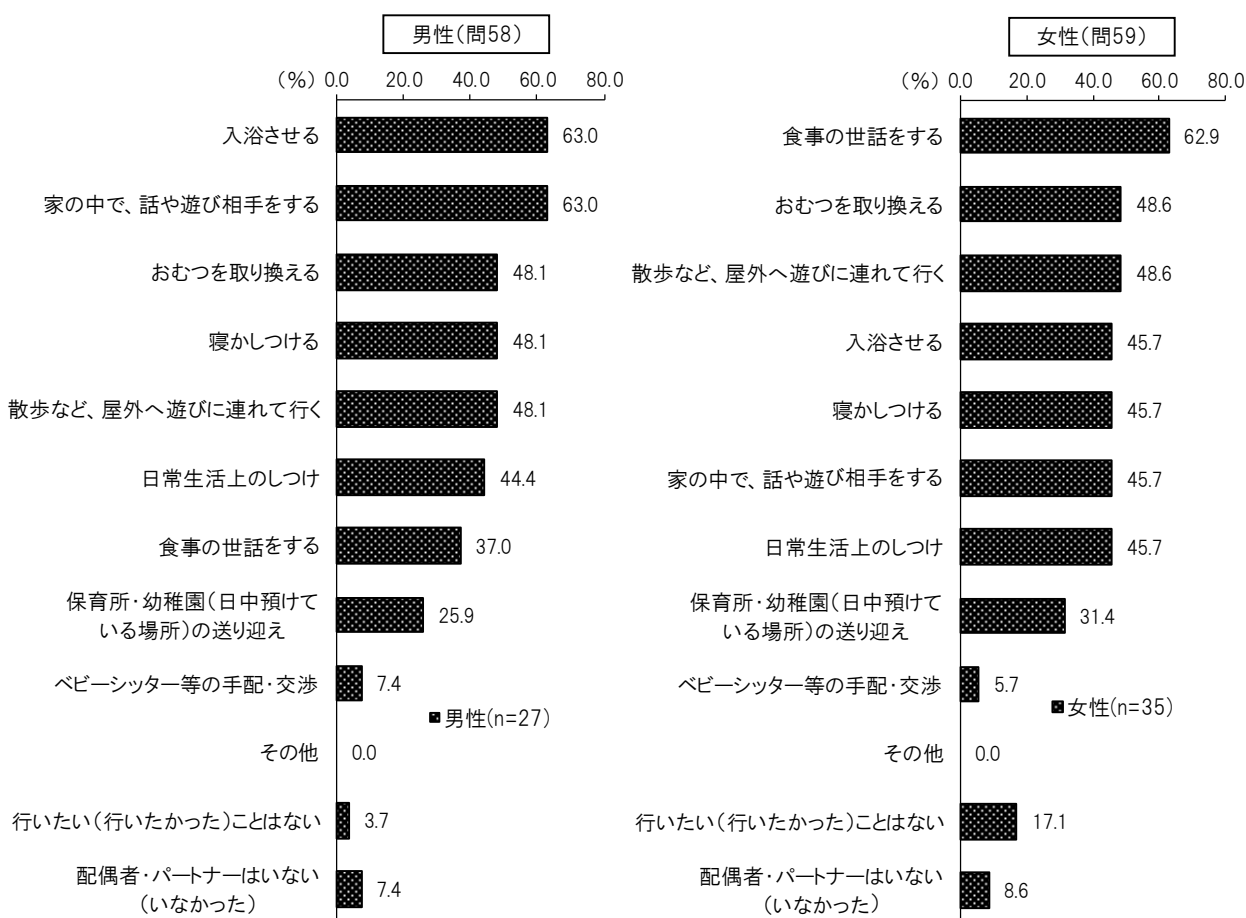
5 就学前の育児に対して行いたい（行いたかった）こと

【問1で「1（男性）」及び問44で「2～6（子供がいる）」と答えた方にお尋ねします。】
 問58 小学校入学前の育児について、あなたのご家庭で、あなたご自身が配偶者・パートナーと同程度、あるいはあなたご自身が主として行いたい（行いたかった）ことは何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

【問1で「2（女性）」及び問44で「2～6（子供がいる）」と答えた方にお尋ねします。】
 問59 小学校入学前の育児について、あなたのご家庭で、あなたご自身が配偶者・パートナーと同程度、あるいはあなたご自身が主として行いたい（行いたかった）ことは何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

就学前の育児に対して行いたい（行いたかった）ことについて、男性では「入浴させる」「家の中で、話や遊び相手をする」の割合が63.0%と最も高く、次いで「おむつを取り換える」「寝かしつける」「散歩など、屋外へ遊びに連れて行く」（各48.1%）の順となっている。

女性では「食事の世話をする」の割合が62.9%と最も高く、次いで「おむつを取り換える」「散歩など、屋外へ遊びに連れて行く」（各48.6%）の順となっている。



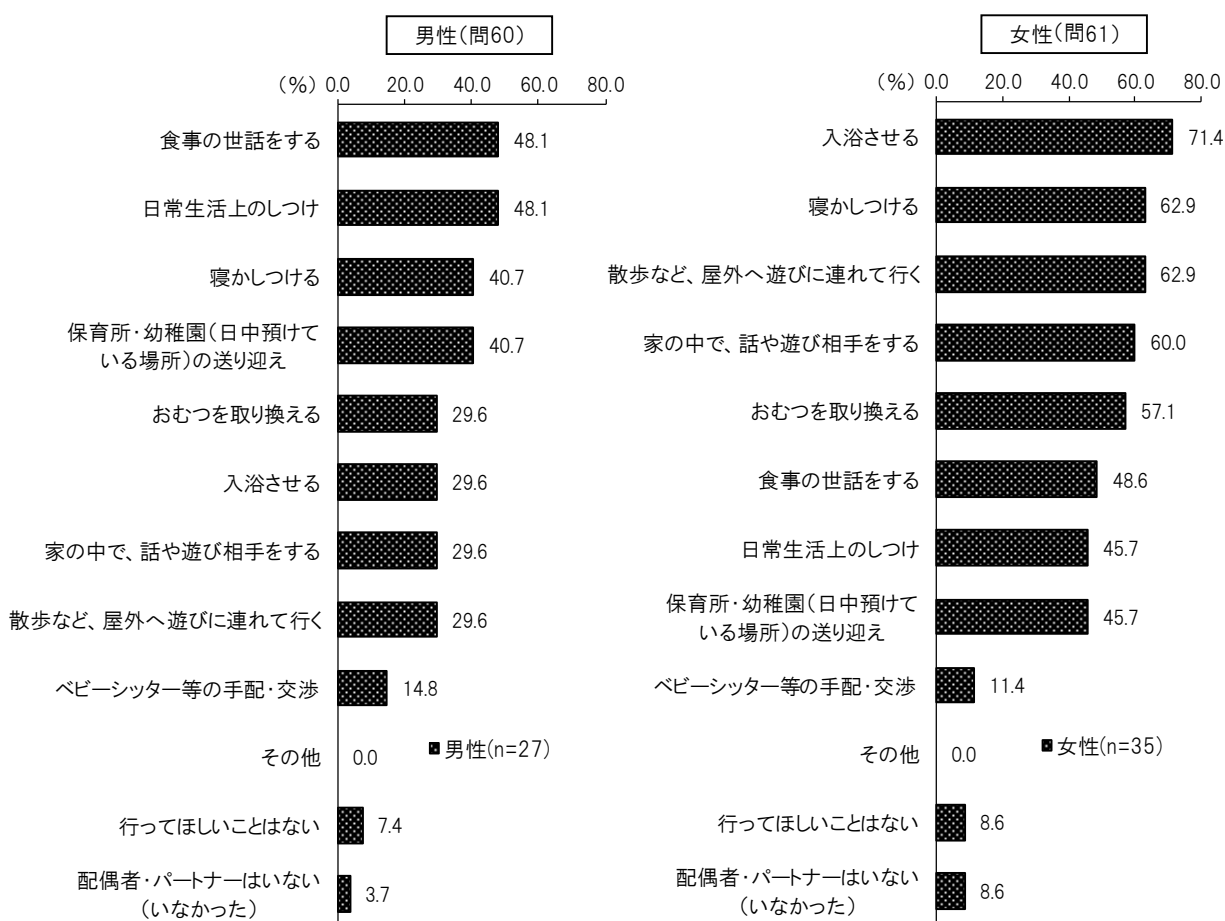
6 育児に対して配偶者・パートナーに行ってほしいこと

【問1で「1（男性）」及び問44で「2～6（子供がいる）」と答えた方にお尋ねします。】
 問 60 小学校入学前の育児について、あなたのご家庭で、配偶者・パートナーがあなたご自身と同程度、あるいは配偶者・パートナーが主として行ってほしい（行ってほしかった）ことは何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

【問1で「2（女性）」及び問44で「2～6（子供がいる）」と答えた方にお尋ねします。】
 問 61 小学校入学前の育児について、あなたのご家庭で、配偶者・パートナーがあなたご自身と同程度、あるいは配偶者・パートナーが主として行ってほしい（行ってほしかった）ことは何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

育児に対して配偶者・パートナーに行ってほしい（行ってほしかった）ことについて、男性では「食事の世話をする」「日常生活上のしつけ」の割合が48.1%と最も高く、次いで「寝かしつける」「保育所・幼稚園（日中預けている場所）の送り迎え」（各40.7%）の順となっている。

女性では「入浴させる」の割合が71.4%と最も高く、次いで「寝かしつける」「散歩など、屋外へ遊びに連れて行く」（各62.9%）、「家の中で、話や遊び相手をする」（60.0%）、「おむつを取り換える」（57.1%）の順となっている。



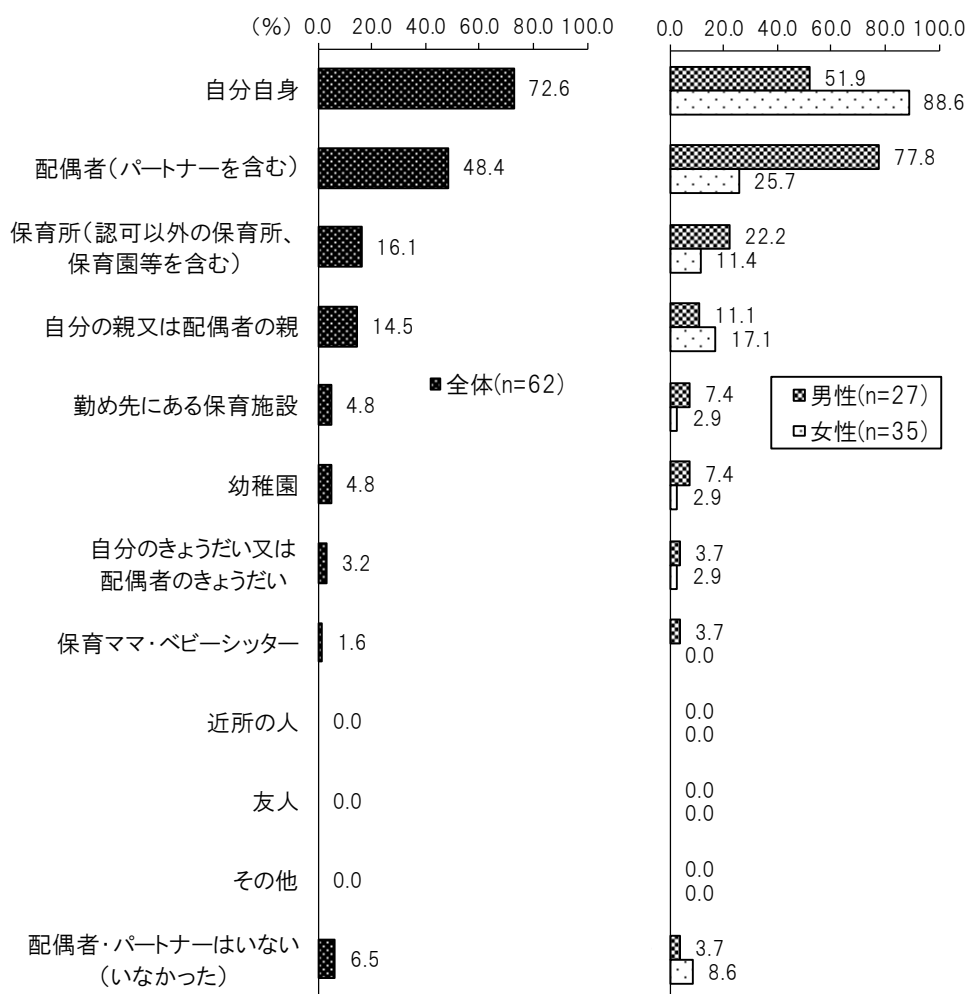
7 就学前の子供を世話する人

【問44で「2～6（子供がいる）」と答えた方にお尋ねします。】

問62 小学校入学前の育児について、普段、子供を世話するのは誰ですか（誰でしたか）。
（回答はあてはまるもの全て）

就学前の子供を世話する人については、「自分自身」の割合が72.6%と最も高く、次いで「配偶者（パートナーを含む）」（48.4%）、「保育所（認可以外の保育所、保育園等を含む）」（16.1%）、「自分の親又は配偶者の親」（14.5%）の順となっている。

性別では、男性は「配偶者（パートナーを含む）」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「自分自身」の割合が高くなっている。



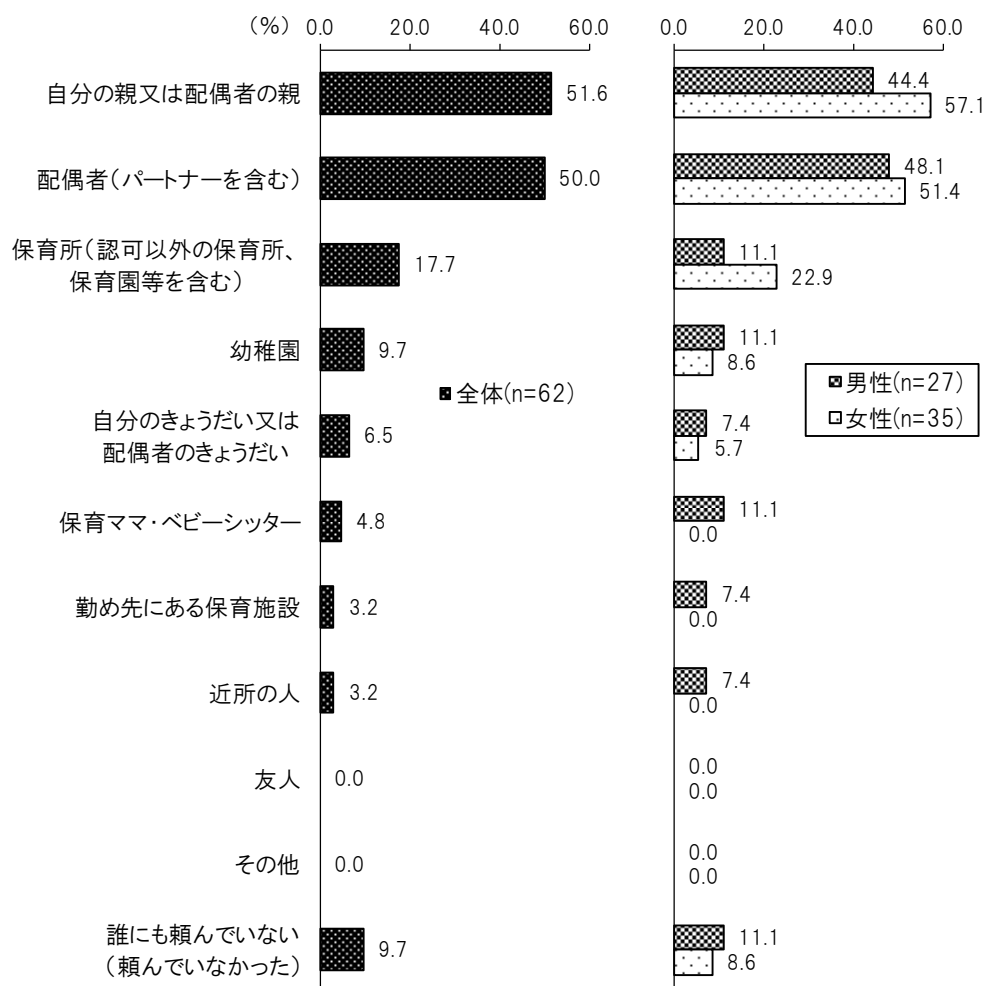
8 就学前の子供の世話ができない時に援助を頼む人

【問44で「2～6（子供がいる）」と答えた方にお尋ねします。】

問 63 小学校入学前の育児について、突然の用事のために子供の世話をすることができない時、誰に援助を頼みますか（頼みましたか）。（回答はあてはまるもの全て）

就学前の子供の世話ができない時に援助を頼む人については、「自分の親又は配偶者の親」の割合が51.6%と最も高く、ほぼ並んで「配偶者（パートナーを含む）」（50.0%）が続き、以下「保育所（認可以外の保育所、保育園等を含む）」（17.7%）、「幼稚園」（9.7%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べて「自分の親又は配偶者の親」「保育所（認可以外の保育所、保育園等を含む）」の割合が高くなっている。



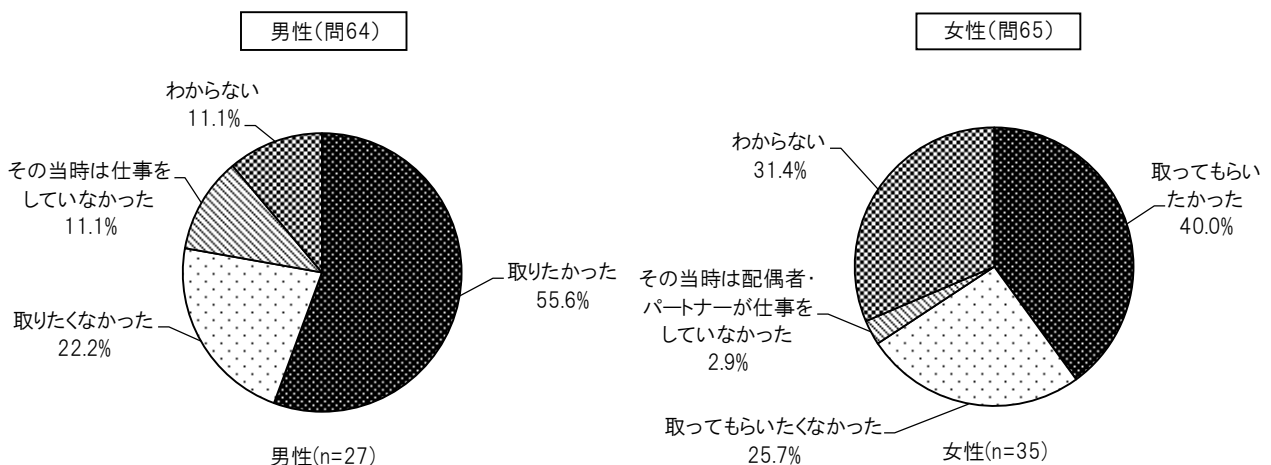
9 出産・育児に関する男性の休暇の取得意向

【問1で「1（男性）」及び問44で「2～6（子供がいる）」と答えた方にお尋ねします。】
 問64 一番下のお子さんが生まれたときのことを教えてください。あなたは出産・育児に関する休暇を取りたかったですか。（回答は1つ）
 ※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。
 ※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

【問1で「2（女性）」及び問44で「2～6（子供がいる）」と答えた方にお尋ねします。】
 問65 一番下のお子さんが生まれたときのことを教えてください。あなたの配偶者・パートナーに出産・育児に関する休暇を取ってもらいたかったですか。（回答は1つ）
 ※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。
 ※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

出産・育児に関する男性の休暇の取得意向について、男性では「取りたかった」が55.6%、「取りたくなかった」が22.2%となっている。

女性では、配偶者・パートナーに「取ってもらいたかった」が40.0%、「取ってもらいたくなかった」が25.7%となっている。



10 出産・育児に関して希望する男性の休暇期間

【問 64 で「1（取りたかった）」と答えた方にお尋ねします。】

問 66 一番下のお子さんが生まれたときのことを教えてください。どのくらいの期間、出産・育児に関する休暇を取りたかったですか。（回答は1つ）

※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。

※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

【問 65 で「1（取ってもらいたかった）」と答えた方にお尋ねします。】

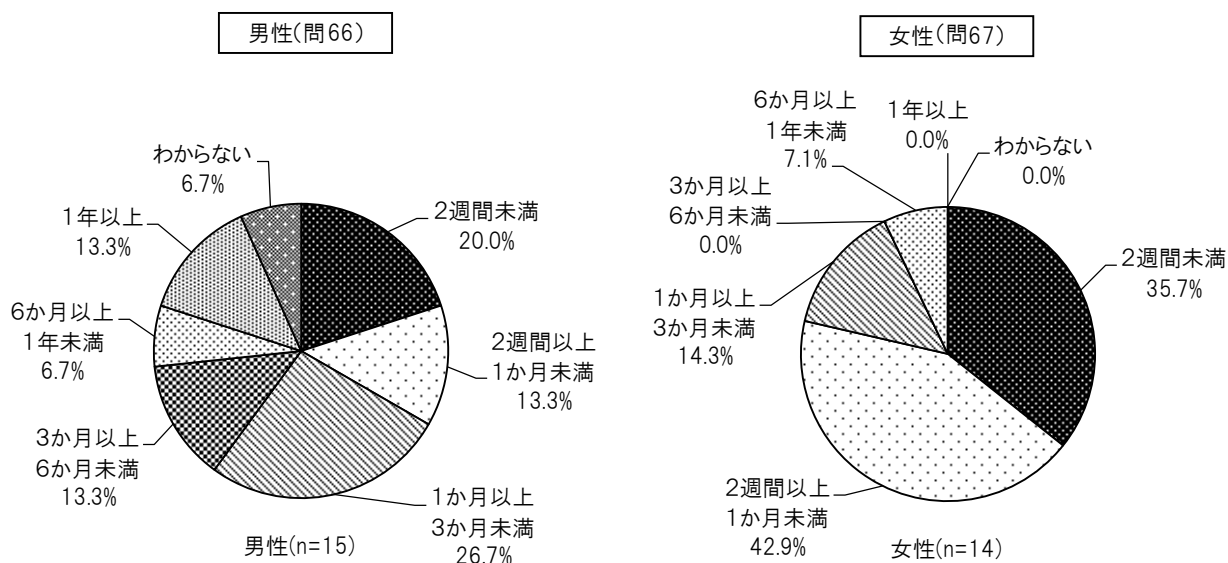
問 67 一番下のお子さんが生まれたときのことを教えてください。どのくらいの期間、あなたの配偶者・パートナーに出産・育児に関する休暇を取ってもらいたかったですか。（回答は1つ）

※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。

※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

出産・育児に関して希望する男性の休暇期間について、男性では「1か月以上3か月未満」の割合が26.7%と最も高く、次いで「2週間未満」（20.0%）が続いている。

女性では、配偶者・パートナーに対して「2週間以上1か月未満」の割合が42.9%と最も高く、次いで「2週間未満」（35.7%）、「1か月以上3か月未満」（14.3%）の順となっている。



11 出産・育児に関する男性の休暇取得状況

【問1で「1（男性）」及び問44で「2～6（子供がいる）」と答えた方にお尋ねします。】

問 68 直近のお子さんが生まれた時、あなたは実際に出産・育児に関する休暇を取りましたか。（回答は1つ）

※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。

※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

【問1で「2（女性）」及び問44で「2～6（子供がいる）」と答えた方にお尋ねします。】

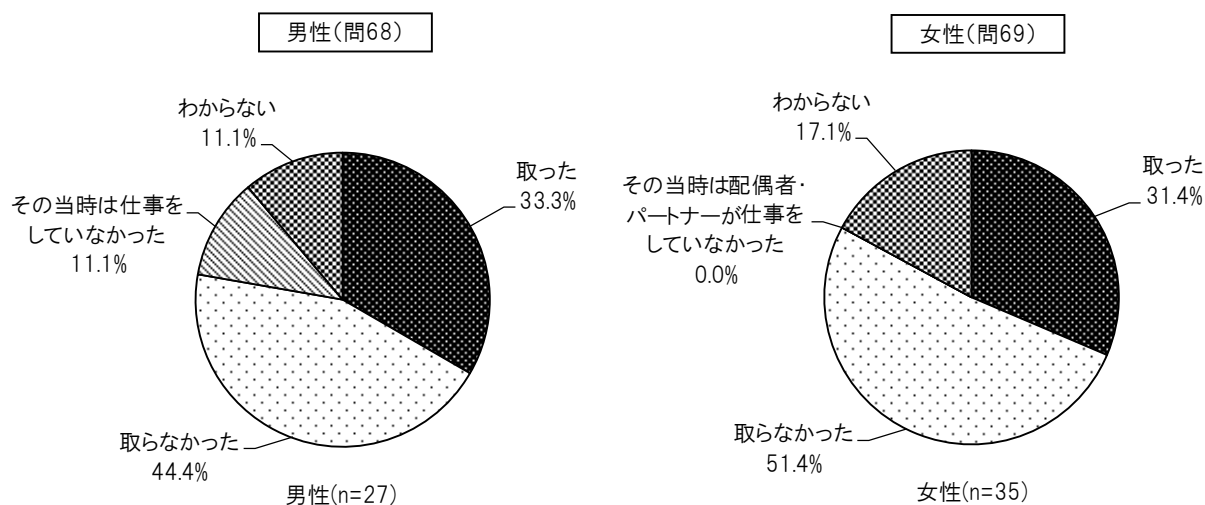
問 69 直近のお子さんが生まれた時、あなたの配偶者・パートナーは実際に出産・育児に関する休暇を取りましたか。（回答は1つ）

※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。

※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

出産・育児に関する男性の休暇取得状況について、男性では「取った」が33.3%、「取らなかった」が44.4%となっている。

女性では、配偶者・パートナーが「取った」が31.4%、「取らなかった」が51.4%となっている。



12 出産・育児に関する男性の休暇取得期間

【問 68 で「1 (取った)」と答えた方にお尋ねします。】

問 70 直近のお子さんが生まれた時、あなたはどのくらいの期間、出産・育児に関する休暇を取りましたか。(回答は1つ)

※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。

※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

【問 69 で「1 (取った)」と答えた方にお尋ねします。】

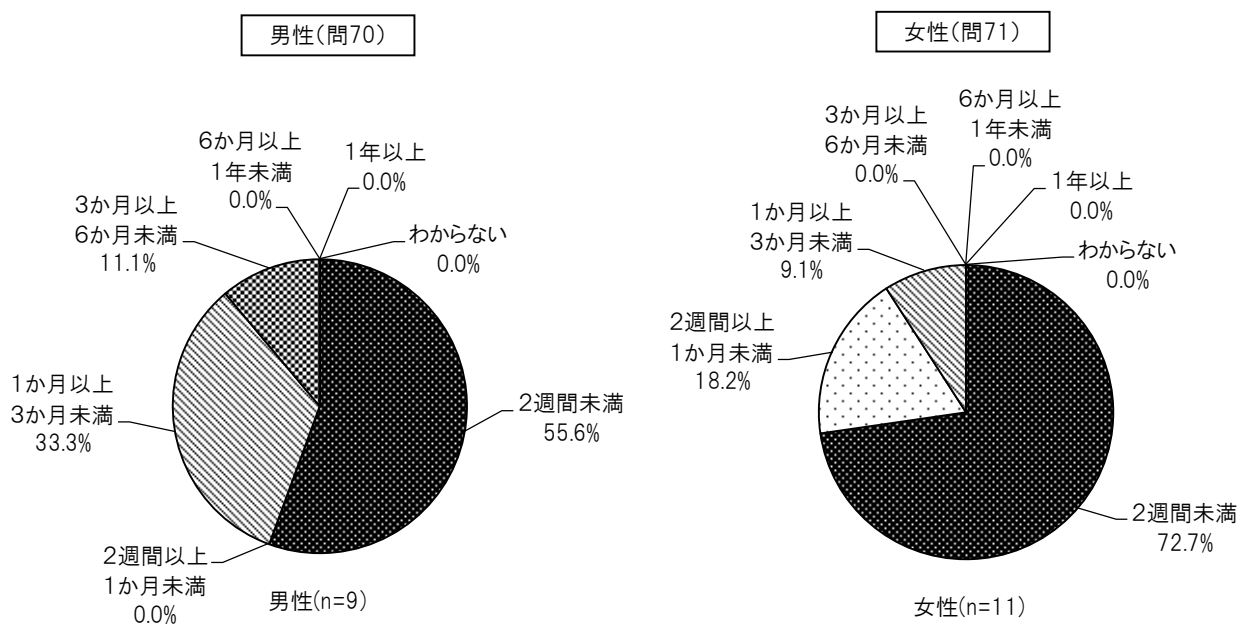
問 71 直近のお子さんが生まれた時、あなたの配偶者・パートナーは、どのくらいの期間、出産・育児に関する休暇を取りましたか。(回答は1つ)

※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。

※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

出産・育児に関する男性の休暇取得期間について、男性では「2週間未満」の割合が55.6%と最も高く、次いで「1か月以上3か月未満」(33.3%)、「3か月以上6か月未満」(11.1%)の順となっている。

女性の配偶者・パートナーでは「2週間未満」の割合が72.7%と最も高く、次いで「2週間以上1か月未満」(18.2%)、「1か月以上3か月未満」(9.1%)の順となっている。



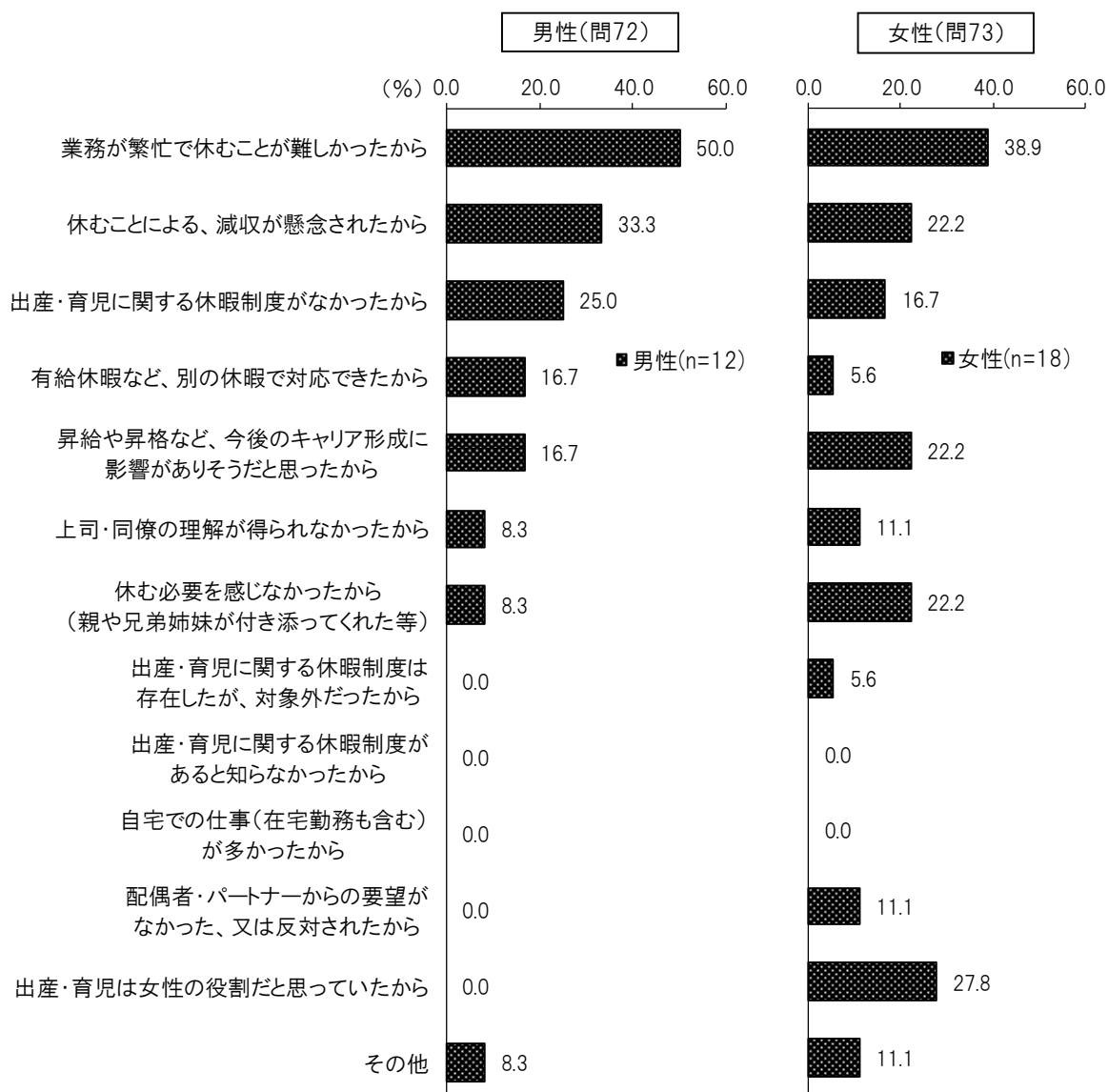
13 出産・育児に関する休暇を男性が取らなかった理由

【問 68で「2（取らなかった）」と答えた方にお尋ねします。】
 問 72 出産・育児に関する休暇を取らなかった理由は何ですか。
 （回答はあてはまるもの全て）

【問 69で「2（取らなかった）」と答えた方にお尋ねします。】
 問 73 あなたの配偶者・パートナーが、出産・育児に関する休暇を取らなかった理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

出産・育児に関する休暇を男性が取らなかった理由について、男性では「業務が繁忙で休むことが難しかったから」の割合が50.0%と最も高く、次いで「休むことによる、減収が懸念されたから」(33.3%)、「出産・育児に関する休暇制度がなかったから」(25.0%)の順となっている。

女性の配偶者・パートナーでは「業務が繁忙で休むことが難しかったから」の割合が38.9%と最も高くなっている。

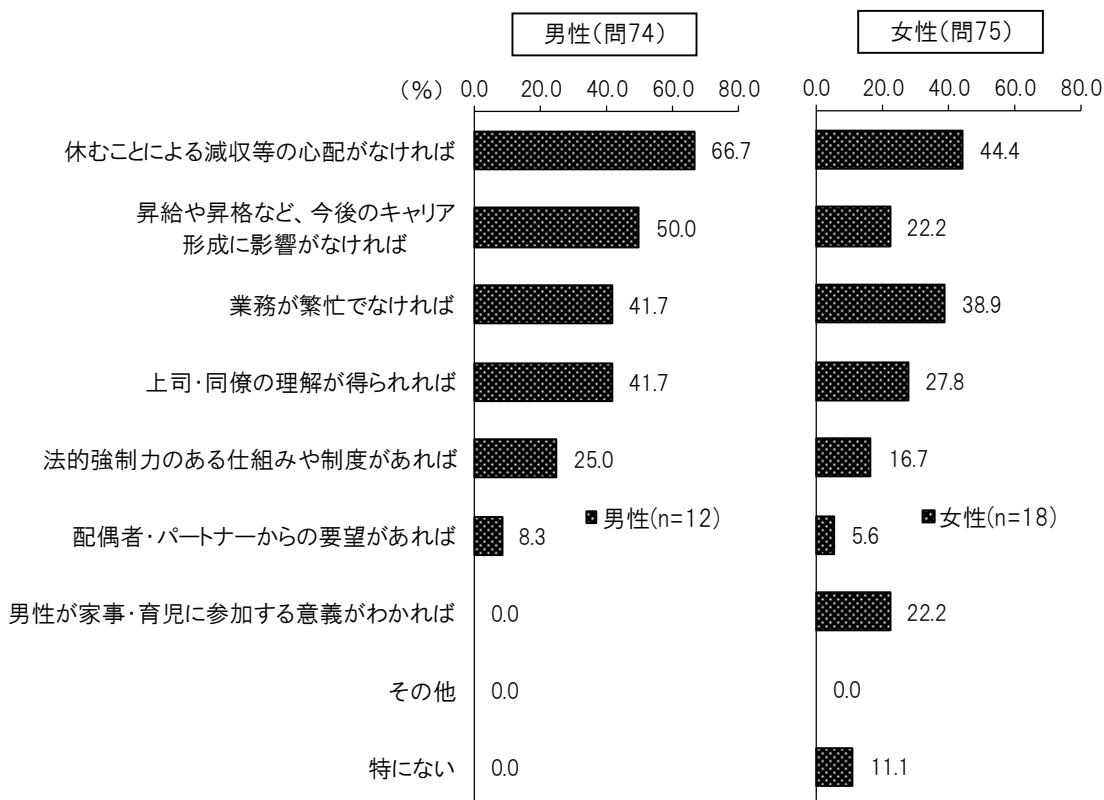


14 出産・育児に関する休暇を男性が取る条件

<p>【問68で「2（取らなかった）」と答えた方にお尋ねします。】</p> <p>問74 出産・育児に関する休暇をどうすれば取れると思いますか。 （回答はあてはまるもの全て）</p>
<p>【問69で「2（取らなかった）」と答えた方にお尋ねします。】</p> <p>問75 あなたの配偶者・パートナーは、出産・育児に関する休暇をどうすれば取れると思いますか。（回答はあてはまるもの全て）</p>

出産・育児に関する休暇を男性が取る条件について、男性では「休むことによる減収等の心配がなければ」の割合が66.7%と最も高く、次いで「昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がなければ」（50.0%）、「業務が繁忙でなければ」「上司・同僚の理解が得られれば」（各41.7%）の順となっている。

女性の配偶者・パートナーでは「休むことによる減収等の心配がなければ」の割合が44.4%と最も高く、次いで「業務が繁忙でなければ」（38.9%）、「上司・同僚の理解が得られれば」（27.8%）の順となっている。



15 民間サービスの利用について

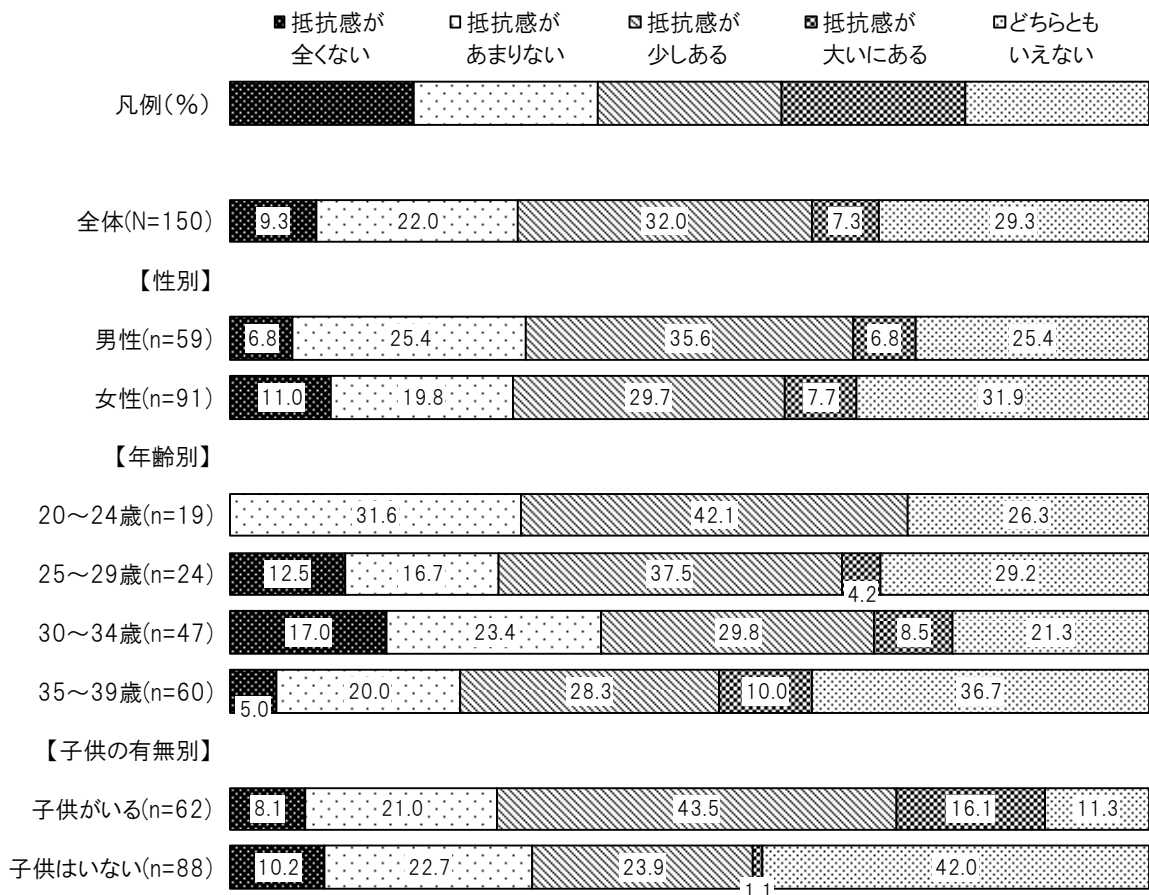
問 76 自身の子育ての負担軽減のために、行政機関が実施する施策以外の民間サービス（ベビーシッターや家事支援サービス）を利用することについて、どのように感じますか。（回答は1つ）

民間サービスの利用については、「抵抗感が全くない」が9.3%、「抵抗感があまりない」が22.0%、合計で31.3%が『抵抗感がない』と回答している。一方、「抵抗感が少しある」（32.0%）、「抵抗感が大いにある」（7.3%）の合計は39.3%となっている。

性別では、男性は女性に比べて「抵抗感が少しある」の割合が高くなっている。

年齢別では、30～34歳で『抵抗感がない（合計）』、35～39歳で「どちらともいえない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子供の有無別でみると、子供がいる人の約6割が『抵抗感がある（合計）』と回答している。



16 育児に関する悩みの相談先

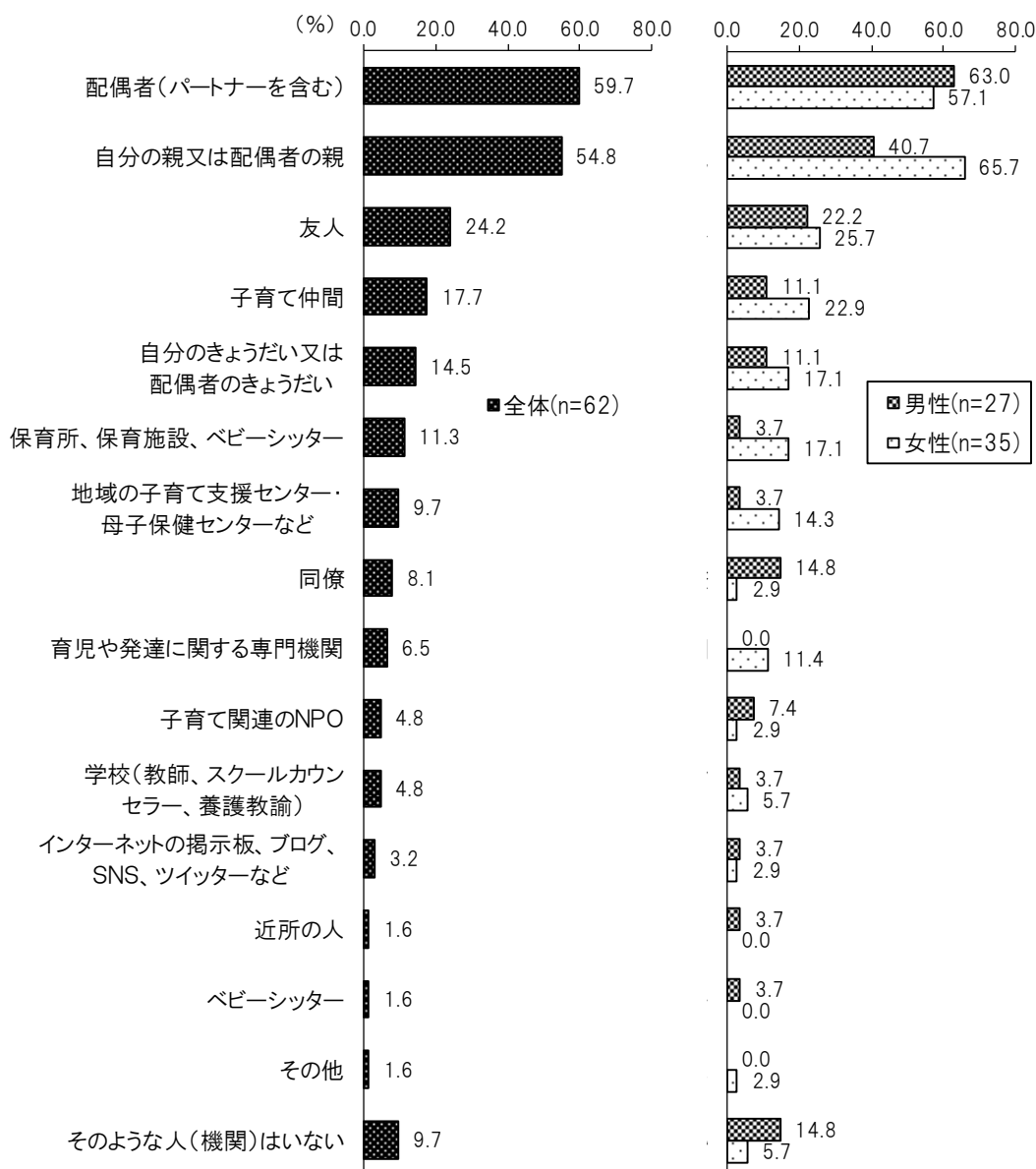
【問44で「2～6（子供がいる）」と答えた方にお尋ねします。】

問77 育児に関する悩みがあるときに、誰に又はどこへ相談をしますか。

（回答はあてはまるもの全て）

育児に関する悩みの相談先については、「配偶者（パートナーを含む）」の割合が59.7%と最も高く、次いで「自分の親又は配偶者の親」（54.8%）、「友人」（24.2%）、「子育て仲間」（17.7%）、「自分のきょうだい又は配偶者のきょうだい」（14.5%）の順となっている。

性別では、女性は「自分の親又は配偶者の親」「子育て仲間」「保育所、保育施設、ベビーシッター」「地域の子育て支援センター・母子保健センターなど」の割合が男性を上回っている。

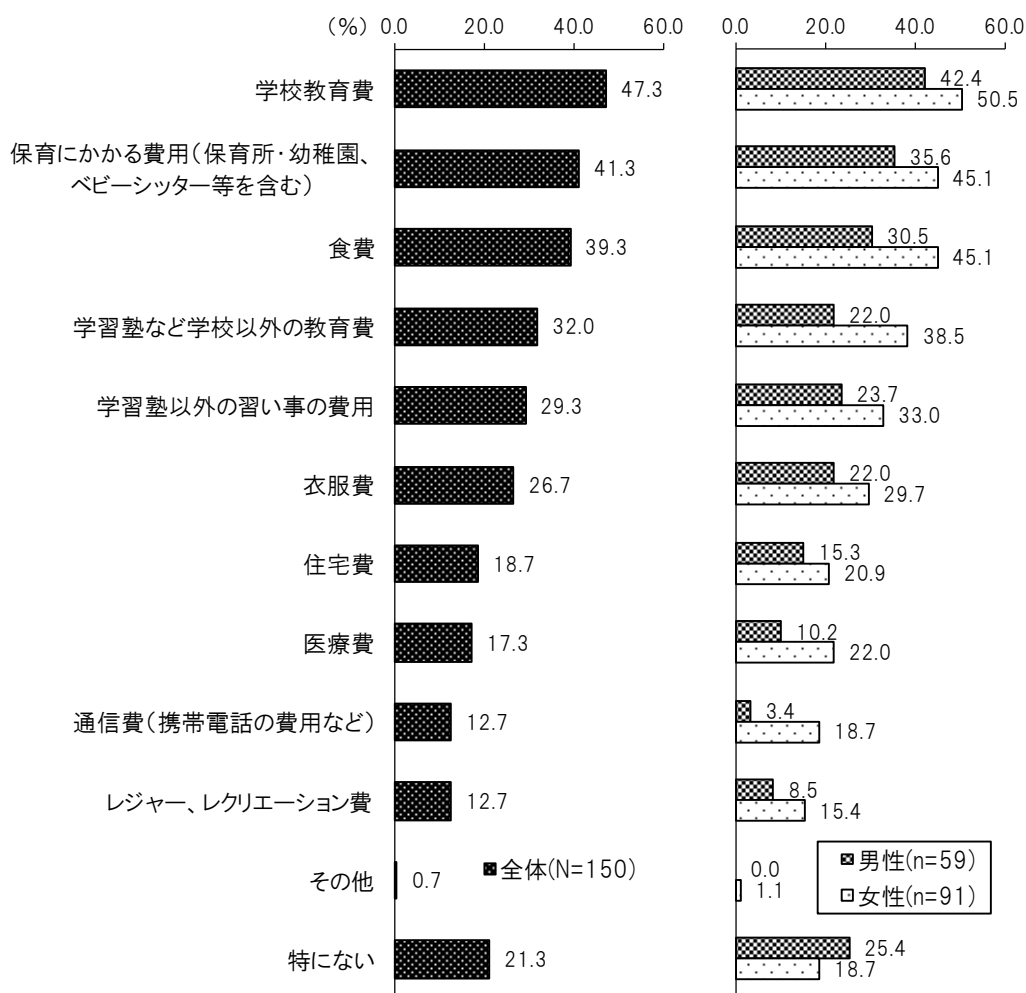


17 子育てにかかる経済的な負担として大きいもの

問 78 あなたにとって、子育てにかかる経済的な負担として大きなものは何ですか。
 (回答はあてはまるもの全て)
 ※ 子育ての経験がない方は、子育てすることを仮定してお答えください。

子育てにかかる経済的な負担として大きいものについては、「学校教育費」の割合が47.3%と最も高く、次いで「保育にかかる費用(保育所・幼稚園、ベビーシッター等を含む)」(41.3%)、「食費」(39.3%)、「学習塾など学校以外の教育費」(32.0%)、「学習塾以外の習い事の費用」(29.3%)の順となっている。

性別では、女性は「食費」「学習塾など学校以外の教育費」「医療費」「通信費(携帯電話の費用など)」などの割合が男性を大きく上回っている。



子供の有無別でみると、子供がいない人はいる人に比べて「学校教育費」「学習塾など学校以外の教育費」「医療費」「通信費（携帯電話の費用など）」の割合が特に高くなっている。

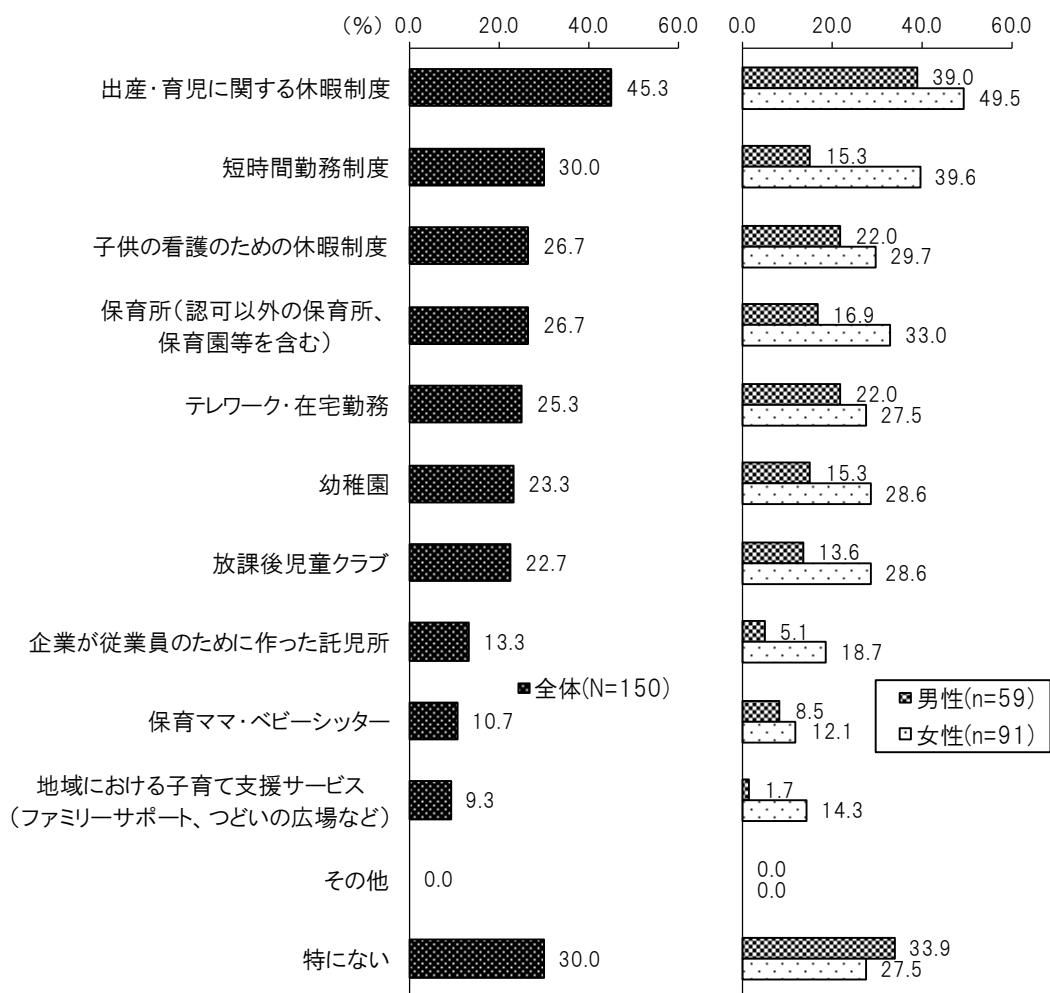
単位 (%)	学校教育費	園、保育にかか る費用（保育所・幼 稚	食費	学習塾など学校 以外の教育費	学習塾以外の習 い事の費用	衣服費	住宅費	医療費	通信費（携帯電 話の費用など）	レジャー、レク リエーション費	その他	特 に な い
全体(N=150)	47.3	41.3	39.3	32.0	29.3	26.7	18.7	17.3	12.7	12.7	0.7	21.3
【子供の有無別】												
子供がいる(n=62)	37.1	38.7	37.1	24.2	24.2	25.8	21.0	9.7	4.8	11.3	1.6	21.0
子供はいない(n=88)	54.5	43.2	40.9	37.5	33.0	27.3	17.0	22.7	18.2	13.6	0.0	21.6

18 子育てに当たって利用したい（利用したかった）と思う制度

問 79 あなたが、子育てに当たって利用したい、又は、利用したかったと思う制度は次のうちどれですか。（回答はあてはまるもの全て）
 ※ 子育ての経験がない方は、子育てすることを仮定してお答えください。

子育てに当たって利用したい（利用したかった）と思う制度については、「出産・育児に関する休暇制度」の割合が45.3%と最も高く、次いで「短時間勤務制度」（30.0%）、「子供の看護のための休暇制度」「保育所（認可以外の保育所、保育園等を含む）」（各26.7%）、「テレワーク・在宅勤務」（25.3%）の順となっている。

性別では、女性は「短時間勤務制度」「保育所（認可以外の保育所、保育園等を含む）」「幼稚園」「放課後児童クラブ」などの割合が男性を大きく上回っている。



子供の有無別でみると、子供がいない人はいる人に比べて「短時間勤務制度」「企業が従業員のために作った託児所」の割合が特に高くなっている。

単位 (%)	出産・育児に関する休暇制度	短時間勤務制度	子供の看護のための休暇制度	保育所（認可以外の保育所、保育園等を含む）	テレワーク・在宅勤務	幼稚園	放課後児童クラブ	企業が従業員のために作った託児所	保育ママ・ベビーシッター	地域における子育て支援サービス（ファミリーサポート、つどいの広場など）	その他	特になし
全体(N=150)	45.3	30.0	26.7	26.7	25.3	23.3	22.7	13.3	10.7	9.3	0.0	30.0
【子供の有無別】												
子供がいる(n=62)	45.2	19.4	27.4	22.6	21.0	21.0	21.0	4.8	8.1	9.7	0.0	22.6
子供はいない(n=88)	45.5	37.5	26.1	29.5	28.4	25.0	23.9	19.3	12.5	9.1	0.0	35.2

19 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

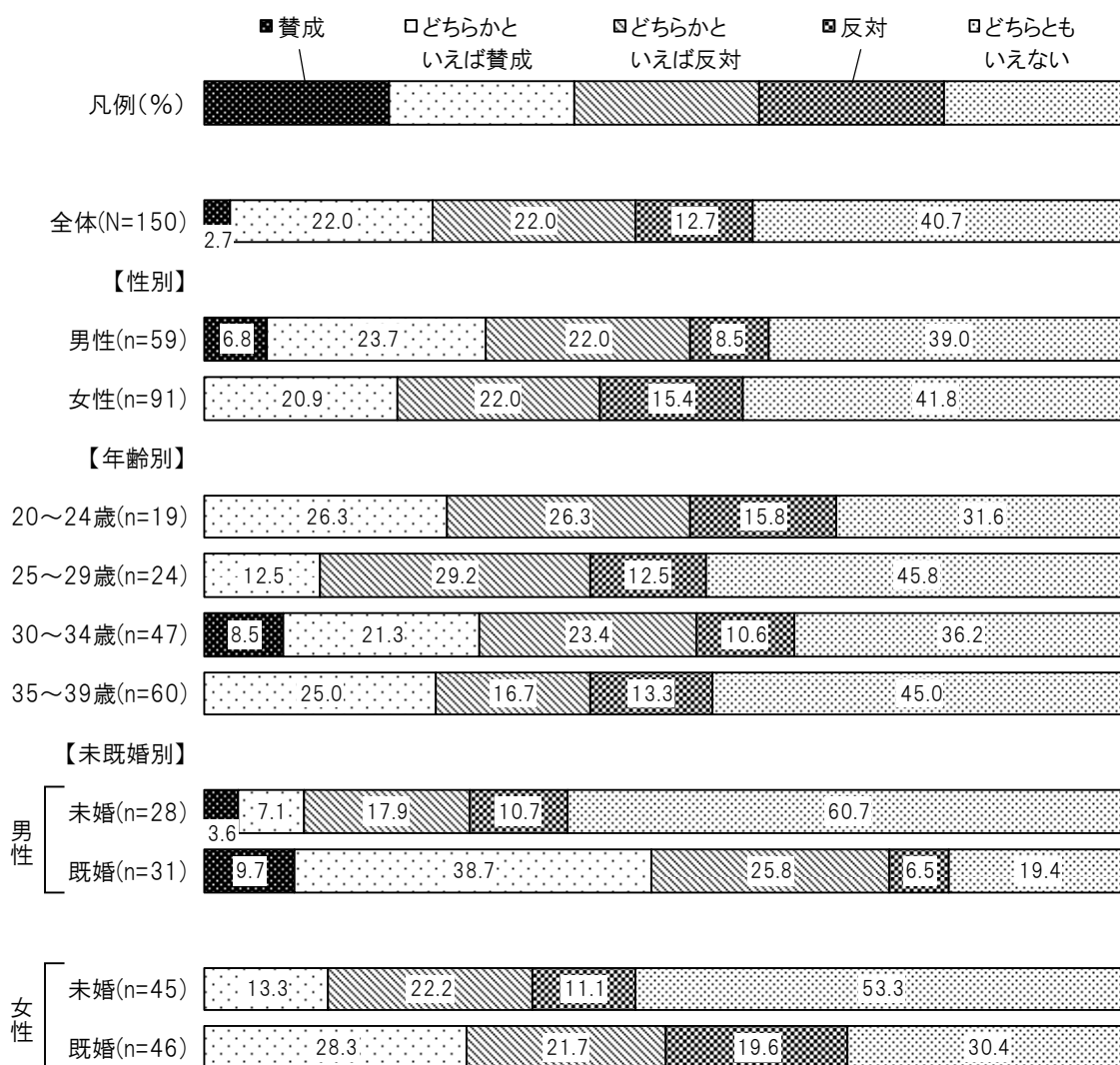
問 80 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたは、どのように考えますか。（回答は1つ）

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、「賛成」が2.7%、「どちらかといえば賛成」が22.0%、合計で24.7%が『賛成』と回答している。一方、「どちらかといえば反対」（22.0%）、「反対」（12.7%）の合計は34.7%となっている。

性別では、男性は女性に比べて『賛成（合計）』の割合が高く、女性は「反対」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、20～29歳で『反対（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

未婚既婚別でみると、男女共に、既婚の場合は未婚に比べて『賛成（合計）』の割合が高く、未婚で「どちらともいえない」の割合が高くなっている。



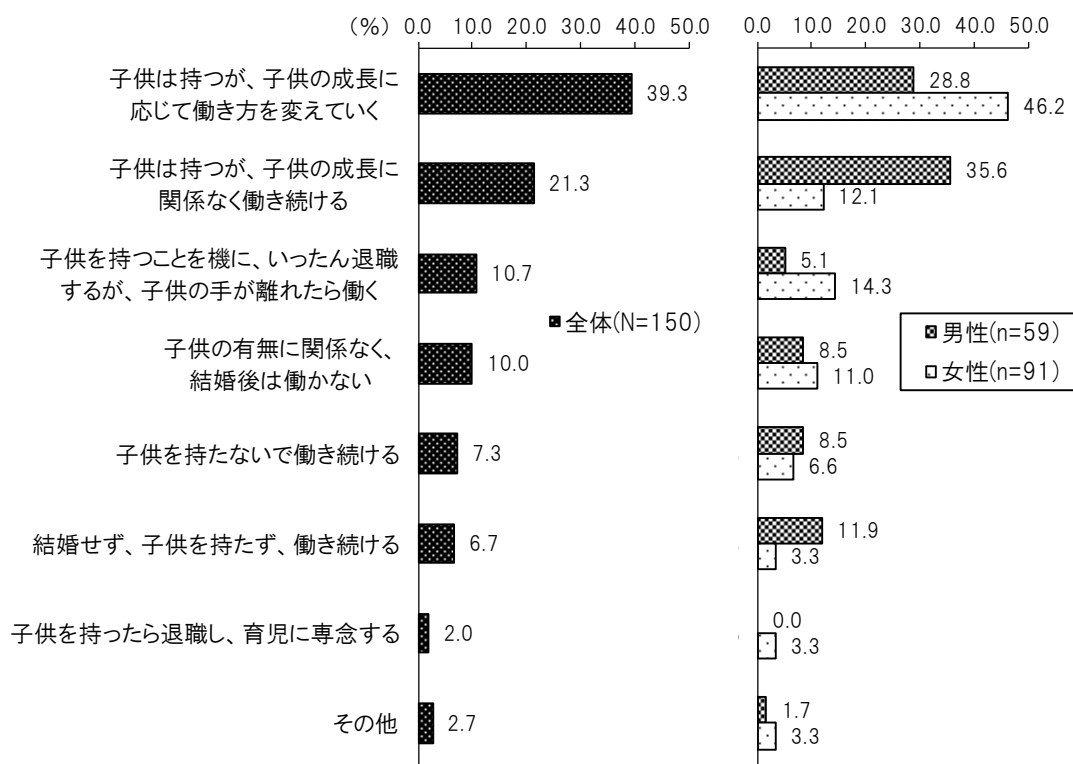
【6】ワーク・ライフ・バランスについて

1 育児と仕事に関して理想とする生き方について

問 81 育児と仕事との関係で、あなたの理想の生き方は次のどれですか。（回答は1つ）

育児と仕事に関して理想とする生き方については、「子供は持つが、子供の成長に応じて働き方を変えていく」の割合が39.3%と最も高く、次いで「子供は持つが、子供の成長に関係なく働き続ける」（21.3%）、「子供を持つことを機に、いったん退職するが、子供の手が離れたら働く」（10.7%）、「子供の有無に関係なく、結婚後は働かない」（10.0%）の順となっている。

性別では、男性は「子供は持つが、子供の成長に関係なく働き続ける」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「子供は持つが、子供の成長に応じて働き方を変えていく」「子供を持つことを機に、いったん退職するが、子供の手が離れたら働く」の割合が高くなっている。



未既婚別でみると、女性の既婚の場合は未婚に比べて「子供は持つが、子供の成長に応じて働き方を変えていく」の割合が高くなっている。

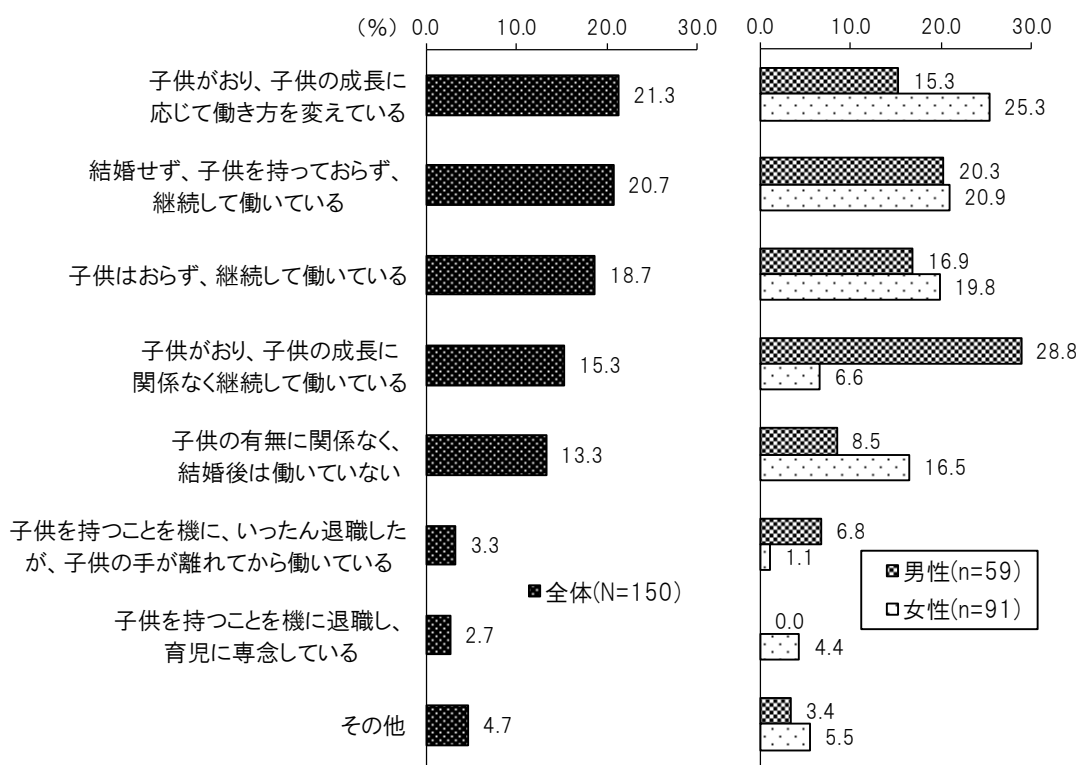
単位 (%)	子供は持つが、子供の成長に応じて働き方を変えていく	子供は持つが、子供の成長に関係なく働き続ける	働く退職するが、子供の手が離れたら働く	子供を持つことを機に、いつたらない子供の有無に関係なく、結婚後は働かない	子供を持たないで働き続ける	結婚せず、子供を持たず、働き続ける	子供を持つたら退職し、育児に専念する	その他
全体(N=150)	39.3	21.3	10.7	10.0	7.3	6.7	2.0	2.7
【未既婚別(男性)】								
未婚(n=28)	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0	25.0	0.0	3.6
既婚(n=31)	29.0	41.9	9.7	3.2	16.1	0.0	0.0	0.0
【未既婚別(女性)】								
未婚(n=45)	37.8	13.3	15.6	13.3	6.7	2.2	4.4	6.7
既婚(n=46)	54.3	10.9	13.0	8.7	6.5	4.3	2.2	0.0

2 育児と仕事に関する状況

問 82 育児と仕事との関係で、あなたの現時点での状況は次のどれですか。（学生の方は、「働いている」を「勉強している」と考えてお答えください。）（回答は1つ）

育児と仕事に関する状況については、「子供がおり、子供の成長に応じて働き方を変えている」の割合が21.3%と最も高く、次いで「結婚せず、子供を持っておらず、継続して働いている」（20.7%）、「子供はおらず、継続して働いている」（18.7%）、「子供がおり、子供の成長に関係なく継続して働いている」（15.3%）の順となっている。

性別では、男性は「子供がおり、子供の成長に関係なく継続して働いている」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「子供がおり、子供の成長に応じて働き方を変えている」「子供の有無に関係なく、結婚後は働いていない」の割合が高くなっている。



3 就労状況

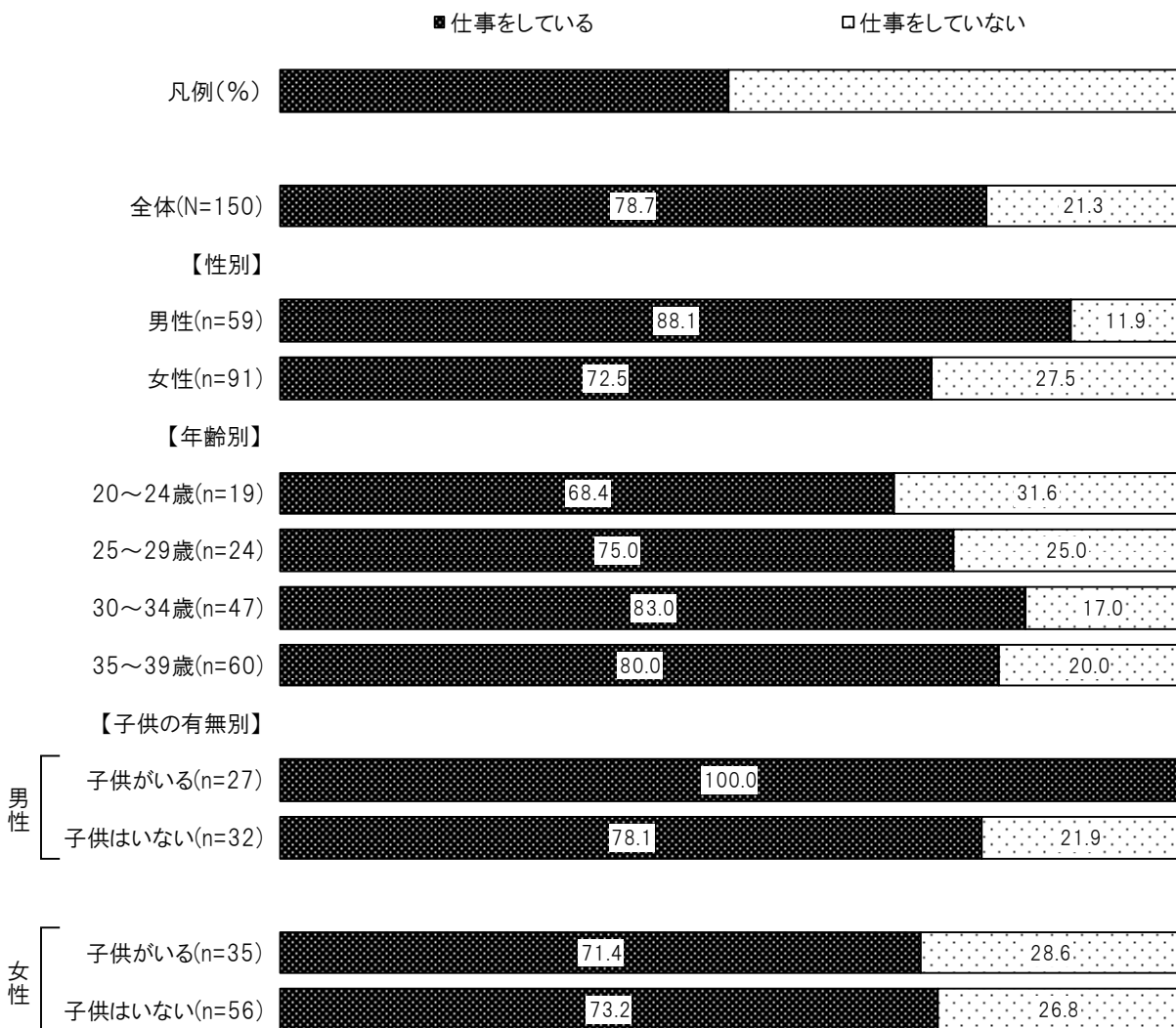
問 83 あなたは仕事をしていますか。（回答は1つ）

就労状況については、「仕事をしている」が78.7%、「仕事をしていない」が21.3%となっている。

性別では、男性は「仕事をしている」の割合が女性を上回っており、女性は男性に比べて「仕事をしていない」の割合が高くなっている。

年齢別では、おおむね年齢が上がるほど「仕事をしている」の割合が高くなっている。

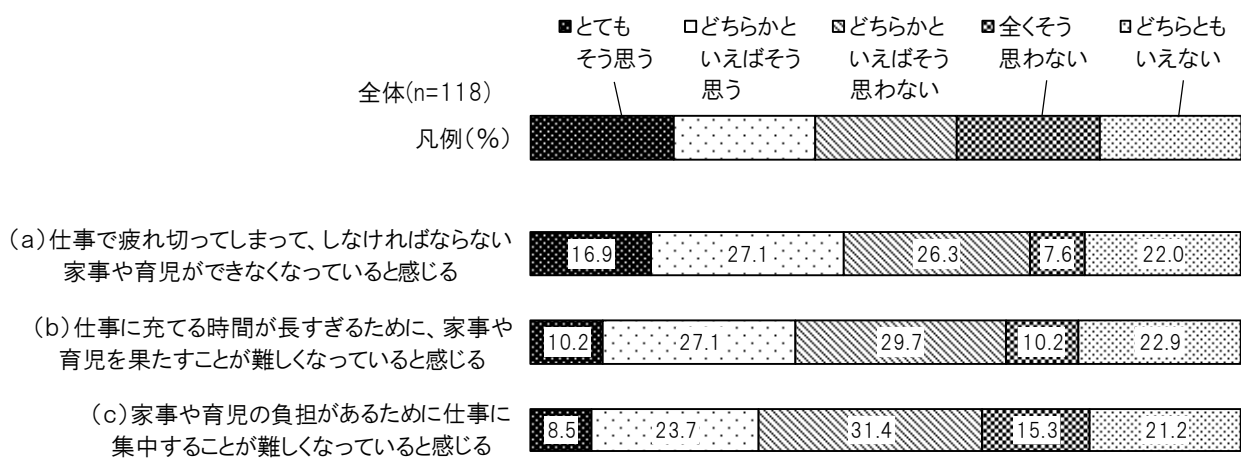
子供の有無別でみると、子供がいる女性の約3割が「仕事をしていない」と回答している。



4 仕事と家庭生活のバランスについて

問 84 この1年間を振り返って、あなたはご自分の仕事と家庭生活のバランスについてどのように感じていますか。(a)から(c)についてそれぞれ選んでください。(回答は1つずつ)

仕事と家庭生活のバランスについては、「(a) 仕事で疲れ切ってしまう、しなければならない家事や育児ができなくなっていると感じる」で『そう思う(合計)』の割合が44.0%と高く、「(c) 家事や育児の負担があるために仕事に集中することが難しくなっていると感じる」で『そう思わない(合計)』の割合が46.7%と高くなっている。



注：問83で「1（仕事をしている）」と回答した人を母数としている。

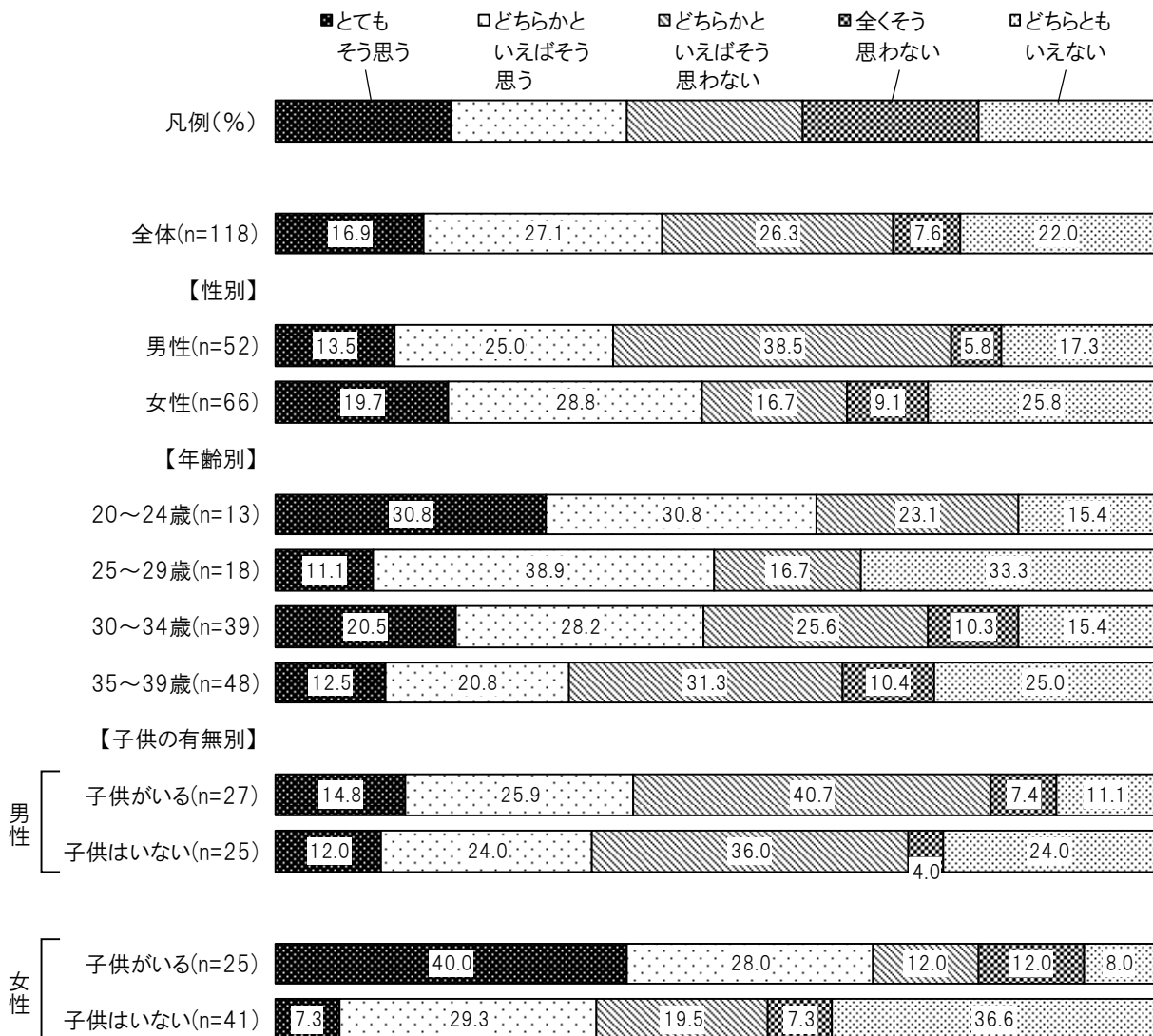
(a) 仕事で疲れ切ってしまうと、しなければならない家事や育児ができなくなっていると感じる

「仕事で疲れ切ってしまうと、しなければならない家事や育児ができなくなっていると感じる」については、「とてもそう思う」が16.9%、「どちらかといえばそう思う」が27.1%、合計で44.0%が『そう思う』と回答している。一方、「どちらかといえばそう思わない」(26.3%)、「全くそう思わない」(7.6%)の合計は33.9%となっている。

性別では、男性は女性に比べて『そう思わない(合計)』の割合が高く、女性は『そう思う(合計)』の割合が男性を上回っている。

年齢別では、若い年齢層ほど『そう思う(合計)』の割合が高くなっている。

子供の有無別でみると、子供がいる女性の4割が「とてもそう思う」と回答している。



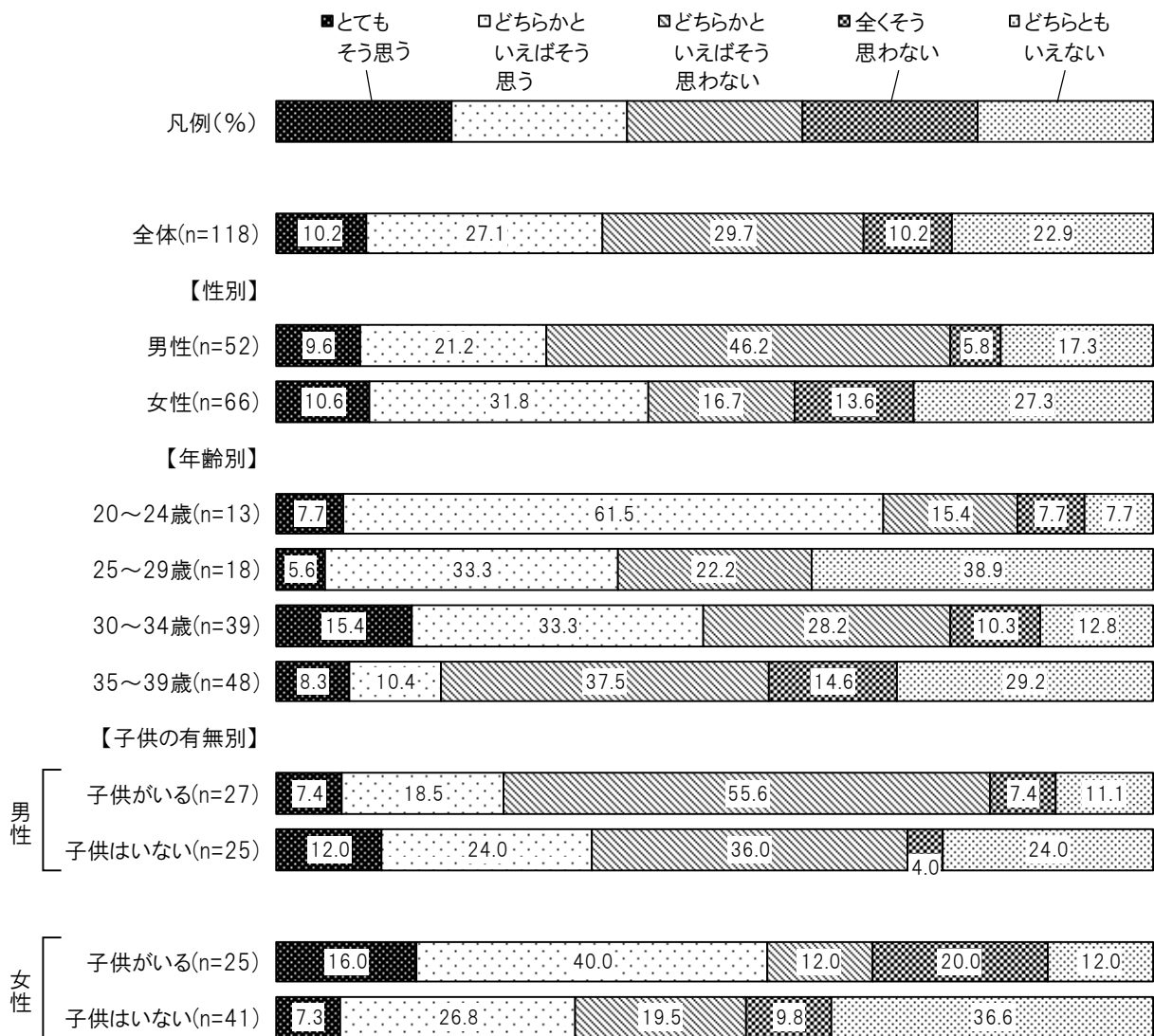
(b) 仕事に充てる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっていると感じる

「仕事に充てる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっていると感じる」については、「とてもそう思う」が10.2%、「どちらかといえばそう思う」が27.1%、合計で37.3%が『そう思う』と回答している。一方、「どちらかといえばそう思わない」(29.7%)、「全くそう思わない」(10.2%)の合計は39.9%となっている。

性別では、男性は『そう思わない(合計)』の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっている。

年齢別では、20～24歳で『そう思う(合計)』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

子供の有無別でみると、子供がいる女性の半数以上が『そう思う(合計)』と回答している。



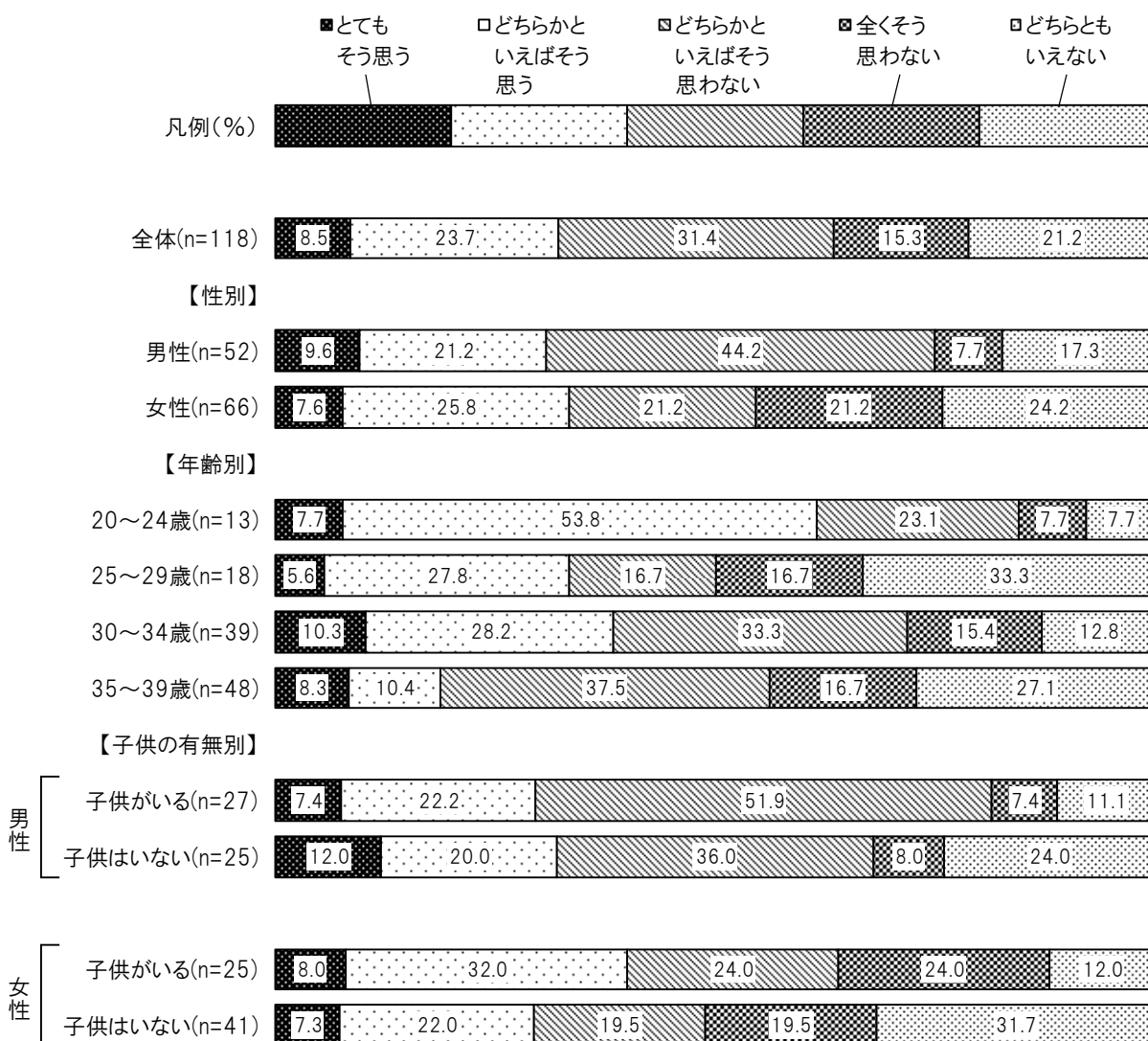
(c) 家事や育児の負担があるために仕事に集中することが難しくなっていると感じる

「家事や育児の負担があるために仕事に集中することが難しくなっていると感じる」については、「とてもそう思う」が8.5%、「どちらかといえばそう思う」が23.7%、合計で32.2%が『そう思う』と回答している。一方、「どちらかといえばそう思わない」(31.4%)、「全くそう思わない」(15.3%)の合計は46.7%となっている。

性別では、男性は女性に比べて『そう思わない(合計)』の割合が高くなっている。

年齢別では、20~24歳で『そう思う(合計)』の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

子供の有無別でみると、子供がいる女性の4割が『そう思う(合計)』と回答している。



5 失業する心配について

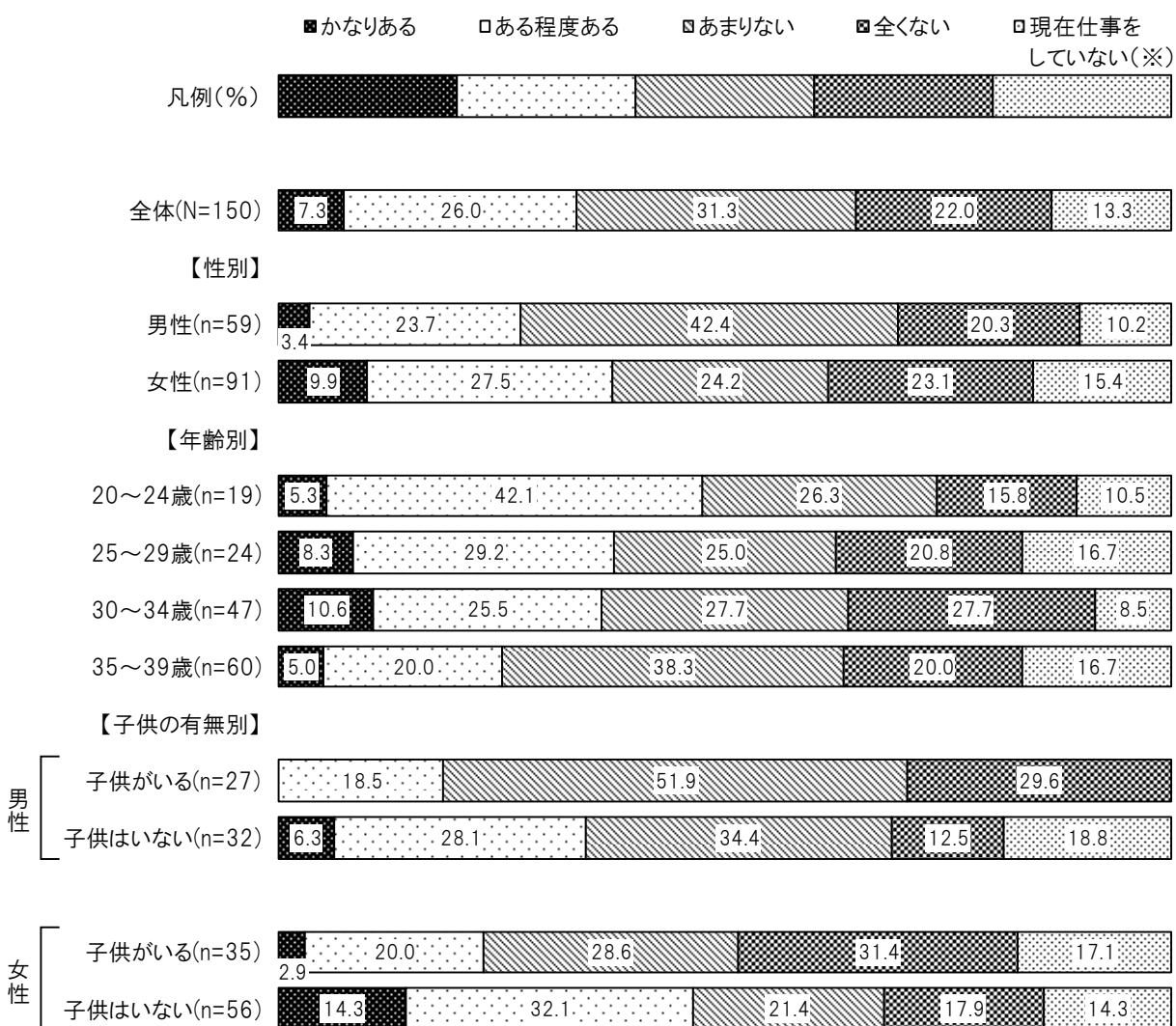
問 85 今後1年間に失職したり、仕事が見つからなかったりする心配はどの程度あると思いますか。(回答は1つ)

失業する心配については、「かなりある」が7.3%、「ある程度ある」が26.0%、合計で33.3%が『ある』と回答している。一方、「あまりない」(31.3%)、「全くない」(22.0%)の合計は53.3%となっている。

性別では、男性は女性に比べて『ない(合計)』の割合が高く、女性は『ある(合計)』の割合が男性を上回っている。

年齢別では、若い年齢層ほど『ある(合計)』の割合が高くなっている。

子供の有無別でみると、男女共に、子供がいない人はいる人に比べて『ある(合計)』の割合が高くなっている。



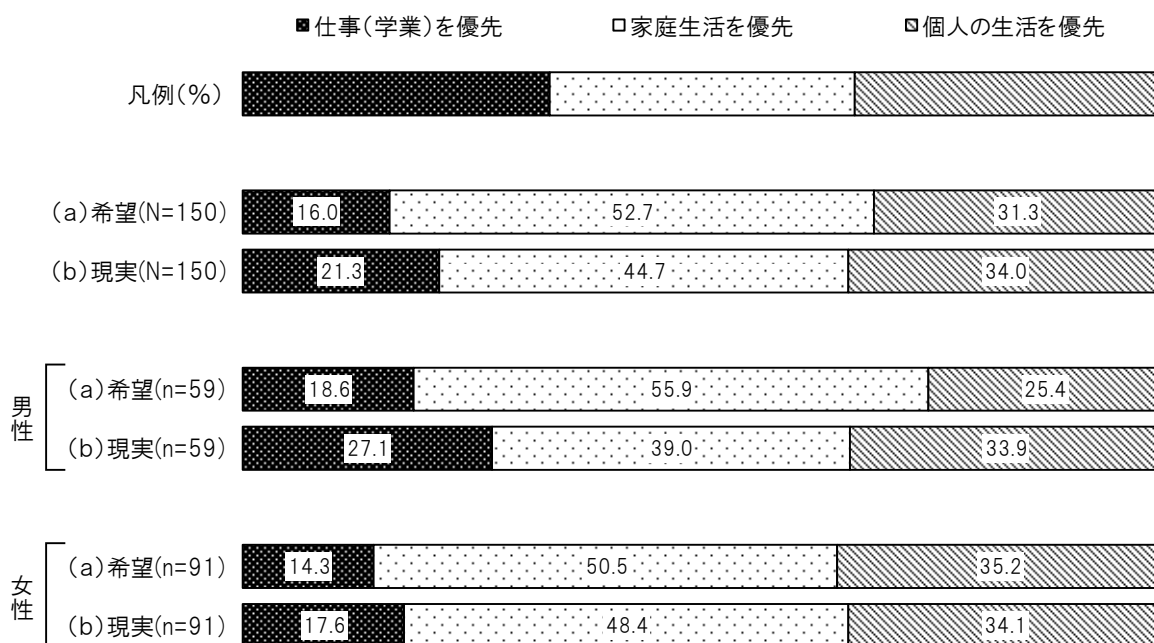
※ 現在仕事をしていないし、仕事も探していない

6 仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度について

問 86 現在のあなたの日常における、仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度についてお聞かせください。(a)あなたの“希望”にもっとも近いものを1つだけ選んでください。また(b)あなたの“現実”にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(学生の方は、「仕事」を「学業」と考えてお答えください。)
(回答は1つずつ)

仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度については、(a)希望では「家庭生活を優先」が52.7%と高くなっているが、(b)現実では「仕事(学業)を優先」が21.3%と希望を上回っている。

男性は、(a)希望では「家庭生活を優先」の割合が高くなっているが、(b)現実では「仕事(学業)を優先」「個人の生活を優先」の割合が希望を上回っている。



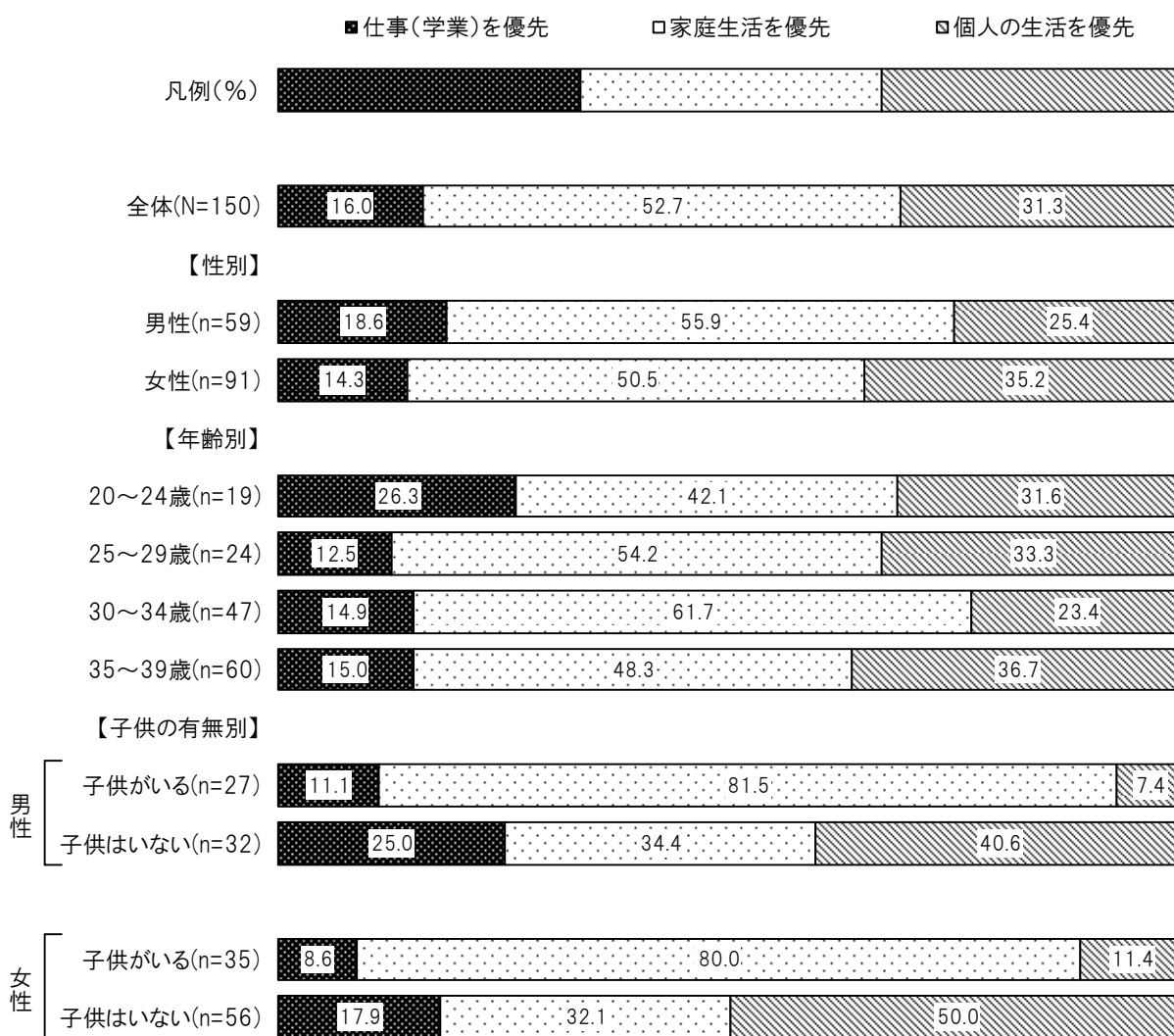
(a) 希望

希望については、「家庭生活を優先」の割合が52.7%と最も高く、次いで「個人の生活を優先」(31.3%)、「仕事(学業)を優先」(16.0%)の順となっている。

性別では、女性は「個人の生活を優先」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、20～24歳で「仕事(学業)を優先」、30～34歳で「家庭生活を優先」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子供の有無別でみると、男女共に子供がいる人は「家庭生活を優先」の割合が子供がいない人を大きく上回っている。



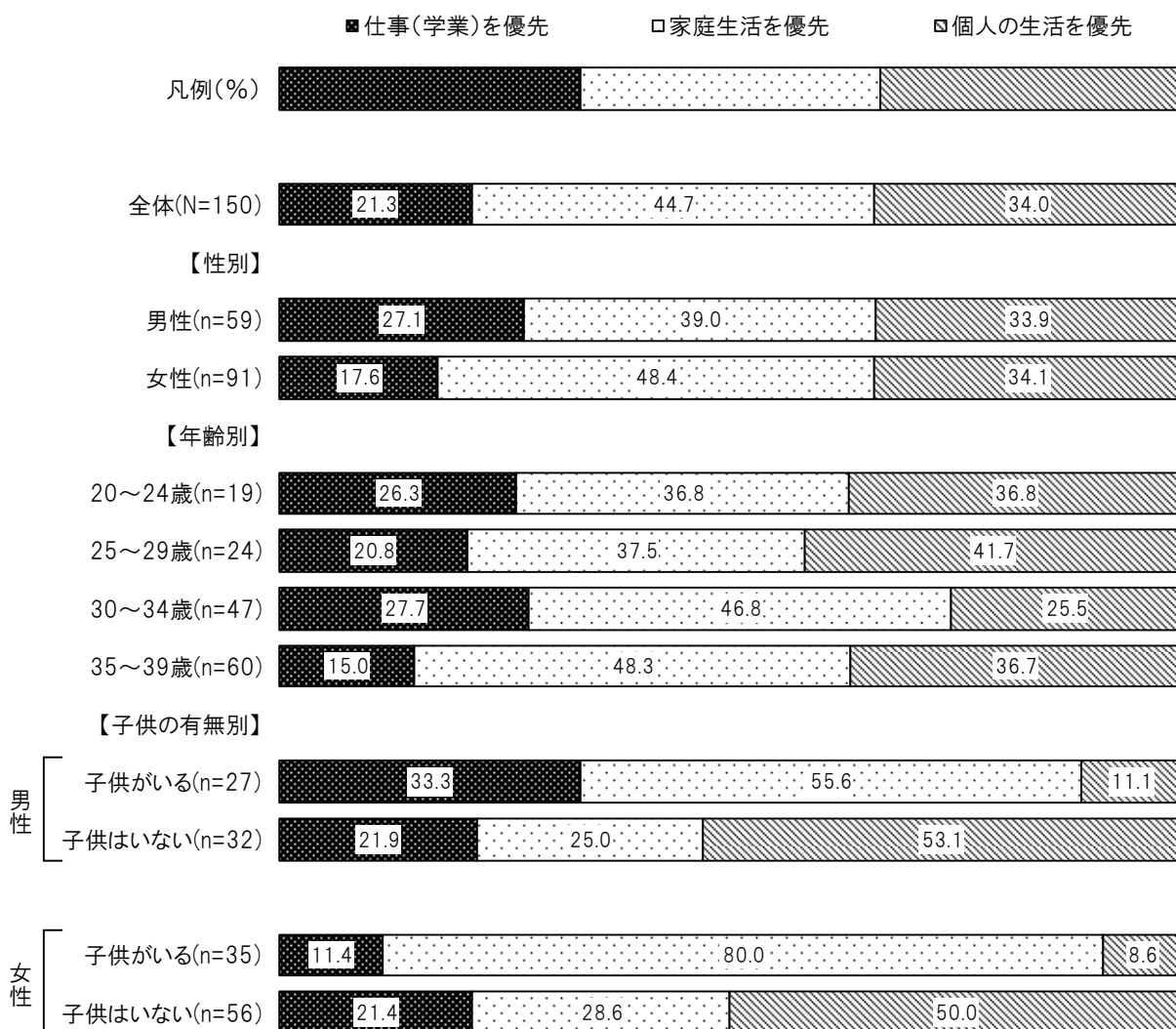
(b) 現実

現実については、「家庭生活を優先」の割合が44.7%と最も高く、次いで「個人の生活を優先」(34.0%)、「仕事(学業)を優先」(21.3%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「仕事(学業)を優先」の割合が高く、女性は「家庭生活を優先」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、30～39歳で「家庭生活を優先」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

子供の有無別でみると、男女共に子供がいる人で「家庭生活を優先」、子供がいない人で「個人の生活を優先」の割合がそれぞれ高くなっている。



【7】社会支援について

1 子供の産み育てやすさ

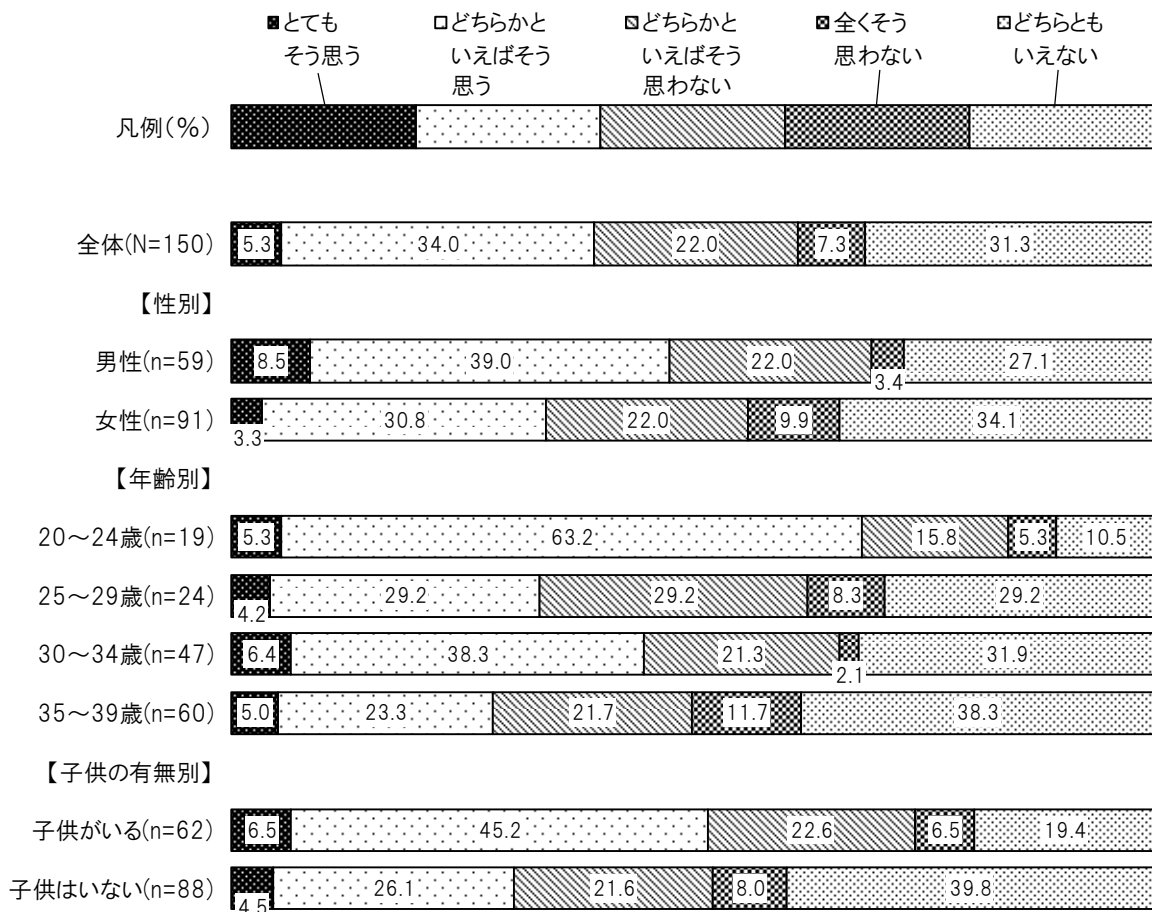
問 87 お住まいの市町は、子供を生み育てやすい市町だと思いますか。（回答は1つ）

子供の産み育てやすさについては、「とてもそう思う」が5.3%、「どちらかといえばそう思う」が34.0%、合計で39.3%が『そう思う』と回答している。一方、「どちらかといえばそう思わない」(22.0%)、「全くそう思わない」(7.3%)の合計は29.3%となっている。

性別では、男性は『そう思う（合計）』の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、20～24歳で『そう思う（合計）』の割合が他の年齢層を大きく上回っている。

子供の有無別でみると、子供がいる人の約半数が『そう思う（合計）』と回答している。

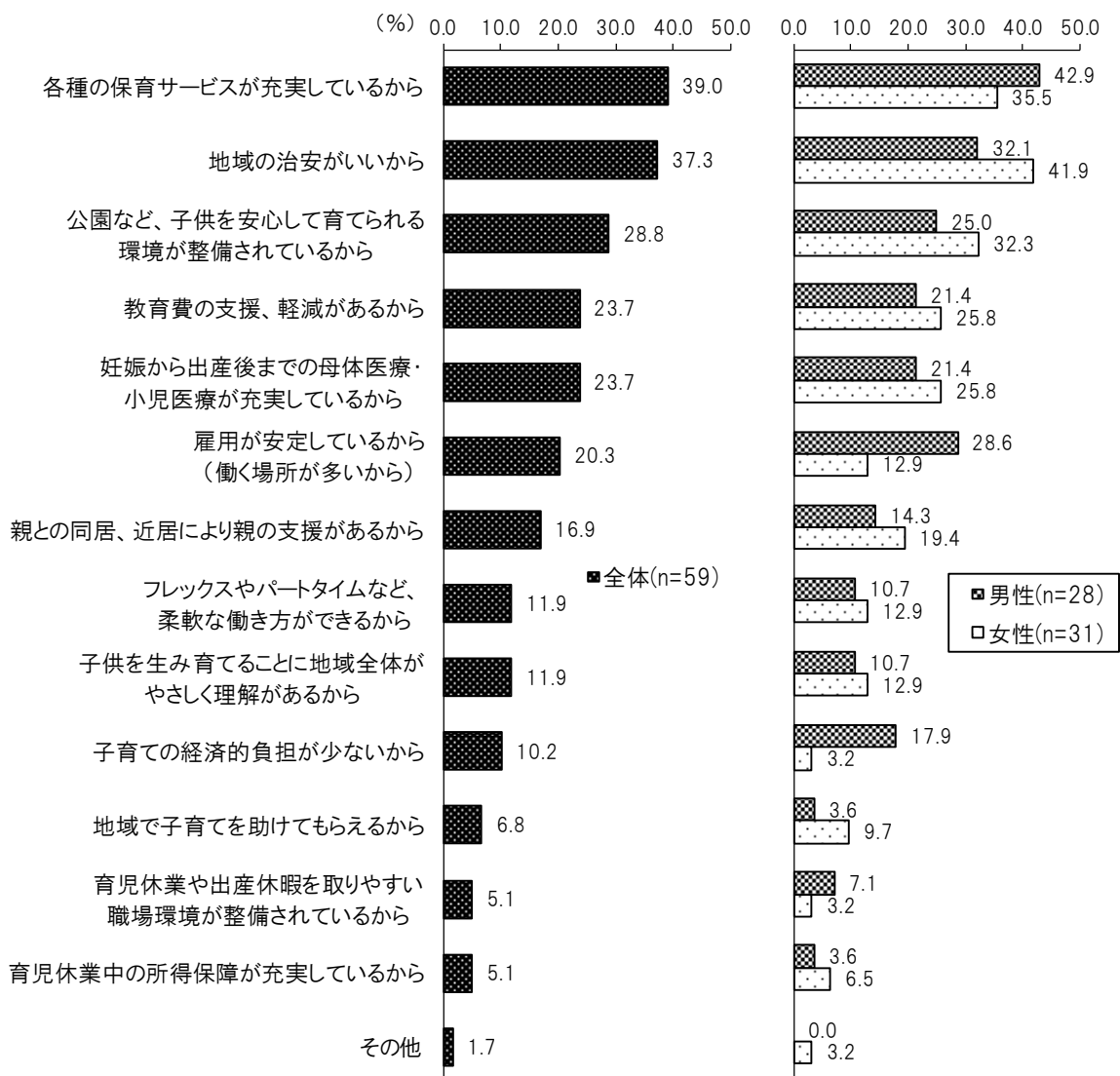


2 子供を生み育てやすいと思う理由

【問 87 で「1～2（そう思う）」と答えた方にお尋ねします。】
 問 88 子供を生み育てやすい市町だと思える理由は何ですか。
 （回答はあてはまるもの全て）

子供を生み育てやすいと思う理由については、「各種の保育サービスが充実しているから」の割合が39.0%と最も高く、次いで「地域の治安がいいから」（37.3%）、「公園など、子供を安心して育てられる環境が整備されているから」（28.8%）、「教育費の支援、軽減があるから」「妊娠から出産後までの母体医療・小児医療が充実しているから」（各23.7%）の順となっている。

性別では、男性は「雇用が安定しているから（働く場所が多いから）」「子育ての経済的負担が少ないから」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「地域の治安がいいから」「公園など、子供を安心して育てられる環境が整備されているから」などの割合が高くなっている。



子供の有無別で見ると、子供がいる人は「雇用が安定しているから（働く場所が多いから）」「親との同居、近居により親の支援があるから」の割合が子供がいない人を大きく上回っている。

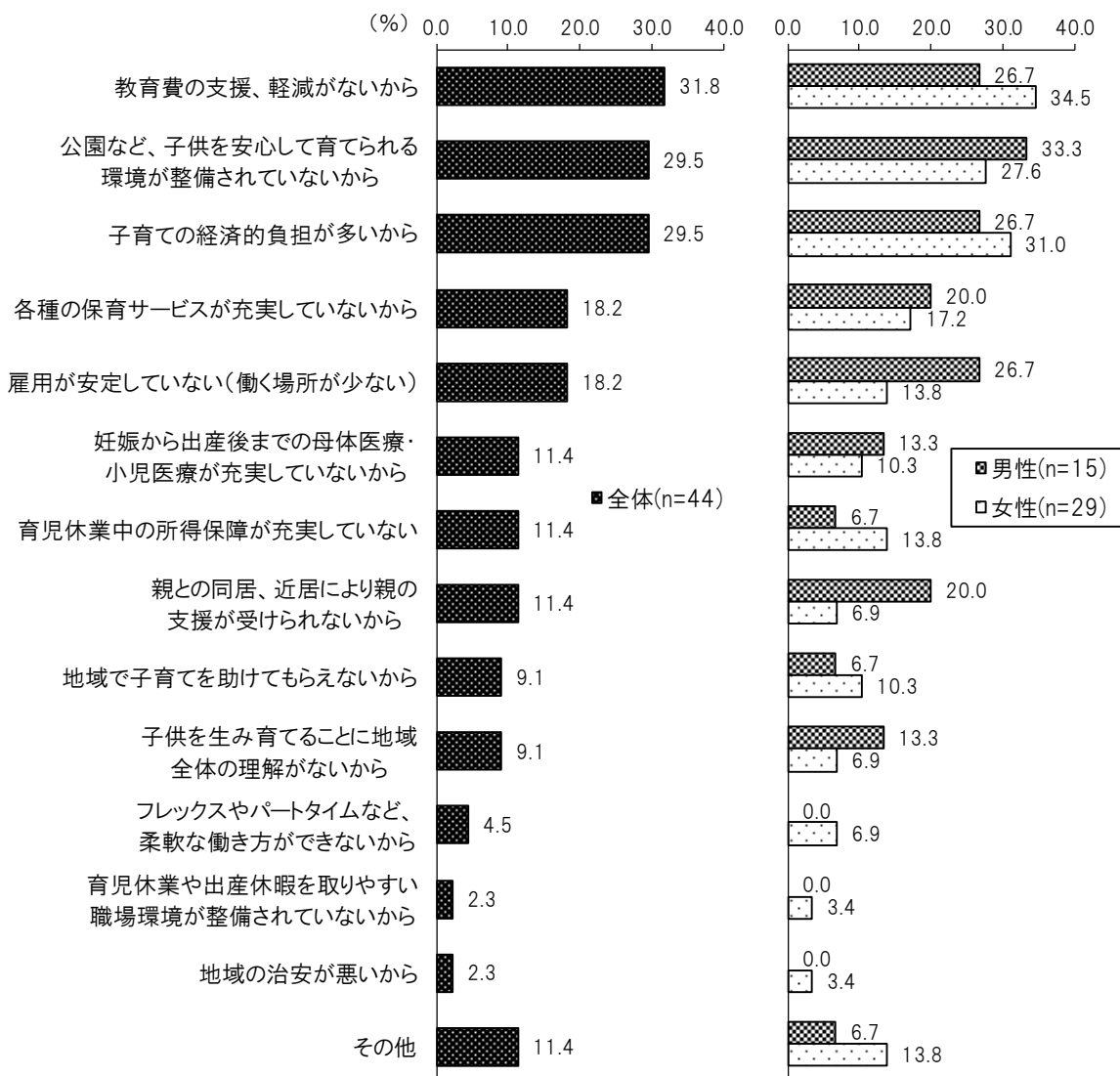
単位 (%)	各種の保育サービスが充実しているから	地域の治安がいいから	公園など、環境が整備されているから	教育費の支援、軽減があるから	妊娠から出産後までの母体医療・小児医療が充実しているから	雇用が安定しているから（働く場所が多いから）	親との同居、近居により親の支援があるから	フレックスやパートタイムなど、柔軟な働き方ができるから	子供を生き育てることに地域全体がやさしく理解があるから	子育ての経済的負担が少ないから	地域で子育てを助けてもらえるから	育児休業や出産休暇を取りやすい職場環境が整備されているから	育児休業中の所得保障が充実しているから	その他
全体(n=59)	39.0	37.3	28.8	23.7	23.7	20.3	16.9	11.9	11.9	10.2	6.8	5.1	5.1	1.7
【子供の有無別】														
子供がいる(n=32)	40.6	37.5	31.3	25.0	25.0	25.0	25.0	12.5	9.4	6.3	9.4	6.3	6.3	3.1
子供はいない(n=27)	37.0	37.0	25.9	22.2	22.2	14.8	7.4	11.1	14.8	14.8	3.7	3.7	3.7	0.0

3 子供を生み育てづらいと思う理由

【問 87 で「3～4（そう思わない）」と答えた方にお尋ねします。】
 問 89 子供を生み育てづらい市町だと思ふ理由は何ですか。
 （回答はあてはまるもの全て）

子供を生み育てづらいと思う理由については、「教育費の支援、軽減がないから」の割合が31.8%と最も高く、次いで「公園など、子供を安心して育てられる環境が整備されていないから」「子育ての経済的負担が多いから」（各29.5%）、「各種の保育サービスが充実していないから」「雇用が安定していない（働く場所が少ない）」（各18.2%）の順となっている。

性別では、男性は「雇用が安定していない（働く場所が少ない）」「親との同居、近居により親の支援が受けられないから」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べて「教育費の支援、軽減がないから」「育児休業中の所得保障が充実していない」などの割合が高くなっている。



子供の有無別で見ると、子供がいる人は「公園など、子供を安心して育てられる環境が整備されていないから」「子育ての経済的負担が多いから」の割合が子供がいない人の割合を大きく上回っている。

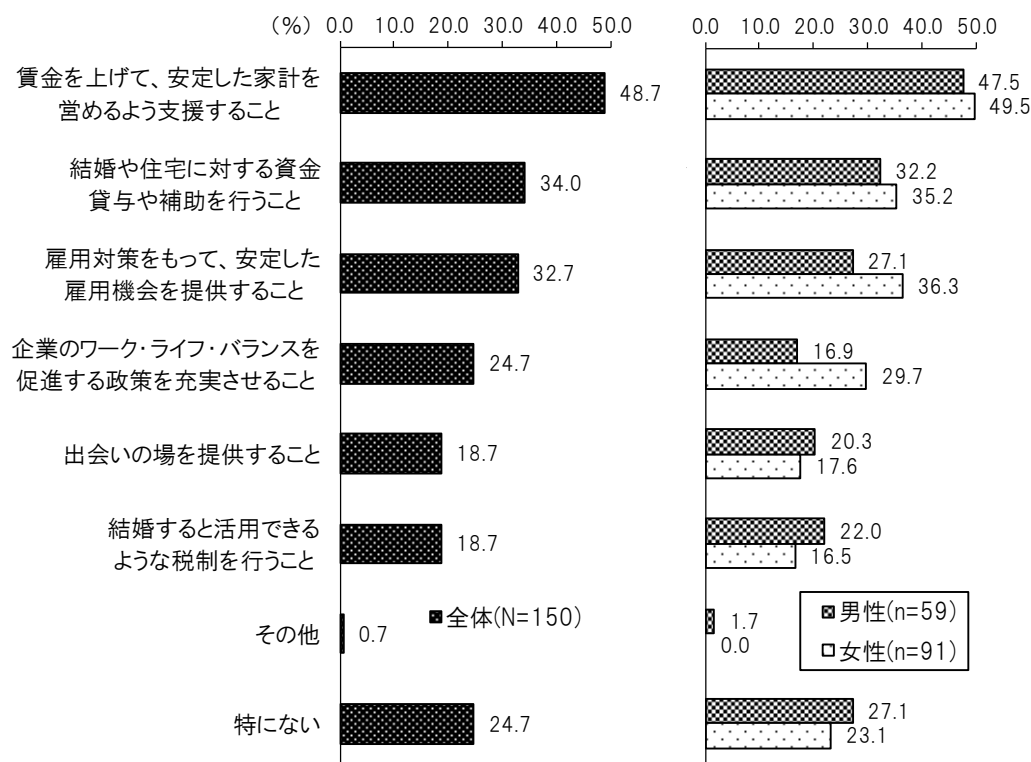
単位 (%)	教育費の支援、軽減がないから	公園など、子供を安心して育てられる環境が整備されていないから	子育ての経済的負担が多いから	各種の保育サービスが充実していないから	雇用が安定していない(働く場所が少ない)	医療が充実していないから	妊娠から出産後までの母体医療・小児	育児休業中の所得保障が充実していない	親との同居、近居により親の支援が受けられないから	地域で子育てを助けてもらえないから	子供を生み育てることに地域全体の理解がないから	フレックスやパートタイムなど、柔軟な働き方ができないから	育児休業や出産休暇を取りやすい職場環境が整備されていないから	地域の治安が悪いから	その他
全体(n=44)	31.8	29.5	29.5	18.2	18.2	11.4	11.4	11.4	11.4	9.1	9.1	4.5	2.3	2.3	11.4
【子供の有無別】															
子供がいる(n=18)	27.8	38.9	50.0	11.1	11.1	11.1	11.1	16.7	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
子供はいない(n=26)	34.6	23.1	15.4	23.1	23.1	11.5	11.5	7.7	15.4	7.7	7.7	3.8	3.8	11.5	

4 結婚を希望する人を支援する施策として重要なこと

問 90 結婚（同棲を含む）を希望する人を支援する施策として何が重要だと思いますか。
（回答はあてはまるもの全て）

結婚を希望する人を支援する施策として重要なことについては、「賃金を上げて、安定した家計を営めるよう支援すること」の割合が48.7%と最も高く、次いで「結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと」（34.0%）、「雇用対策をもって、安定した雇用機会を提供すること」（32.7%）、「企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策を充実させること」（24.7%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べて「雇用対策をもって、安定した雇用機会を提供すること」「企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策を充実させること」の割合が高くなっている。



年齢別では、20～24歳で「結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと」「出会いの場を提供すること」、30～34歳で「賃金を上げて、安定した家計を営めるよう支援すること」「雇用対策をもって、安定した雇用機会を提供すること」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

未既婚別でみると、未婚の場合は既婚に比べて「出会いの場を提供すること」の割合が高く、既婚の場合は未婚に比べて「賃金を上げて、安定した家計を営めるよう支援すること」「結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと」の割合が高くなっている。

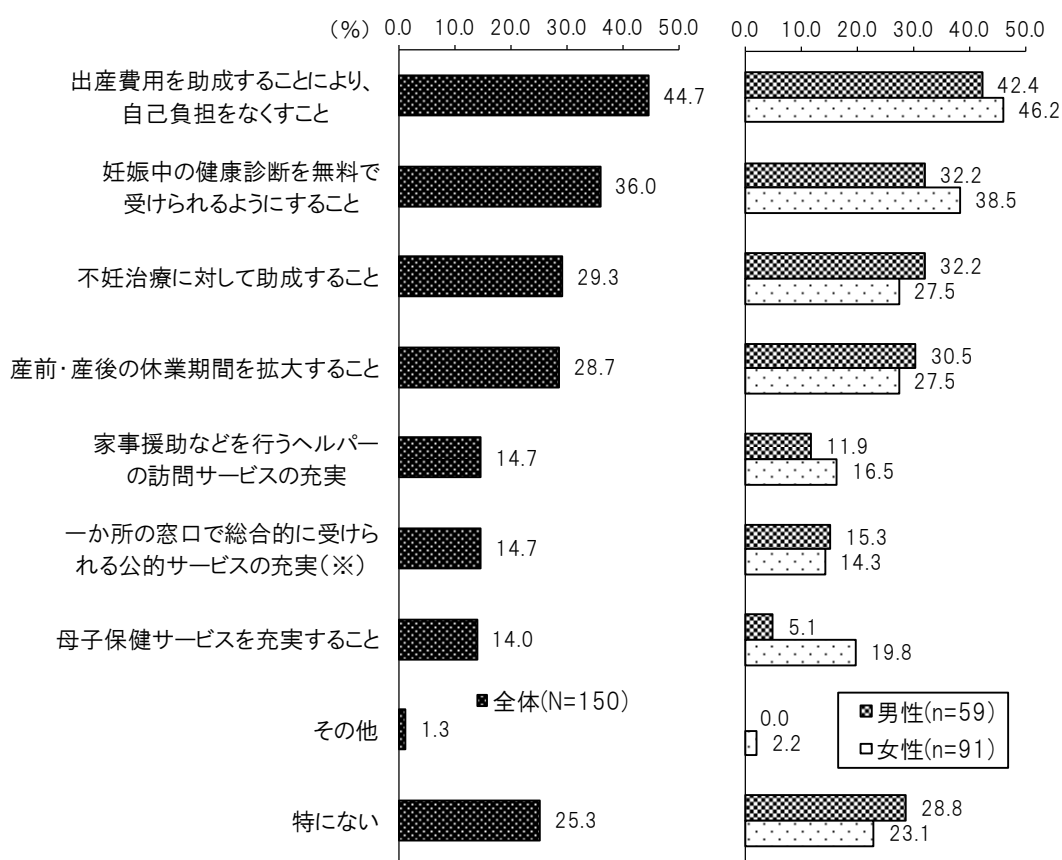
単位 (%)	め賃金を上げて、安定した家計を営めるよう支援すること	助結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと	機会を雇用対策をもって、安定した雇用機会を提供すること	を企業を促進するワーク・ライフ・バランスを充実させること	出会いの場を提供すること	結婚を行うことと活用できるような税制	その他	特になし
全体(N=150)	48.7	34.0	32.7	24.7	18.7	18.7	0.7	24.7
【年齢別】								
20～24歳(n=19)	52.6	47.4	42.1	15.8	31.6	21.1	0.0	10.5
25～29歳(n=24)	45.8	37.5	29.2	25.0	8.3	16.7	4.2	25.0
30～34歳(n=47)	57.4	38.3	46.8	27.7	17.0	21.3	0.0	21.3
35～39歳(n=60)	41.7	25.0	20.0	25.0	20.0	16.7	0.0	31.7
【未既婚別】								
未婚(n=73)	42.5	31.5	31.5	26.0	21.9	19.2	1.4	32.9
既婚(n=77)	54.5	36.4	33.8	23.4	15.6	18.2	0.0	16.9

5 妊娠・出産時の負担を軽減する施策として重要なこと

問 91 妊娠・出産時の身体的・精神的・経済的負担を軽減する施策として何が重要だと思いますか。（回答は3つまで）

妊娠・出産時の負担を軽減する施策として重要なことについては、「出産費用を助成することにより、自己負担をなくすこと」の割合が44.7%と最も高く、次いで「妊娠中の健康診断を無料で受けられるようにすること」（36.0%）、「不妊治療に対して助成すること」（29.3%）、「産前・産後の休業期間を拡大すること」（28.7%）の順となっている。

性別では、女性は「母子保健サービスを充実すること」の割合が男性を大きく上回っている。



※ 妊娠から出産、子育てまでの医療、相談、支援などを、一か所の窓口で総合的に受けられる公的サービスの充実

年齢別では、20～24歳で「出産費用を助成することにより、自己負担をなくすこと」「妊娠中の健康診断を無料で受けられるようにすること」、30～34歳で「不妊治療に対して助成すること」などの割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

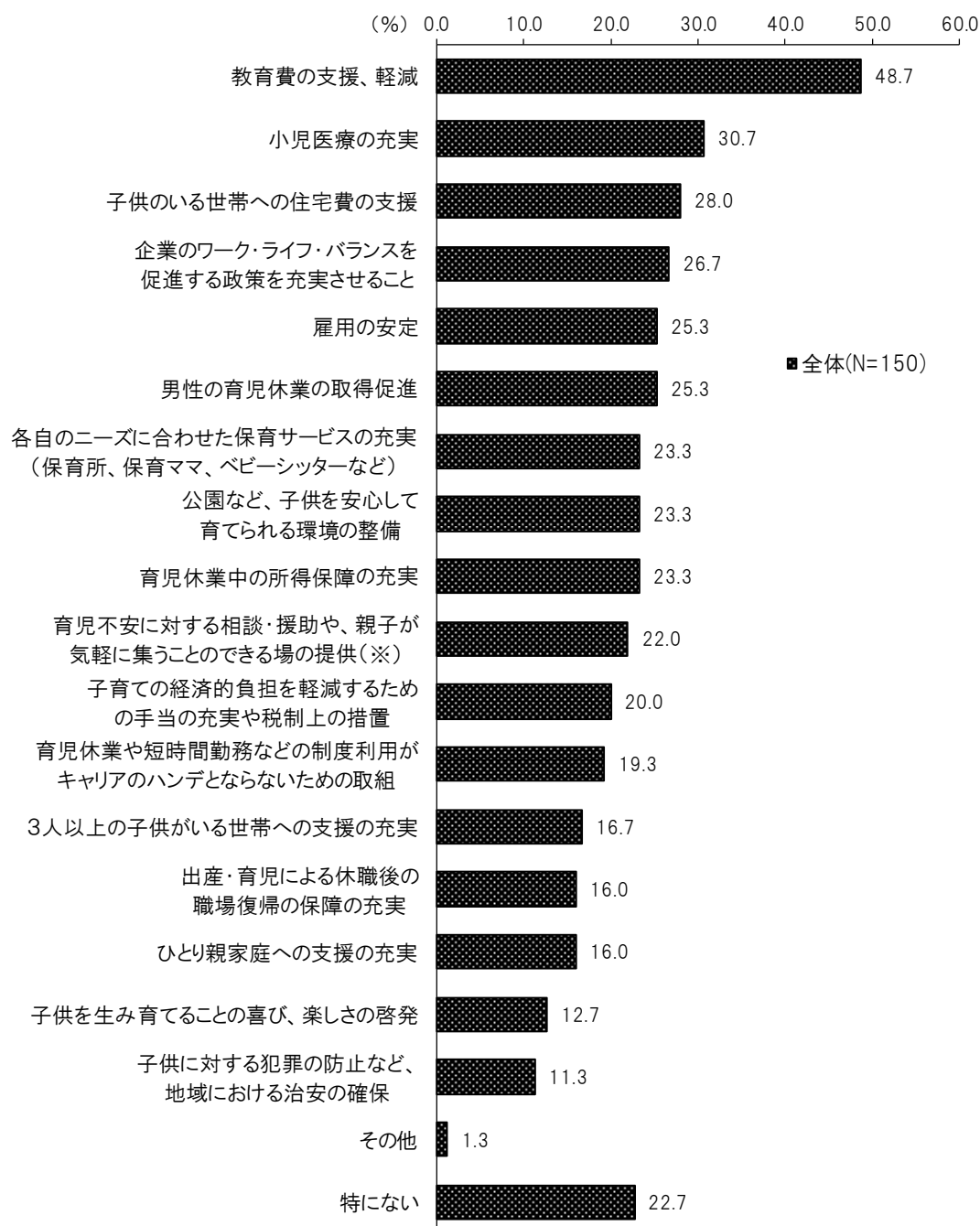
子供の有無別でみると、子供がいる人は「出産費用を助成することにより、自己負担をなくすこと」「不妊治療に対して助成すること」「産前・産後の休業期間を拡大すること」の割合が子供がいない人を大きく上回っている。

単位 (%)	自己負担をなくすこと	妊娠中の健康診断を無料で受けられるようにすること	不妊治療に対して助成すること	産前・産後の休業期間を拡大すること	家事援助などを行うヘルパーの訪問サービスの充実	窓口で総合的に受けられる公的サービスの充実	妊娠から出産、子育てまでの医療、相談、支援などを、一か所の窓口で総合的に受けられる公的サービスの充実	母子保健サービスを充実すること	その他	特になし
全体(N=150)	44.7	36.0	29.3	28.7	14.7	14.7	14.0	1.3	25.3	
【年齢別】										
20～24歳(n=19)	57.9	52.6	26.3	31.6	10.5	5.3	21.1	0.0	15.8	
25～29歳(n=24)	45.8	33.3	25.0	20.8	20.8	16.7	12.5	4.2	25.0	
30～34歳(n=47)	51.1	40.4	38.3	34.0	14.9	21.3	14.9	0.0	17.0	
35～39歳(n=60)	35.0	28.3	25.0	26.7	13.3	11.7	11.7	1.7	35.0	
【子供の有無別】										
子供がいる(n=62)	50.0	37.1	35.5	37.1	16.1	14.5	12.9	1.6	19.4	
子供はいない(n=88)	40.9	35.2	25.0	22.7	13.6	14.8	14.8	1.1	29.5	

6 育児を支援する施策として重要なこと

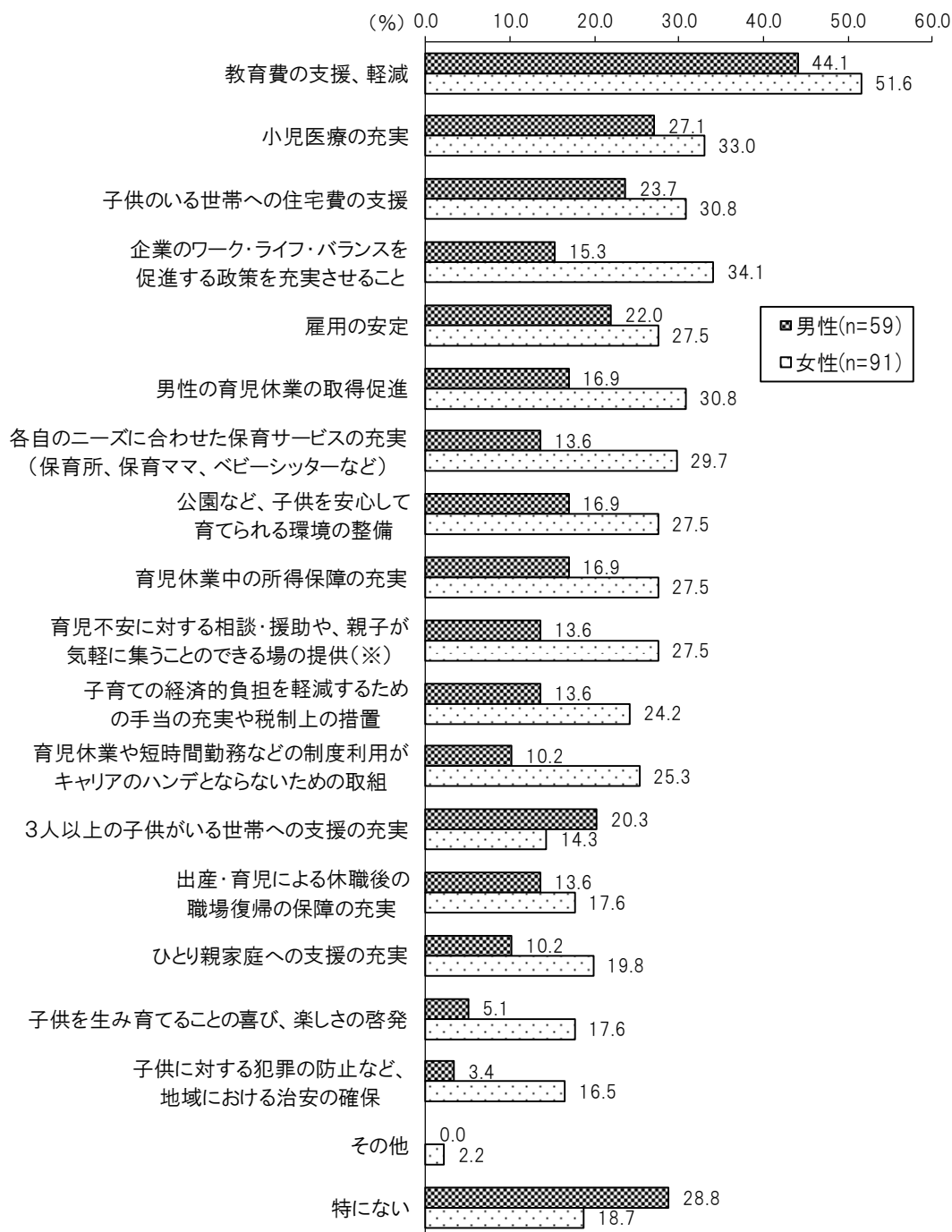
問 92 育児を支援する施策として何が重要だと思いますか。
 (回答はあてはまるもの全て)

育児を支援する施策として重要なことについては、「教育費の支援、軽減」の割合が48.7%と最も高く、次いで「小児医療の充実」(30.7%)、「子供のいる世帯への住宅費の支援」(28.0%)、「企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策を充実させること」(26.7%)、「雇用の安定」「男性の育児休業の取得促進」(各25.3%)の順となっている。



※ 子育て家庭等の育児不安に対する相談・援助や、親子が気軽に集うことのできる場の提供

性別では、女性は「企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策を充実させること」「男性の育児休業の取得促進」「各自のニーズに合わせた保育サービスの充実（保育所、保育ママ、ベビーシッターなど）」「子育て家庭等の育児不安に対する相談・援助や、親子が気軽に集うことのできる場の提供」「育児休業や短時間勤務などの制度利用がキャリアのハンデとならないための取組」などの割合が男性を大きく上回っている。



※ 子育て家庭等の育児不安に対する相談・援助や、親子が気軽に集うことのできる場の提供

子供の有無別でみると、子供がいる人はいない人に比べて「教育費の支援、軽減」「小児医療の充実」「子供のいる世帯への住宅費の支援」「育児休業中の所得保障の充実」「子育ての経済的負担を軽減するための手当の充実や税制上の措置」の割合が高くなっている。

単位 (%)	教育費の支援、軽減	小児医療の充実	子供のいる世帯への住宅費の支援	企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策を充実させること	雇用の安定	男性の育児休業の取得促進	自身のニーズに合わせた保育サービス（保育所、保育ママ、ベビーシッターなど）	公園など、子供を安心して育てられる環境の整備	育児休業中の所得保障の充実	子育て家庭等の育児不安に對する相談・援助や、親子が気軽に集うことができる場の提供
全体(N=150)	48.7	30.7	28.0	26.7	25.3	25.3	23.3	23.3	23.3	22.0
【子供の有無別】										
子供がいる(n=62)	51.6	33.9	38.7	24.2	17.7	24.2	24.2	22.6	27.4	17.7
子供はいない(n=88)	46.6	28.4	20.5	28.4	30.7	26.1	22.7	23.9	20.5	25.0

単位 (%)	子育ての経済的負担を軽減するための措置	育児休業や短時間勤務などの制度利用がしやすい環境の整備	3人以上の子供がいる世帯への支援	出産・育児による退職後の職場復帰の保障の充実	ひとり親家庭への支援の充実	子供を生ま育てることの喜び、楽しさの啓発	子供に対する治安の確保	その他	特になし
全体(N=150)	20.0	19.3	16.7	16.0	16.0	12.7	11.3	1.3	22.7
【子供の有無別】									
子供がいる(n=62)	24.2	17.7	16.1	12.9	12.9	14.5	8.1	3.2	19.4
子供はいない(n=88)	17.0	20.5	17.0	18.2	18.2	11.4	13.6	0.0	25.0

7 子供・子育て支援の財源確保のための負担について

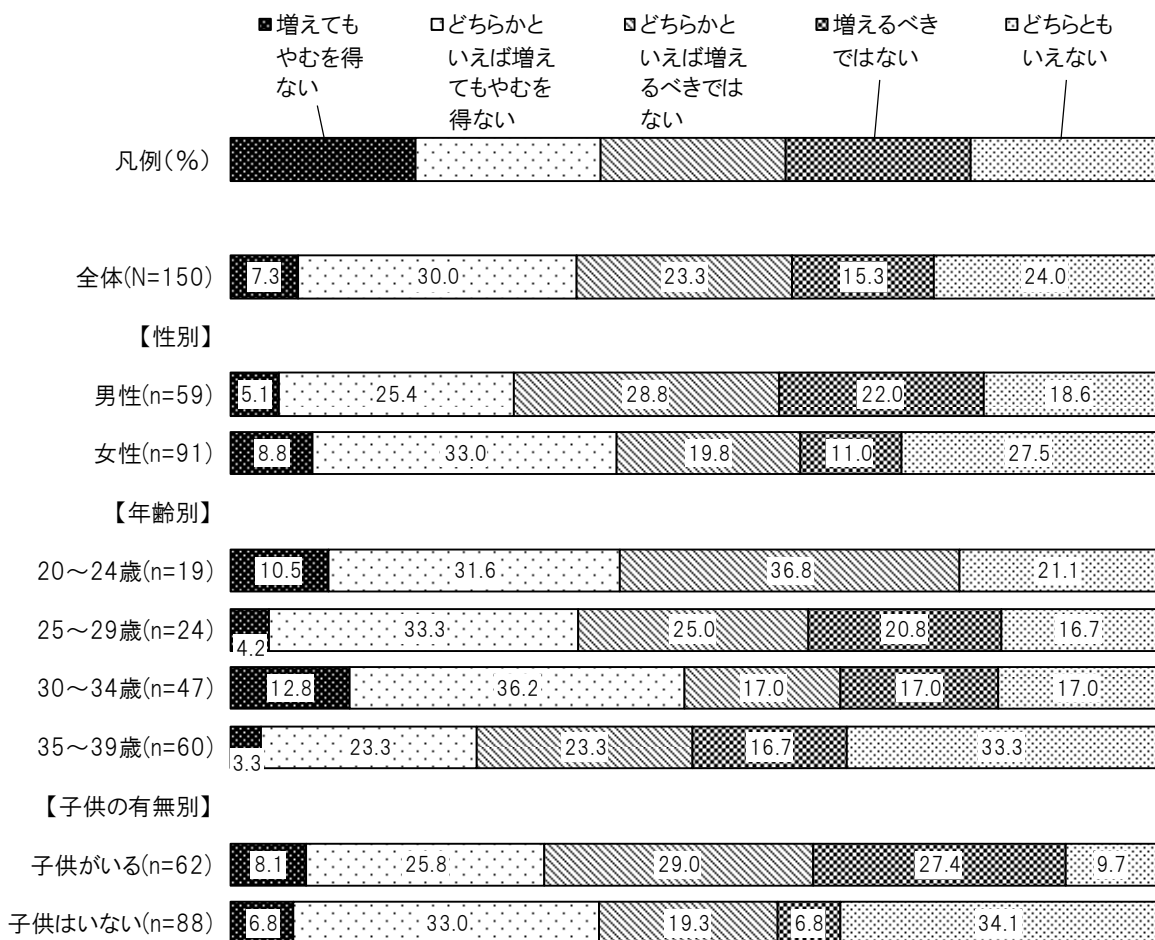
問 93 国や自治体の子供・子育て支援を実施するためには、財源が必要となります。それを確保するための負担について、あなたの考えに近いものを1つだけ選んでください。（回答は1つ）

子供・子育て支援の財源確保のための負担については、「増えてもやむを得ない」が7.3%、「どちらかといえば増えてもやむを得ない」が30.0%、合計で37.3%が『増えてもやむを得ない』と回答している。一方、「どちらかといえば増えるべきではない」(23.3%)、「増えるべきではない」(15.3%)の合計は38.6%となっている。

性別では、男性は女性に比べて『増えるべきではない(合計)』の割合が高く、女性は『増えてもやむを得ない(合計)』の割合が男性を上回っている。

年齢別では、30～34歳で『増えてもやむを得ない(合計)』、35～39歳で「どちらともいえない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

子供の有無別でみると、子供がいる人は『増えるべきではない(合計)』の割合が子供がいない人を大きく上回っている。



【8】生活意識について

1 現在の生活の満足度

問 94 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。（回答は1つ）

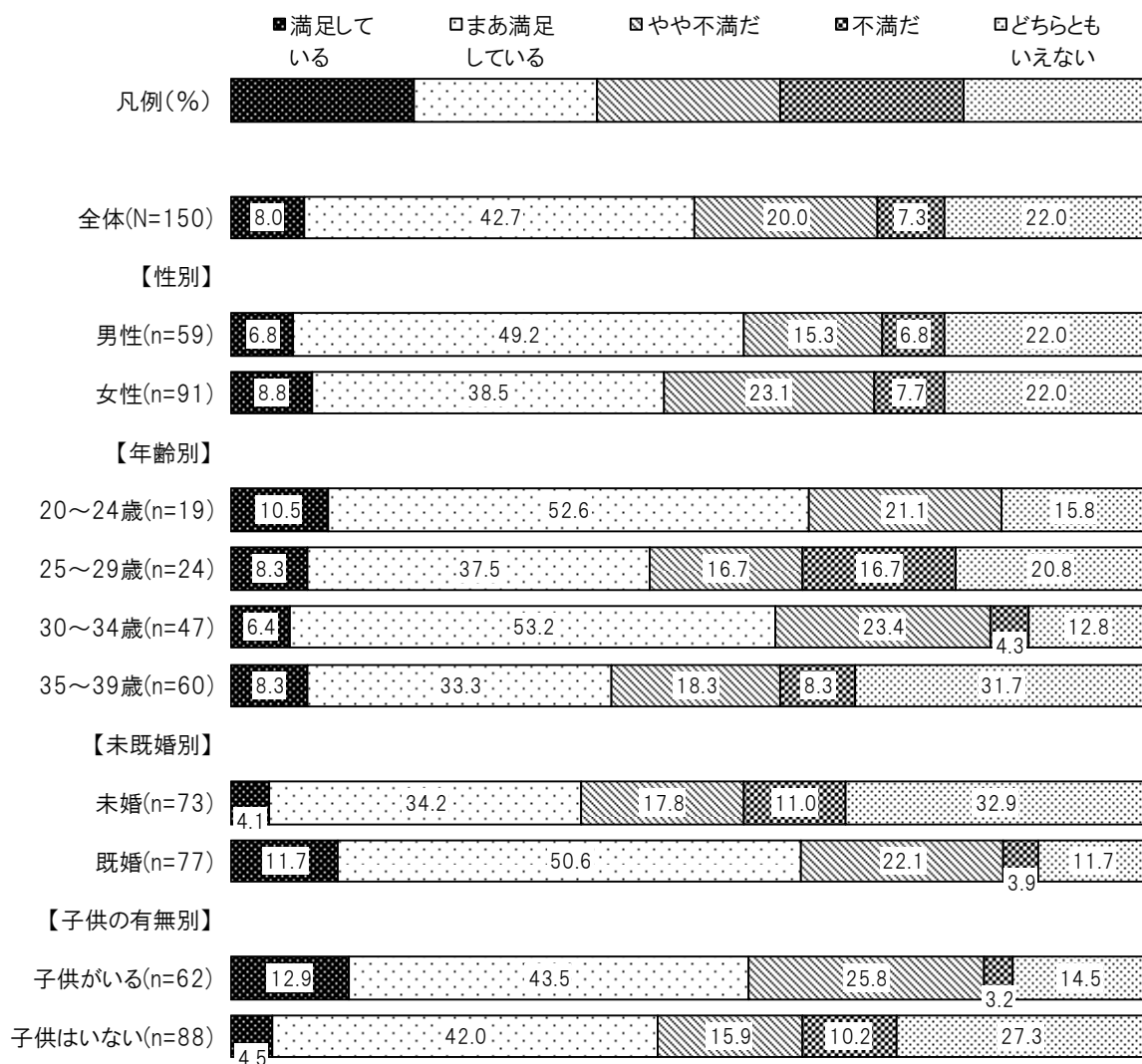
現在の生活の満足度については、「満足している」が8.0%、「まあ満足している」が42.7%、合計で50.7%が『満足している』と回答している。一方、「やや不満だ」（20.0%）、「不満だ」（7.3%）の合計は27.3%となっている。

性別では、男性は女性に比べて『満足している（合計）』の割合が高く、女性は「やや不満だ」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、20～24歳や30～34歳で『満足している（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

未既婚別でみると、既婚の場合は『満足している（合計）』の割合が未婚を大きく上回っている。

子供の有無別では、子供がいる人の半数以上が『満足している（合計）』と回答している。



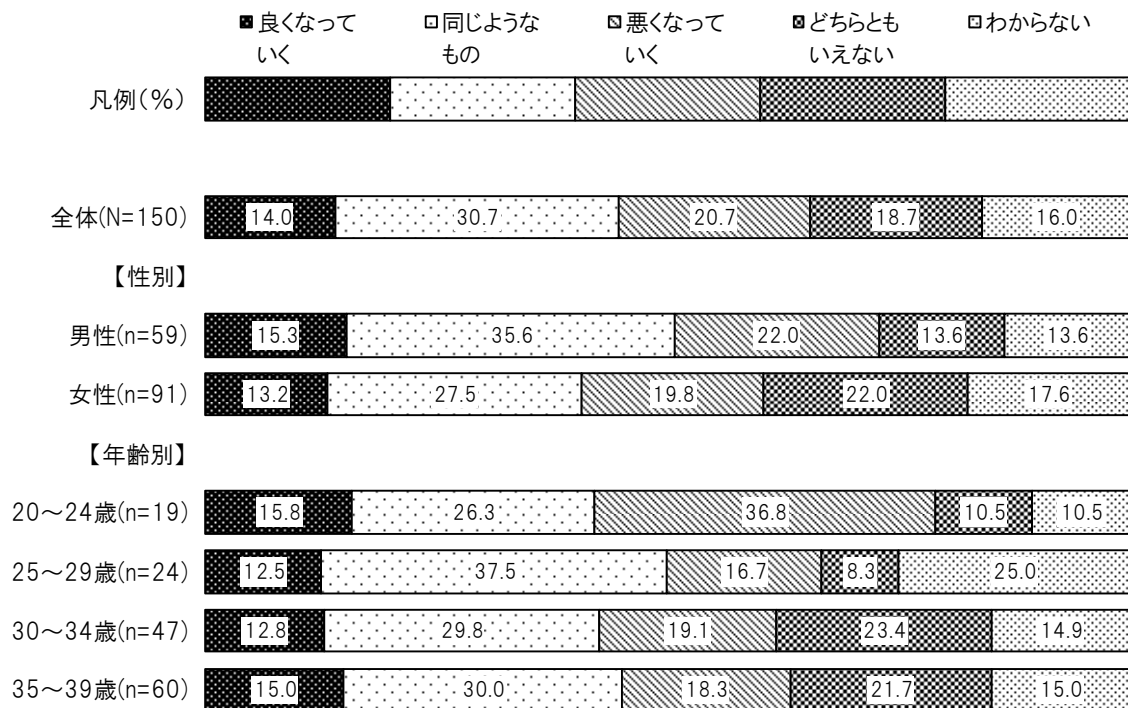
2 今後の生活について

問 95 あなたの生活は、これから先、どうなっていくと思いますか。（回答は1つ）

今後の生活については、「同じようなもの」の割合が30.7%と最も高く、次いで「悪くなっていく」（20.7%）、「どちらともいえない」（18.7%）、「わからない」（16.0%）、「良くなっていく」（14.0%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べて「同じようなもの」の割合が高く、女性は「どちらともいえない」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、20～24歳で「悪くなっていく」、25～29歳で「同じようなもの」、30～39歳で「どちらともいえない」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



資料 調査票

愛媛県 少子化に関する意識調査

● 回答者本人、配偶者・パートナーについて教えてください。

問 あなたが住んでいる市町名を教えてください。（回答は1つ）

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| 1 松山市 | 2 今治市 | 3 宇和島市 | 4 八幡浜市 |
| 5 新居浜市 | 6 西条市 | 7 大洲市 | 8 伊予市 |
| 9 四国中央市 | 10 西予市 | 11 東温市 | 12 上島町 |
| 13 久万高原町 | 14 松前町 | 15 砥部町 | 16 内子町 |
| 17 伊方町 | 18 松野町 | 19 鬼北町 | 20 愛南町 |

問1 あなたの思う、あなたの性別を教えてください。（回答は1つ）

- | | | |
|-----|-----|--------------|
| 1 男 | 2 女 | 3 その他・答えたくない |
|-----|-----|--------------|

問2 あなたの年齢を教えてください。

歳

問3 あなたと一緒に暮らしている人は、あなたを含めて何人ですか。

人

問4 【問3で「2人以上」と答えた方にお尋ねします。】 あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| 1 配偶者・パートナー | 2 子供(養子、お互いの前の配偶者やパートナーとの子供を含む) |
| 3 子供の配偶者 | 5 配偶者の祖父母 |
| 4 孫 | 7 配偶者の父母 |
| 6 父母(養父母を含む) | 9 兄弟姉妹 |
| 8 祖父母 | 11 親族以外の者 |
| 10 その他の親族 | |

問5 あなたの進路状況を教えてください。（回答は1つ）

- 1 中学校で修了
- 2 高校へ進学し修了/在学中
- 3 高校へ進学し、専門学校で修了/在学中
- 4 5年制の高等専門学校へ進学し修了/在学中
- 5 高校へ進学し、短大で修了/在学中
- 6 高校又は5年制の高等専門学校へ進学し、大学で修了/在学中
- 7 高校又は5年制の高等専門学校へ進学し大学進学後、大学院で修了/在学中
- 8 その他

問6 あなたご自身の税込みの収入は、年収（前年）でどのくらいですか。（就業や利子配当のほか、社会保障給付や子供からの仕送りを含みます。）（回答は1つ）

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 収入はなかった | 2 100万円未満 |
| 3 100万円以上200万円未満 | 4 200万円以上300万円未満 |
| 5 300万円以上400万円未満 | 6 400万円以上500万円未満 |
| 7 500万円以上700万円未満 | 8 700万円以上1,000万円未満 |
| 9 1,000万円以上1,500万円未満 | 10 1,500万円以上 |

問7 あなたが学校を卒業して初めて就いたお仕事は次のどれですか。（回答は1つ）

- 1 自営業（個人事業主、フリーランス、家族従業者を含む）
- 2 雇用者（民間企業の正社員）
- 3 雇用者（公務員、公共部門などの正規職員）
- 4 パートタイマー・派遣等の非正規雇用者
- 5 その他の仕事
- 6 家事（自分の家の家事でなく、職業としての家事）
- 7 卒業後、仕事についていない
- 8 在学中なので仕事についていない

問8 【問7で「1～6」と答えた方にお尋ねします。】 あなたの現在（普段）のお仕事は、問7から変更がありますか。（回答は1つ）

- 1 自営業（個人事業主、フリーランス、家族従業者を含む）
- 2 雇用者（民間企業の正社員）
- 3 雇用者（公務員、公共部門などの正規職員）
- 4 パートタイマー・派遣等の非正規雇用者
- 5 その他の仕事
- 6 家事（自分の家の家事ではなく、職業としての家事）
- 7 失業中（求職中）
- 8 学生
- 9 仕事はしていない（家事、失業中（求職中）、学生を除く）
- 10 変更はない

問9 【問7で「1～6」と答えた方にお尋ねします。】 あなたが学校を卒業して初めて就いたお仕事の内容は次のどれですか。（回答は1つ）

- 1 管理的職業（会社・官公庁の課長級以上、経営者、団体役員）
- 2 専門的・技術的職業（医師、教師、税理士、看護師など専門知識を要する仕事）
- 3 事務職
- 4 販売職・サービス職（営業担当者・販売員など）
- 5 保安職（警察官、自衛官、警備員、消防士など）
- 6 農林漁業従事
- 7 生産工程従事
- 8 輸送・機械運転従事
- 9 建設・採掘従事（工場労働者、建設作業員など）
- 10 運搬・清掃・包装等従事
- 11 その他

問10 【問7で「1～5」と答えた方にお尋ねします。】 あなたの現在（普段）のお仕事の内容は問9から変更がありますか。（回答は1つ）

- 1 管理的職業（会社・官公庁の課長級以上、経営者、団体役員）
- 2 専門的・技術的職業（医師、教師、税理士、看護師など専門知識を要する仕事）
- 3 事務職
- 4 販売職・サービス職（営業担当者・販売員など）
- 5 保安職（警察官、自衛官、警備員、消防士など）
- 6 農林漁業従事
- 7 生産工程従事
- 8 輸送・機械運転従事
- 9 建設・採掘従事（工場労働者、建設作業員など）
- 10 運搬・清掃・包装等従事
- 11 その他
- 12 変更はない

問11 【問7で「1～5」と答えた方にお尋ねします。】 あなたの現在（普段）のお仕事では、1週間に平均何時間働いていますか。1週あたりの合計時間でお答えください。

時間

問12 【問7で「1～5」と答えた方にお尋ねします。】 自宅から仕事場までの片道所要時間は分くらいですか。仕事場がいくつかに分かれる方は、一番よく通われる場所についてお答えください。

分

問13 あなたは平日にどのくらいの時間、育児をしていますか。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

分

問14 あなたは休日にどのくらいの時間、育児をしていますか。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

分

問 15 あなたは平日にどのくらいの時間、家事をしていますか。家事には、家や車の修繕・庭の手入れ・芝刈りなどは含めず、炊事、洗濯、掃除のみでお答えください。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

分

問 16 あなたは休日にどのくらいの時間、家事をしていますか。家事には、家や車の修繕・庭の手入れ・芝刈りなどは含めず、炊事、洗濯、掃除のみでお答えください。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

分

問 17 あなたは平日にどのくらいの時間、介護をしていますか。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

分

問 18 あなたは休日にどのくらいの時間、介護をしていますか。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

分

問 19 あなたの配偶者・パートナーが卒業・修了した学校を教えてください。（回答は1つ）

- 1 中学校で修了
- 2 高校へ進学し修了/在学中
- 3 高校へ進学し、専門学校で修了/在学中
- 4 5年制の高等専門学校へ進学し修了/在学中
- 5 高校へ進学し、短大で修了/在学中
- 6 高校又は5年制の高等専門学校へ進学し、大学で修了/在学中
- 7 高校又は5年制の高等専門学校へ進学し大学進学後、大学院で修了/在学中
- 8 配偶者やパートナーはいない
- 9 その他

問 20 【問 19 で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】 あなたの配偶者・パートナーの税込みの収入は、年収（前年）でどのくらいですか。（就業や利子配当のほか、社会保障給付や子供からの仕送りを含みます。）（回答は1つ）

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 収入はなかった | 2 100 万円未満 |
| 3 100 万円以上 200 万円未満 | 4 200 万円以上 300 万円未満 |
| 5 300 万円以上 400 万円未満 | 6 400 万円以上 500 万円未満 |
| 7 500 万円以上 700 万円未満 | 8 700 万円以上 1,000 万円未満 |
| 9 1,000 万円以上 1,500 万円未満 | 10 1,500 万円以上 |

問 21 【問 19 で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】 あなたの配偶者・パートナーのお仕事は次のどれにあてはまりますか。（回答は1つ）

- | |
|------------------------------|
| 1 自営業（個人事業主、フリーランス、家族従業者を含む） |
| 2 雇用者（民間企業の正社員） |
| 3 雇用者（公務員、公共部門などの正規職員） |
| 4 パートタイマー・派遣等の非正規雇用者 |
| 5 その他の仕事 |
| 6 家事（自分の家の家事ではなく、職業としての家事） |
| 7 卒業後、仕事についていない |
| 8 在学中なので仕事についていない |

問 22 【問 21 で「1～6」と答えた方にお尋ねします。】 あなたの配偶者・パートナーのお仕事の内容は次のどれにあてはまりますか。（回答は1つ）

- | |
|--|
| 1 管理的職業（会社・官公庁の課長級以上、経営者、団体役員） |
| 2 専門的・技術的職業（医師、教師、税理士、看護師など専門知識を要する仕事） |
| 3 事務職 |
| 4 販売職・サービス職（営業担当者・販売員など） |
| 5 保安職（警察官、自衛官、警備員、消防士など） |
| 6 農林漁業従事 |
| 7 生産工程従事 |
| 8 輸送・機械運転従事 |
| 9 建設・採掘従事（工場労働者、建設作業員など） |
| 10 運搬・清掃・包装等従事 |
| 11 その他 |

問 23 【問 21 で「1～6」と答えた方にお尋ねします。】 あなたの配偶者・パートナーの現在（普段）のお仕事では、1週間に平均何時間働いていますか。1週あたりの合計時間でお答えください。

時間

問 24 【問 19 で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】 あなたの配偶者・パートナーは平日にどのくらいの時間、育児をしていますか。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

分

問 25 【問 19 で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】 あなたの配偶者・パートナーは休日にどのくらいの時間、育児をしていますか。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

分

問 26 【問 19 で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】 あなたの配偶者・パートナーは平日にどのくらいの時間、家事をしていますか。家事には、家や車の修繕・庭の手入れ・芝刈りなどは含めず、炊事、洗濯、掃除のみでお答えください。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

分

問 27 【問 19 で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】 あなたの配偶者・パートナーは休日にどのくらいの時間、家事をしていますか。家事には、家や車の修繕・庭の手入れ・芝刈りなどは含めず、炊事、洗濯、掃除のみでお答えください。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

分

問 28 【問 19 で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】 あなたの配偶者・パートナーは平日にどのくらいの時間、介護をしていますか。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

分

問 29 【問 19 で「8（配偶者やパートナーはいない）」と答えた方以外にお尋ねします。】 あなたの配偶者・パートナーは休日にどのくらいの時間、介護をしていますか。1日あたりの平均時間を分単位でお答えください。

分

● 交際・恋愛に関するあなたの考えについて、お答えください。

※ 配偶者やパートナーがいらっしゃる方は、ご自身に配偶者・パートナーがいないと「仮定」してお答えください。

問 30 恋愛に関するあなたの考えについて、あてはまるものを全てお選びください。
(回答はあてはまるもの全て)

- 1 恋愛よりも勉強や仕事を優先したい
- 2 恋愛よりも趣味を優先したい
- 3 交際をすると相手との結婚を考える
- 4 それほど好きではない人とも恋愛や交際をしてもかまわない
- 5 いつも恋愛をしていたい
- 6 気になる相手には自分から積極的にアプローチをする
- 7 相手からアプローチがあれば考える
- 8 恋愛することで人生が豊かになる
- 9 恋愛は面倒だと感じる
- 10 恋愛することに自信がない
- 11 恋愛はしたいが、お金がかかる
- 12 その他

問 31 交際相手との出会いを求めるとしたら、どんな機会があるとよいですか。
(回答はあてはまるもの全て)

- 1 友人・知人に紹介を頼む（紹介をうける）
- 2 職場の同僚や先輩・後輩に紹介を頼む（紹介をうける）
- 3 親族等に紹介を頼む（紹介をうける）
- 4 趣味のサークル、資格取得・スキルアップのための学校で知り合う
- 5 合コンやパーティーに行く
- 6 婚活サイトなどのインターネットサイトやSNS、マッチングアプリを利用する
- 7 交際相手を紹介してくれる結婚支援サービスを利用する（有料・無料を問わない）
- 8 自治体が主催する結婚支援サービスを利用する
- 9 その他
- 10 特になし

● 結婚に関するあなたの考えについて、お答えください。

問 32 人生における結婚や同棲の必要性に対する以下のような考え方のうち、あなたの意見にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(回答は1つ)

- 1 結婚は必ずすべきだ
- 2 結婚はした方がよい
- 3 結婚はしなくてもよいが、同棲はした方がよい
- 4 結婚・同棲はしなくてもよいが、恋人はいた方がよい
- 5 結婚・同棲・恋人はいずれも、必ずしも必要ではない

問 33 あなたは結婚していますか。なお、この調査の中で、「結婚」とは法律に基づく結婚のことを指します。(回答は1つ)

- 1 結婚している(現在、配偶者あり)
- 2 結婚していないが、同棲(特定の相手・パートナーと結婚の届け出なしで一緒に生活すること)している
- 3 結婚したことはあるが、今はそうではない(離婚又は死別した)
- 4 結婚も同棲もしていない

問 34 【問 33 で「1」「3」と答えた方にお尋ねします。】あなたが最初に結婚をしたのは何歳の時ですか。

歳

問 35 【問 33 で「1」「3」「4」と答えた方にお尋ねします。】あなたは結婚していない相手と、同棲をしたことがありますか。(回答は1つ)

- 1 同棲したことがある(している)
- 2 同棲したことはない

問 36 【問 33 で「2」又は問 35 で「1」と答えた方にお尋ねします。】あなたが最初に同棲を始めたのは何歳の時ですか。

歳

問 37 【問 33 で「4」と答えた方にお尋ねします。】あなたには現在、親しい間柄の恋人又は結婚を約束した婚約者がいますか。(回答は1つ)

- 1 現在、婚約者がいる
- 2 現在、恋人がいる
- 3 現在はいないが、過去にはいた
- 4 恋人との交際経験はない

問 38 【問 33 で「1」と答えた方以外にお尋ねします。】 現在結婚していない理由を、次の中から選ぶとすればどれですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 結婚するにはまだ若すぎるから | 2 結婚する必要性を感じないから |
| 3 同棲のままで十分だから | 4 今は、仕事（又は学業）に打ち込みたいから |
| 5 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから | 6 独身の自由さや気楽さを失いたくないから |
| 7 適当な相手にまだ巡り会わないから | 8 異性とうまく付き合えないから |
| 9 経済的に余裕がないから | 10 結婚生活のための住居のめどがたたないから |
| 11 親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から | 12 一生、結婚するつもりはないから |
| 13 その他 | 14 特にない |

問 39 あなたが、結婚生活において不安に感じることは何ですか。同棲している方は、パートナーとの生活についてお答えください。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| 1 二人の相性 | 2 二人の間で起こる問題の解決 |
| 3 お互いの親族との付き合い | 4 お互いの親の介護 |
| 5 お互いの前の配偶者やパートナーとの
子供への向き合い方 | 6 結婚生活にかかるお金 |
| 8 自分の自由の制約 | 7 雇用が安定していない |
| 10 子供の教育 | 9 子供の育て方 |
| 12 その他 | 11 子供ができない可能性 |
| | 13 特にない |

問 40 結婚や家族の在り方について、あなたが親として、自分の子供に成人までに伝えたいと思うことはありますか。自分の子供がいない場合は、いると仮定してお答えください。
（回答はあてはまるもの全て）

- | |
|--|
| 1 成人したら早く親元から自立する方がよい |
| 2 恋愛や交際の経験は大切だ |
| 3 1人で暮らすよりも配偶者やパートナーがいた方がよい |
| 4 子供がいると生活が楽しく豊かになる |
| 5 子供を持つ時期は早い方がよい |
| 6 男性は家事や育児に積極的に参加すべきである |
| 7 女性は結婚・出産した後も仕事をすべきである |
| 8 将来を考えてお金を管理することは大切だ |
| 9 結婚や子供を持つ年齢、子供の成長などを考えて人生設計を立てることは大切だ |
| 10 定時に仕事を終わらせて、家族との時間を大切にすることが望ましい |
| 11 その他 |
| 12 特にない |

問 41 結婚相手・パートナーを見つけるために、自治体がマッチングシステムを活用した支援を行うことについて、どのように感じますか。（回答は1つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 抵抗感が全くない | 2 抵抗感があまりない |
| 3 抵抗感が少しある | 4 抵抗感が大いにある |
| 5 どちらともいえない | |

問 42 【問 41 で「3～4」と答えた方にお尋ねします。】結婚相手・パートナーを見つけるために、自治体がマッチングシステムを活用した支援を行うことに抵抗感がある理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | |
|--|
| 1 自治体による支援では、個人情報の漏えいに不安があるから |
| 2 自治体による支援では、第三者にプライベートな情報を公開することに不安があるから |
| 3 自治体による支援では、希望する相手と出会えないと思うから |
| 4 自治体による支援は、費用や支援内容がよくわからないから |
| 5 自治体による支援には抵抗感はないが、マッチングシステムでは個人情報の漏えいに不安があるから |
| 6 自治体による支援には抵抗感はないが、マッチングシステムで第三者にプライベートな情報を公開することに不安があるから |
| 7 自治体による支援には抵抗感はないが、マッチングシステムでは希望する相手と出会えないと思うから |
| 8 その他 |

● 出産に関するあなたの考えについて、お答えください。

問 43 あなたは、全部で何人の子供が欲しいですか。既にお子さんがいる場合には、そのお子さんも含めてお答えください。（回答は1つ）

- | | | | |
|------|--------|------|------|
| 1 0人 | 2 1人 | 3 2人 | 4 3人 |
| 5 4人 | 6 5人以上 | | |

問 44 実際のあなたのお子さん（養子を含む）の数は何人ですか。（回答は1つ）

- | | | | |
|------|--------|------|------|
| 1 0人 | 2 1人 | 3 2人 | 4 3人 |
| 5 4人 | 6 5人以上 | | |

問 45 【問 44 で「2」と答えた方にお尋ねします。】お子さんの年齢はおいくつですか。

<input type="text"/>	歳
----------------------	---

問 46 【問 44 で「3～6」と答えた方にお尋ねします。】 一番上のお子さんの年齢はおいくつですか。

歳

問 47 【問 44 で「3～6」と答えた方にお尋ねします。】 一番下のお子さんの年齢はおいくつですか。

歳

問 48 あなたは、今よりも、子供を増やしたいと思いますか。（回答は1つ）

- 1 希望する子供の数になるまで子供を増やしたい
- 2 今よりも子供は増やすが、希望する子供の数になるまでは増やさない、又は、増やせない
- 3 今よりも子供は増やさない、又は、増やせない
- 4 その他

問 49 【問 48 で「2～3」と答えた方にお尋ねします。】 希望する数まで子供を増やさない、又は、増やせない理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- 1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
- 2 保育サービスが整っていないから
- 3 雇用が安定しないから
- 4 働きながら子育てができる職場環境がないから
- 5 自分の昇進・昇格に差し支えるから
- 6 家が狭いから
- 7 子供がのびのび育つ社会環境でないから
- 8 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- 9 自分又は配偶者・パートナーが高年齢で、産むのが嫌だから
- 10 これ以上、自分又は配偶者・パートナーが育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
- 11 妊娠・出産のときの身体的・精神的な苦痛が嫌だから
- 12 健康上の理由から
- 13 欲しいけれども妊娠しないから
- 14 配偶者・パートナーの家事・育児への協力が得られないから
- 15 配偶者・パートナーが望まないから
- 16 その他
- 17 特にない

問 50 あなたは、自分の子供を持つことに対して、どのように考えていますか。既にお子さんがいらっしゃる方は、子供を持つ前にどのように考えていたかということについてお答えください。
(回答は3つまで)

- 1 子供を持つことは自然なことである
- 2 自分の子孫を残すことができる
- 3 子供を持つことで周囲から認められる
- 4 子供がいると生活が楽しく豊かになる
- 5 子供は老後の支えになる
- 6 子供は将来の社会の担い手となる
- 7 子供は夫婦関係を安定させる
- 8 好きな人の子供を持ちたいから、子供を持つ
- 9 配偶者・パートナーや親など周囲が望むから、子供を持つ
- 10 自分の家の家名を残すことができる
- 11 自分の自由な時間が制約される
- 12 経済的な負担が増える
- 13 身体的・精神的な負担が重くなる
- 14 特にない
- 15 その他

問 51 愛媛県は、子供を持つことを希望しながら、希望する時期に妊娠できない時、不妊治療を受けやすい環境だと思いますか。(回答は1つ)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 5 そう思わない | |

問 52 【問 51 で「4～5」と答えた方にお尋ねします。】 不妊治療を受けやすい環境だと思わないのはなぜですか。(回答はあてはまるもの全て)

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1 治療費の負担が大きいから | 2 仕事に影響するから |
| 3 心理的に抵抗があるから | 4 周囲の人から反対されるから |
| 5 身体的な負担が大きいから | 6 不妊治療を実施している医療機関が周囲にないから |
| 7 不妊治療に関する情報が少ないから | 9 その他 |
| 8 不妊治療の効果が小さいから | |

問 53 「将来、自分が子供を持つのか持たないのか」といった観点からの人生設計(ライフプラン)について、あなたはどの程度考えたことがありますか。(回答は1つ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 よく考えたことがある | 2 少し考えたことがある |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり考えたことがない |
| 5 まったく考えたことがない | |

● 育児に関するあなたの考えについて、お答えください。

問 54 あなたは、子育てに楽しさを感じる 때가 多いですか、それとも つらさを感じる 때가 多いですか。（お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。）（回答は1つ）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 楽しさを感じる 때가 かなり多い | 2 楽しさを感じる 때가 やや多い |
| 3 つらさを感じる 때가 やや多い | 4 つらさを感じる 때가 かなり多い |
| 5 どちらともいえない | |

問 55 あなたが、子育てをしていて、良かったと思うことは何ですか。（お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。）（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 家庭が明るくなる | 2 身近な人が子供と接して喜ぶ |
| 3 生活にはりあいができる | 4 子育てを通じて友人ができる |
| 5 子育てを通じて自分の視野が広がる | 6 子育てを通じて自分も精神的に成長する |
| 7 夫婦の愛情がより深まる | 8 良いと思うことは特にない・わからない |
| 9 その他 | |

問 56 あなたが、子育てをしていて、自分にとって負担に思うことはどんなことですか。（お子さんがいない方は、仮にご自分が子育てをする場合を想定して選んでください。）（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1 子育てによる身体の疲れが大きい | 2 子育てによる精神的疲れが大きい |
| 3 子育てに出費がかさむ | 4 自分の自由な時間が持てない |
| 5 夫婦で楽しむ時間がない | 6 仕事が十分にできない |
| 7 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない | 8 子供が病気のとき |
| 10 その他 | 9 負担に思うことは特にない・わからない |

問 57 小学校入学前の子供の育児における夫・妻の役割について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。（回答は1つ）

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 もっぱら妻が行う | 2 主に妻が行うが、夫も手伝う |
| 3 妻も夫も同じように行う | 4 主に夫が行うが、妻も手伝う |
| 5 もっぱら夫が行う | 6 どちらともいえない |
| 7 わからない | |

問 58 【問1で「1（男性）」及び問44で「2～6」と答えた方にお尋ねします。】 小学校入学前の育児について、あなたのご家庭で、あなたご自身が配偶者・パートナーと同程度、あるいはあなたご自身が主として行いたい（行いたかった）ことは何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1 食事の世話をする | 2 おむつを取り換える |
| 3 入浴させる | 4 寝かしつける |
| 5 家の中で、話や遊び相手をする | 6 散歩など、屋外へ遊びに連れて行く |
| 7 日常生活上のしつけ | 8 保育所・幼稚園（日中預けている場所）の送り迎え |
| 9 ベビーシッター等の手配・交渉 | 11 配偶者・パートナーはいない（いなかった） |
| 10 行いたい（行いたかった）ことはない | |
| 12 その他 | |

問 59 【問1で「2（女性）」及び問44で「2～6」と答えた方にお尋ねします。】 小学校入学前の育児について、あなたのご家庭で、あなたご自身が配偶者・パートナーと同程度、あるいはあなたご自身が主として行いたい（行いたかった）ことは何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1 食事の世話をする | 2 おむつを取り換える |
| 3 入浴させる | 4 寝かしつける |
| 5 家の中で、話や遊び相手をする | 6 散歩など、屋外へ遊びに連れて行く |
| 7 日常生活上のしつけ | 8 保育所・幼稚園（日中預けている場所）の送り迎え |
| 9 ベビーシッター等の手配・交渉 | 11 配偶者・パートナーはいない（いなかった） |
| 10 行いたい（行いたかった）ことはない | |
| 12 その他 | |

問 60 【問1で「1（男性）」及び問44で「2～6」と答えた方にお尋ねします。】 小学校入学前の育児について、あなたのご家庭で、配偶者・パートナーがあなたご自身と同程度、あるいは配偶者・パートナーが主として行ってほしい（行ってほしかった）ことは何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1 食事の世話をする | 2 おむつを取り換える |
| 3 入浴させる | 4 寝かしつける |
| 5 家の中で、話や遊び相手をする | 6 散歩など、屋外へ遊びに連れて行く |
| 7 日常生活上のしつけ | 8 保育所・幼稚園（日中預けている場所）の送り迎え |
| 9 ベビーシッター等の手配・交渉 | 11 配偶者・パートナーはいない（いなかった） |
| 10 行ってほしいことはない | |
| 12 その他 | |

問 61 【問1で「2（女性）」及び問44で「2～6」と答えた方にお尋ねします。】 小学校入学前の育児について、あなたのご家庭で、配偶者・パートナーがあなたご自身と同程度、あるいは配偶者・パートナーが主として行ってほしい（行ってほしかった）ことは何ですか。

（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1 食事の世話をする | 2 おむつを取り換える |
| 3 入浴させる | 4 寝かしつける |
| 5 家の中で、話や遊び相手をする | 6 散歩など、屋外へ遊びに連れて行く |
| 7 日常生活上のしつけ | 8 保育所・幼稚園（日中預けている場所）の送り迎え |
| 9 ベビーシッター等の手配・交渉 | 11 配偶者・パートナーはいない（いなかった） |
| 10 行ってほしいことはない | |
| 12 その他 | |

問 62 【問44で「2～6」と答えた方にお尋ねします。】 小学校入学前の育児について、普段、子供を世話するのは誰ですか（誰でしたか）。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 自分自身 | 2 配偶者（パートナーを含む） |
| 3 保育所（認可以外の保育所、保育園等を含む） | 4 保育ママ・ベビーシッター |
| 5 勤め先にある保育施設 | 6 幼稚園 |
| 7 自分の親又は配偶者の親 | 8 自分のきょうだい又は配偶者のきょうだい |
| 9 近所の人 | 10 友人 |
| 11 その他 | 12 配偶者・パートナーはいない（いなかった） |

問 63 【問44で「2～6」と答えた方にお尋ねします。】 小学校入学前の育児について、突然の用事のために子供の世話をすることができないとき、誰に援助を頼みますか（頼みましたか）。

（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 配偶者（パートナーを含む） | 2 保育所（認可以外の保育所、保育園等を含む） |
| 3 保育ママ・ベビーシッター | 4 勤め先にある保育施設 |
| 5 幼稚園 | 6 自分の親又は配偶者の親 |
| 7 自分のきょうだい又は配偶者のきょうだい | 8 近所の人 |
| 9 友人 | 10 誰にも頼んでいない（頼んでいなかった） |
| 11 その他 | |

問 64 【問1で「1（男性）」及び問44で「2～6」と答えた方にお尋ねします。】 一番下のお子さんが生まれたときのことを教えてください。あなたは出産・育児に関する休暇を取りたかったですか。（回答は1つ）

※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。

※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

- | | |
|-------------------|------------|
| 1 取りたかった | 2 取りたくなかった |
| 3 その当時は仕事をしていなかった | 4 わからない |

問 65 【問1で「2（女性）」及び問44で「2～6」と答えた方にお尋ねします。】 一番下のお子さんが生まれたときのことを教えてください。あなたの配偶者・パートナーに出産・育児に関する休暇を取ってもらいたかったですか。（回答は1つ）

※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。

※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1 取ってもらいたかった | 2 取ってもらいたくなかった |
| 3 その当時は配偶者・パートナーが仕事をしていなかった | 4 わからない |

問 66 【問64で「1」と答えた方にお尋ねします。】 一番下のお子さんが生まれたときのことを教えてください。どのくらいの期間、出産・育児に関する休暇を取りたかったですか。（回答は1つ）

※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。

※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 2週間未満 | 2 2週間以上1か月未満 |
| 3 1か月以上3か月未満 | 4 3か月以上6か月未満 |
| 5 6か月以上1年未満 | 6 1年以上 |
| 7 わからない | |

問 67 【問65で「1」と答えた方にお尋ねします。】 一番下のお子さんが生まれたときのことを教えてください。どのくらいの期間、あなたの配偶者・パートナーに出産・育児に関する休暇を取ってもらいたかったですか。（回答は1つ）

※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。

※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 2週間未満 | 2 2週間以上1か月未満 |
| 3 1か月以上3か月未満 | 4 3か月以上6か月未満 |
| 5 6か月以上1年未満 | 6 1年以上 |
| 7 わからない | |

問 68 【問1で「1（男性）」及び問44で「2～6」と答えた方にお尋ねします。】 直近のお子さんが生まれた時、あなたは実際に出産・育児に関する休暇を取りましたか。（回答は1つ）
※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。
※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

- | | |
|-------------------|----------|
| 1 取った | 2 取らなかった |
| 3 その当時は仕事をしていなかった | 4 わからない |

問 69 【問1で「2（女性）」及び問44で「2～6」と答えた方にお尋ねします。】 直近のお子さんが生まれた時、あなたの配偶者・パートナーは実際に出産・育児に関する休暇を取りましたか。（回答は1つ）
※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。
※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1 取った | 2 取らなかった |
| 3 その当時は配偶者・パートナーが仕事をしていなかった | 4 わからない |

問 70 【問68で「1」と答えた方にお尋ねします。】 直近のお子さんが生まれた時、あなたはどのくらいの期間、出産・育児に関する休暇を取りましたか。（回答は1つ）
※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。
※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 2週間未満 | 2 2週間以上1か月未満 |
| 3 1か月以上3か月未満 | 4 3か月以上6か月未満 |
| 5 6か月以上1年未満 | 6 1年以上 |
| 7 わからない | |

問 71 【問69で「1」と答えた方にお尋ねします。】 直近のお子さんが生まれた時、あなたの配偶者・パートナーは、どのくらいの期間、出産・育児に関する休暇を取りましたか。（回答は1つ）
※ お子さんが一人の方はそのお子さんが生まれたときのことをお答えください。
※ 直接お子さんを産んでいない方は、「わからない」をお選びください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 2週間未満 | 2 2週間以上1か月未満 |
| 3 1か月以上3か月未満 | 4 3か月以上6か月未満 |
| 5 6か月以上1年未満 | 6 1年以上 |
| 7 わからない | |

問 72 【問 68 で「2」と答えた方にお尋ねします。】 出産・育児に関する休暇を取らなかった理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- 1 出産・育児に関する休暇制度がなかったから
- 2 出産・育児に関する休暇制度は存在したが、対象外だったから
- 3 出産・育児に関する休暇制度があると知らなかったから
- 4 有給休暇など、別の休暇で対応できたから
- 5 業務が繁忙で休むことが難しかったから
- 6 上司・同僚の理解が得られなかったから
- 7 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がありそうだったから
- 8 休むことによる、減収が懸念されたから
- 9 自宅での仕事（在宅勤務も含む）が多かったから
- 10 配偶者・パートナーからの要望がなかった、又は反対されたから
- 11 休む必要を感じなかったから（親や兄弟姉妹が付き添ってくれた等）
- 12 出産・育児は女性の役割だと思っていたから
- 13 その他

問 73 【問 69 で「2」と答えた方にお尋ねします。】 あなたの配偶者・パートナーが、出産・育児に関する休暇を取らなかった理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- 1 出産・育児に関する休暇制度がなかったから
- 2 出産・育児に関する休暇制度は存在したが、対象外だったから
- 3 出産・育児に関する休暇制度があると知らなかったから
- 4 有給休暇など、別の休暇で対応できたから
- 5 業務が繁忙で休むことが難しかったから
- 6 上司・同僚の理解が得られなかったから
- 7 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がありそうだったから
- 8 休むことによる、減収が懸念されたから
- 9 自宅での仕事（在宅勤務も含む）が多かったから
- 10 配偶者・パートナーからの要望がなかった、又は反対されたから
- 11 休む必要を感じなかったから（親や兄弟姉妹が付き添ってくれた等）
- 12 出産・育児は女性の役割だと思っていたから
- 13 その他

問 74 【問 68 で「2」と答えた方にお尋ねします。】 出産・育児に関する休暇をどうすれば取れると思いますか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1 業務が繁忙でなければ | 2 上司・同僚の理解が得られれば |
| 3 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がなければ | 4 休むことによる減収等の心配がなければ |
| 6 男性が家事・育児に参加する意義がわかれば | 5 配偶者・パートナーからの要望があれば |
| 8 その他 | 7 法的強制力のある仕組みや制度があれば |
| | 9 特にない |

問 75 【問 69 で「2」と答えた方にお尋ねします。】 あなたの配偶者・パートナーは、出産・育児に関する休暇をどうすれば取れると思いますか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1 業務が繁忙でなければ | 2 上司・同僚の理解が得られれば |
| 3 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がなければ | 4 休むことによる減収等の心配がなければ |
| 6 男性が家事・育児に参加する意義がわかれば | 5 配偶者・パートナーからの要望があれば |
| 8 その他 | 7 法的強制力のある仕組みや制度があれば |
| | 9 特にない |

問 76 自身の子育ての負担軽減のために、行政機関が実施する施策以外の民間サービス（ベビーシッターや家事支援サービス）を利用することについて、どのように感じますか。（回答は1つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 抵抗感が全くない | 2 抵抗感があまりない |
| 3 抵抗感が少しある | 4 抵抗感が大いにある |
| 5 どちらともいえない | |

問 77 【問 44 で「2～6」と答えた方にお尋ねします。】 育児に関する悩みがあるときに、誰に又はどこへ相談をしますか。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 1 配偶者（パートナーを含む） | 2 自分の親又は配偶者の親 |
| 3 自分のきょうだい又は配偶者のきょうだい | 4 子育て仲間 |
| 5 近所の人 | 6 友人 |
| 7 同僚 | 8 保育所、保育施設、ベビーシッター |
| 9 子育て関連のNPO | 10 学校（教師、スクールカウンセラー、養護教諭） |
| 11 地域の子育て支援センター・母子保健センターなど | 12 ベビーシッター |
| 13 育児や発達に関する専門機関 | 14 インターネットの掲示板、ブログ、SNS、ツイッターなど |
| 15 そのような人（機関）はいない | |
| 16 その他 | |

問 78 あなたにとって、子育てにかかる経済的な負担として大きなものは何ですか。

(回答はあてはまるもの全て)

※ 子育ての経験がない方は、子育てすることを仮定してお答えください。

- | | |
|---|------------------|
| 1 保育にかかる費用（保育所・幼稚園、
ベビーシッターや学童保育を含む） | 2 学校教育費 |
| 4 学習塾以外の習い事の費用 | 3 学習塾など学校以外の教育費 |
| 6 食費 | 5 通信費（携帯電話の費用など） |
| 8 住宅費 | 7 衣服費 |
| 10 レジャー、レクリエーション費 | 9 医療費 |
| 12 特にない | 11 その他 |

問 79 あなたが、子育てに当たって利用したい、又は、利用しなかったと思う制度は次のうちどれですか。（回答はあてはまるもの全て）

※ 子育ての経験がない方は、子育てすることを仮定してお答えください。

- | |
|---|
| 1 出産・育児に関する休暇制度 |
| 2 短時間勤務制度（1日の勤務時間を所定労働時間よりも短くして働くことができる制度） |
| 3 テレワーク・在宅勤務（情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない働き方・自宅を就業場所とする働き方） |
| 4 子供の看護のための休暇制度 |
| 5 保育所（認可以外の保育所、保育園等を含む） |
| 6 保育ママ・ベビーシッター |
| 7 企業が従業員のために作った託児所 |
| 8 幼稚園 |
| 9 放課後児童クラブ |
| 10 地域における子育て支援サービス（ファミリーサポート、つどいの広場など） |
| 11 その他 |
| 12 特にない |

問 80 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたは、どのように考えますか。（回答は1つ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかといえば賛成 |
| 3 どちらかといえば反対 | 4 反対 |
| 5 どちらともいえない | |

● ワーク・ライフ・バランスについてあなたの考えをお答えください。

問 81 育児と仕事との関係で、あなたの理想の生き方は次のどれですか。（回答は1つ）

- 1 結婚せず、子供を持たず、働き続ける
- 2 子供を持たないで働き続ける
- 3 子どもは持つが、子供の成長に関係なく働き続ける
- 4 子供は持つが、子供の成長に応じて働き方を変えていく
- 5 子供を持つことを機に、いったん退職するが、子供の手が離れたら働く
- 6 子供を持ったら退職し、育児に専念する
- 7 子供の有無に関係なく、結婚後は働かない
- 8 その他

問 82 育児と仕事との関係で、あなたの現時点での状況は次のどれですか。（学生の方は、「働いている」を「勉強している」と考えてお答えください。）（回答は1つ）

- 1 結婚せず、子供を持っておらず、継続して働いている
- 2 子供はおらず、継続して働いている
- 3 子供がおり、子供の成長に関係なく継続して働いている
- 4 子供がおり、子供の成長に応じて働き方を変えている
- 5 子供を持つことを機に、いったん退職したが、子供の手が離れてから働いている
- 6 子供を持つことを機に退職し、育児に専念している
- 7 子供の有無に関係なく、結婚後は働いていない
- 8 その他

問 83 あなたは仕事をしていますか。（回答は1つ）

- 1 仕事をしています
- 2 仕事をしていない

問 84 この1年間を振り返って、あなたはご自分の仕事と家庭生活のバランスについてどのように感じていますか。(a)から(c)についてそれぞれ選んでください。(回答は1つずつ)

	とても そう思う	どちらか かといえ ば そう 思う	どちらか かといえ ば そう 思わ ない	全く そう 思わ ない	い ど ち ら と も い え な い
(a) 仕事で疲れ切ってしまって、しなければならない家事や育児ができなくなっていると感じる	1	2	3	4	5
(b) 仕事に充てる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっていると感じる	1	2	3	4	5
(c) 家事や育児の負担があるために仕事に集中することが難しくなっていると感じる	1	2	3	4	5

問 85 今後1年間に失職したり、仕事が見つからなかったりする心配はどの程度あると思いますか。(回答は1つ)

1 かなりある	2 ある程度ある
3 あまりない	4 全くない
5 現在仕事をしていないし、仕事も探していない	

問 86 現在のあなたの日常における、仕事、家庭生活、個人の生活等の優先度についてお聞かせください。(a)あなたの“希望”にもっとも近いものを1つだけ選んでください。また(b)あなたの“現実”にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(学生の方は、「仕事」を「学業」と考えてお答えください。)(回答は1つずつ)

	仕事 (学業) を優先	家庭 生活を 優先	個人 の生活 を優先
(a) 希望	1	2	3
(b) 現実	1	2	3

● 社会支援について、あなたの考えをお答えください。

問 87 お住まいの市町は、子供を生き育てやすい市町だと思いますか。（回答は1つ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 とてもそう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 全くそう思わない |
| 5 どちらともいえない | |

問 88 【問 87 で「1～2」と答えた方にお尋ねします。】 子供を生き育てやすい市町だと思う理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | |
|---------------------------------|
| 1 各種の保育サービスが充実しているから |
| 2 教育費の支援、軽減があるから |
| 3 妊娠から出産後までの母体医療・小児医療が充実しているから |
| 4 公園など、子供を安心して育てられる環境が整備されているから |
| 5 雇用が安定しているから（働く場所が多いから） |
| 6 フレックスやパートタイムなど、柔軟な働き方ができるから |
| 7 育児休業や出産休暇を取りやすい職場環境が整備されているから |
| 8 育児休業中の所得保障が充実しているから |
| 9 子育ての経済的負担が少ないから |
| 10 地域の治安がいいから |
| 11 親との同居、近居により親の支援があるから |
| 12 地域で子育てを助けてもらえるから |
| 13 子供を生き育てることに地域全体がやさしく理解があるから |
| 14 その他 |

問 89 【問 87 で「3～4」と答えた方にお尋ねします。】 子供を生き育てづらい市町だと思う理由は何ですか。（回答はあてはまるもの全て）

- | |
|----------------------------------|
| 1 各種の保育サービスが充実していないから |
| 2 教育費の支援、軽減がないから |
| 3 妊娠から出産後までの母体医療・小児医療が充実していないから |
| 4 公園など、子供を安心して育てられる環境が整備されていないから |
| 5 雇用が安定していない（働く場所が少ない） |
| 6 フレックスやパートタイムなど、柔軟な働き方ができないから |
| 7 育児休業や出産休暇を取りやすい職場環境が整備されていないから |
| 8 育児休業中の所得保障が充実していない |
| 9 子育ての経済的負担が多いから |
| 10 地域の治安が悪いから |
| 11 親との同居、近居により親の支援が受けられないから |
| 12 地域で子育てを助けてもらえないから |
| 13 子供を生き育てることに地域全体の理解がないから |
| 14 その他 |

問 90 結婚（同棲を含む）を希望する人を支援する施策として何が重要だと思いますか。

（回答はあてはまるもの全て）

- 1 雇用対策をもって、安定した雇用機会を提供すること
- 2 賃金を上げて、安定した家計を営めるよう支援すること
- 3 結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと
- 4 出会いの場を提供すること
- 5 結婚すると活用できるような税制を行うこと
- 6 企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策を充実させること
- 7 その他
- 8 特にない

問 91 妊娠・出産時の身体的・精神的・経済的負担を軽減する施策として何が重要だと思いますか。

（回答は3つまで）

- 1 出産費用を助成することにより、自己負担をなくすこと
- 2 不妊治療に対して助成すること
- 3 妊娠中の健康診断を無料で受けられるようにすること
- 4 産前・産後の休業期間を拡大すること
- 5 母子保健サービスを充実すること
- 6 家事援助などを行うヘルパーの訪問サービスの充実
- 7 妊娠から出産、子育てまでの医療、相談、支援などを、一か所の窓口で総合的に受けられる公的サービスの充実
- 8 その他
- 9 特にない

問 92 育児を支援する施策として何が重要だと思いますか。（回答はあてはまるもの全て）

- 1 各自のニーズに合わせた保育サービスの充実（保育所、保育ママ、ベビーシッターなど）
- 2 子育て家庭等の育児不安に対する相談・援助や、親子が気軽に集うことのできる場の提供
- 3 教育費の支援、軽減
- 4 小児医療の充実
- 5 公園など、子供を安心して育てられる環境の整備
- 6 雇用の安定
- 7 企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策を充実させること
- 8 男性の育児休業の取得促進
- 9 育児休業中の所得保障の充実
- 10 育児休業や短時間勤務などの制度利用がキャリアのハンデとならないための取組
- 11 出産・育児による退職後の職場復帰の保障の充実
- 12 子育ての経済的負担を軽減するための手当の充実や税制上の措置
- 13 ひとり親家庭への支援の充実
- 14 3人以上の子供がいる世帯への支援の充実
- 15 子供のいる世帯への住宅費の支援
- 16 子供を生み育てることの喜び、楽しさの啓発
- 17 子供に対する犯罪の防止など、地域における治安の確保
- 18 その他
- 19 特にない

問 93 国や自治体の子供・子育て支援を実施するためには、財源が必要となります。それを確保するための負担について、あなたの考えに近いものを1つだけ選んでください。（回答は1つ）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 増えてもやむを得ない | 2 どちらかといえば増えてもやむを得ない |
| 3 どちらかといえば増えるべきではない | 4 増えるべきではない |
| 5 どちらともいえない | |

● 生活意識について、あなたの考えをお答えください。

問 94 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。（回答は1つ）

- | | |
|-------------|------------|
| 1 満足している | 2 まあ満足している |
| 3 やや不満だ | 4 不満だ |
| 5 どちらともいえない | |

問 95 あなたの生活は、これから先、どうなっていくと思いますか。（回答は1つ）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 良くなっていく | 2 同じようなもの |
| 3 悪くなっていく | 4 どちらともいえない |
| 5 わからない | |

愛媛県 少子化に関する意識調査
報告書

発行／令和7（2025）年2月
発行者／愛媛県 保健福祉部 生きがい推進局 子育て支援課
〒790-8570 愛媛県松山市一番町4丁目4-2
電話（089）912-2413
FAX（089）912-2409
メール shoushikadanjo@pref.ehime.lg.jp
